宮崎労働局長　記者発表項目一覧

令和８年４月２８日（火）

記者発表項目

①　一般職業紹介状況≪令和８年３月分≫（４月２８日発表）

②　一般職業紹介状況の年度分集計数値（令和７年度）

③　令和７年度 新規学校卒業予定者の求職・求人等の状況（３月末）

④　ユースエール認定通知書交付式の開催（５月１８日）

⑤　職場における熱中症の発生状況／クールワークキャンペーン

⑥　宮崎労働局広報紙「GOGO!宮崎労働局」（第１１０号）

担当窓口
宮崎労働局　雇用環境・均等室　企画・調整係　泥谷
宮崎市橘通東３－１－２２　宮崎合同庁舎4階
TEL：０９８５－３８－８８２１

厚生労働省
宮崎労働局
Press Release

宮崎労働局発表
令和8年4月28日解禁

【照会先】
宮崎労働局職業安定部
部　　長　向田　俊哉
職業安定課長　東郷　ますえ
地方労働市場情報官　久保　紘一
（代表電話）0985（38）8823

報道関係者　各位

一般職業紹介状況（令和8年3月分）

令和8年3月の有効求人倍率（受理地別・季節調整値）は、1.14倍と前月と同水準。
有効求人倍率は、129ヶ月連続で1倍台を維持。
正社員有効求人倍率（原数値）は、1.05倍と前年同月より0.12ポイント低下。
雇用失業情勢は、求人が求職を上回る状況が継続しているものの、求人の見直しなどにより求人が緩やかに減少している。今後物価上昇等が雇用に与える影響に注視する必要がある。

・令和8年3月の【有効求人倍率】(季節調整値)は、前月と同水準。
・【有効求職者数】は、前月比（季節調整値）で1.1%減、前年同月比（原数値）で1.2%増。
・【有効求人数】は、前月比（季節調整値）で1.3%減、前年同月比（原数値）で9.6%減(32ヶ月連続減少）。
・【新規求職者数】は、前年同月比（原数値）1.1%増、【新規求人数】は、前年同月比（原数値）3.9%減となった。

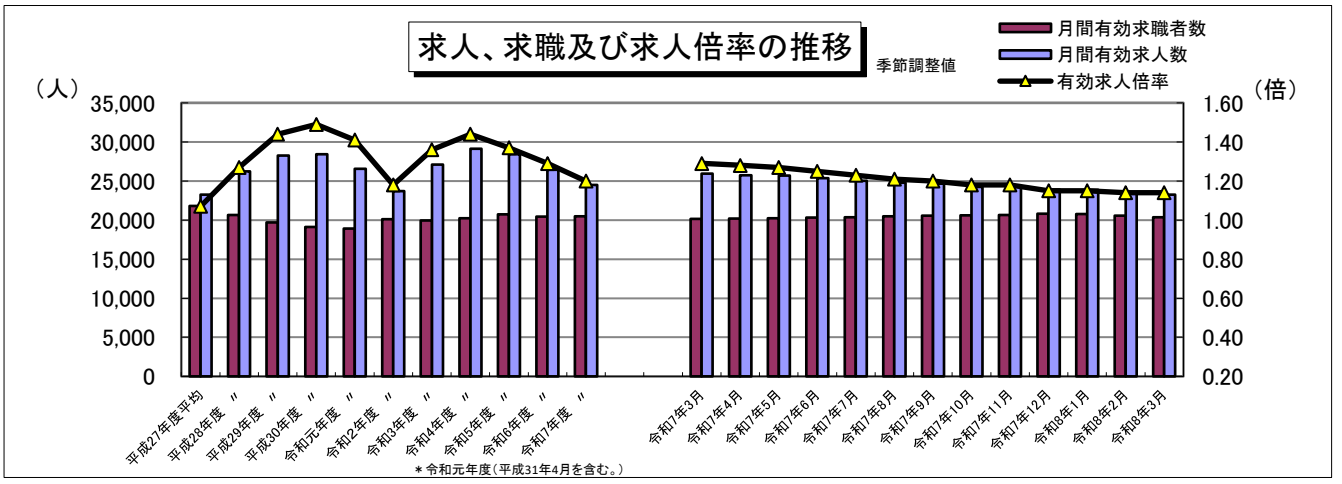
本県の労働市場における有効求人倍率（季節調整値）は、有効求職者数（同）が前月比1.1%減少し、有効求人数（同）は前月比1.3%減少した結果、前月と同水準の1.14倍となった。

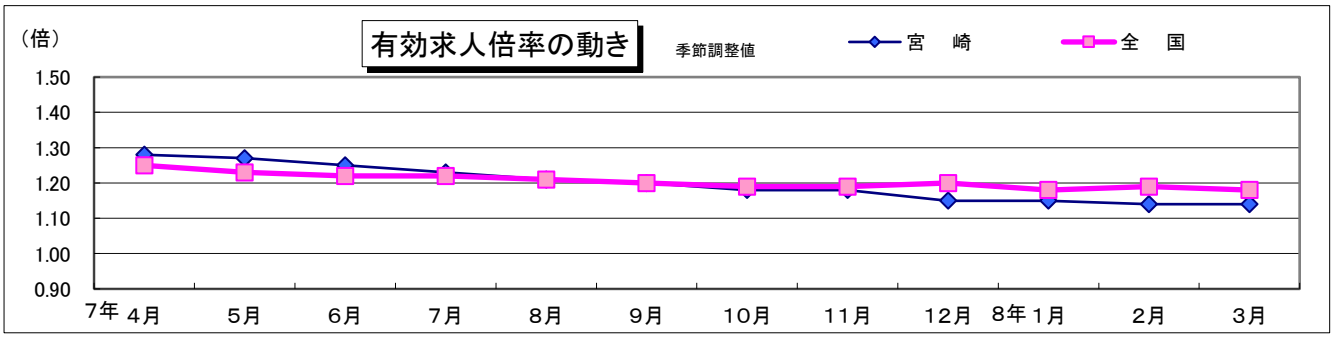
新規求職者数（原数値）は、前年同月比で1.1%(53人）増加となった。なお、有効求職者数（原数値）は、前年同月比で1.2%（247人）増加と4ヶ月連続の増加となっている。

新規求職者（一般フルタイム・パート）を求職時の態様別にみると、前年同月比で在職者が2.3%（37人）増、離職者は1.5%（39人）増、無業者が5.1%（23人）減となった。なお、離職者のうち、事業主都合離職者は10.1%（49人）増となっている。

一方、新規求人数（原数値）は、前年同月比で3.9%（354人）減少となった。また、有効求人数（原数値）は、前年同月比で9.6%（2,623人）の減少で32ヶ月連続減少となっている。

新規求人数を産業別にみると、前年同月比で18産業中6産業で増加となった。サービス業（他に分類されないもの）で38.3%（424人）増、運輸業、郵便業で12.3%（55人）増等となる一方、医療、福祉で10.2%（292人）減、卸売業、小売業で15.7%（153人）減、複合サービス事業で47.4%（99人）減等（18産業中12産業で減少）となったことから、全体で3.9%（354人）の減少となった。





有効求人倍率〈季節調整値、倍〉

	令和7年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和8年 1月	2月	3月
宮　崎	1.28	1.27	1.25	1.23	1.21	1.20	1.18	1.18	1.15	1.15	1.14	1.14
全　国	1.25	1.23	1.22	1.22	1.21	1.20	1.19	1.19	1.20	1.18	1.19	1.18

○季節調整法はセンサス局法Ⅱ（X－12－ARIMA）による。なお、令和7年12月以前の数値は、令和8年1月分公表時に新季節指数により改定されている。
（注1）本公表資料における有効求人倍率、有効求人数、新規求人数は、宮崎労働局管内のハローワークが受理した求人数（受理地別求人数）により算出したものである。
（注2）ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数や、求職者がハローワークインターネットサービスの求人に直接応募した就職件数等が含まれている。

１．新規求職の動き＜季節調整値＞

〈数値の対比は前月比〉

○【新規求職者数】（季節調整値）は、4,203人で0.7%（28人）増加となった。

新規求職（パートを含む、人）

	令和7年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和8年 1月	2月	3月
新規求職数	4,328	4,290	4,382	4,389	4,400	4,348	4,365	4,431	4,652	4,517	4,175	4,203
前月比	0.3%	−0.9%	2.1%	0.2%	0.3%	−1.2%	0.4%	1.5%	5.0%	−2.9%	−7.6%	0.7%

＊季節調整法はセンサス局法Ⅱ（X−12−ARIMA）による。なお、令和7年12月以前の数値は、令和8年1月分公表時に新季節指数により改定されている。

２．新規求人の動き＜季節調整値＞

〈数値の対比は前月比〉

○【新規求人数】（季節調整値）は、8,332人で2.2%（177人）増加となった。

新規求人（パートを含む、人）

	令和7年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和8年 1月	2月	3月
新規求人	9,095	8,942	8,747	8,729	8,615	8,941	8,243	8,909	8,731	8,332	8,155	8,332
前月比	0.3%	−1.7%	−2.2%	−0.2%	−1.3%	3.8%	−7.8%	8.1%	−2.0%	−4.6%	−2.1%	2.2%

＊季節調整法はセンサス局法Ⅱ（X−12−ARIMA）による。なお、令和7年12月以前の数値は、令和8年1月分公表時に新季節指数により改定されている。

３．職業紹介状況について（パートを含む）＜原数値＞

〈数値の対比は前年同月比〉

○【職業紹介状況】は、紹介件数が21件（0.5%）減の4,642件となり、就職件数は20件（1.0%）増の2,070件となった。就職率（対新規求職者）は、0.1ポイント低下し43.5%となった。

就職（パートを含む、件）

	令和6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和7年 1月	2月	3月
就職件数	1,771	1,831	1,642	1,568	1,191	1,508	1,648	1,361	1,299	1,292	1,478	2,050
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和8年 1月	2月	3月
	1,722	1,667	1,543	1,589	1,223	1,605	1,648	1,341	1,325	1,365	1,534	2,070
対前年同月比	−2.8%	−9.0%	−6.0%	1.3%	2.7%	6.4%	0.0%	−1.5%	2.0%	5.7%	3.8%	1.0%

	令和6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和7年 1月	2月	3月
就職率	28.4%	38.3%	41.8%	39.1%	34.8%	35.8%	38.2%	37.6%	44.0%	27.7%	35.8%	43.6%
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和8年 1月	2月	3月
	27.7%	37.0%	36.2%	37.5%	32.6%	38.0%	38.2%	38.5%	40.1%	27.6%	36.4%	43.5%

４．正社員有効求人倍率の動き＜原数値＞

○【正社員有効求人倍率】（原数値）は、1.05倍となり、前年同月比で0.12ポイント低下。
R8.3月・・・正社員有効求人数　12,626人　　常用フルタイム有効求職者数11,990人
R7.3月・・・　〃　13,877人　　〃　11,909人

（注）ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴う令和３年９月以降の数値の取扱いについては、１頁の（注2）を参照

次回公表予定日　令和8年5月29日（金）

別表1　職業紹介状況（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

		令和8年3月	令和8年2月	対前月増減率(差)（%）	令和7年3月	対前年同月増減率(差)（%）
1 月間有効求職者数（人）		20,682	19,943	―	20,435	1.2
	季節調整値	* 20,342	* 20,577	▲ 1.1	20,168	0.9
2 新規求職申込件数（件）		4,757	4,214	―	4,704	1.1
3 月間有効求人数（人）		24,739	24,272	―	27,362	▲9.6
	季節調整値	* 23,238	* 23,554	▲ 1.3	25,935	▲10.4
4 新規求人数　（人）		8,767	8,246	―	9,121	▲3.9
5 紹介件数　（件）		4,642	4,002		4,663	▲0.5
6 就職件数　（件）		2,070	1,534		2,050	1.0
7 就職率（6/2）　（%）		43.5	36.4		43.6	▲0.1
8 充足数　（件）		2,027	1,463		1,990	1.9
9 充足率（8/4）　（%）		23.1	17.7		21.8	1.3

＊季節調整法はセンサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和7年12月以前の数値は、令和8年1月分公表時に新季節指数により改定されている。

別表2　有効求人倍率（季節調整値、倍）

	令和8年3月	令和8年2月	前月差（ポイント）	令和7年3月
宮崎県	1.14	1.14	0.00	1.29
全　国	1.18	1.19	▲0.01	1.25

別表3　雇用保険一般受給者実人員の推移(基本手当基本分、人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和5年度	3,922	4,286	4,763	4,963	5,119	4,746	4,597	4,365	3,992	4,198	3,925	3,773
令和6年度	3,989	4,458	4,594	5,245	4,796	4,836	4,585	4,185	4,285	4,126	3,910	3,809
令和7年度	3,882	4,223	4,788	5,561	5,387	5,516	5,220	4,726	4,754	4,482	4,247	4,605

（受給者実人員＝失業給付を実際に受けた受給資格者の実数をいう）

別表4　安定所別有効求人倍率（原数値、倍）

	令和8年3月	令和8年2月	令和7年3月	前年同月差（ポイント）
宮　崎	1.28	1.30	1.36	▲ 0.08
延　岡	1.07	1.12	1.29	▲ 0.22
日　向	1.06	1.18	1.37	▲ 0.31
都　城	1.16	1.11	1.30	▲ 0.14
日　南	1.04	1.17	1.23	▲ 0.19
高　鍋	1.12	1.14	1.34	▲ 0.22
小　林	1.30	1.32	1.49	▲ 0.19
県　計	1.20	1.22	1.34	▲ 0.14

（注）ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴う令和3年9月以降の数値の取扱いについては、1頁の（注2）を参照

別表5　九州各県の有効求人倍率（季節調整値、倍）

	令和8年3月	令和8年2月	前月差（ポイント）	令和7年3月
福　岡	1.05	1.06	▲0.01	1.19
佐　賀	1.22	1.23	▲0.01	1.26
長　崎	1.06	1.08	▲0.02	1.15
熊　本	1.14	1.13	0.01	1.20
大　分	1.14	1.14	0.00	1.32
宮　崎	1.14	1.14	0.00	1.29
鹿児島	1.03	1.05	▲0.02	1.10
沖　縄	0.95	0.94	0.01	0.96

＊季節調整法はセンサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和7年12月以前の数値は、令和8年1月分公表時に新季節指数により改定されている。

別表6　パートタイム職業紹介状況(一般パートタイム)

	令和8年3月	令和8年2月	令和7年3月	前年同月増減率・差（%）
1 月間有効求職者数（人）	8,673	8,355	8,504	2.0
2 新規求職申込件数（件）	1,846	1,640	1,794	2.9
3 月間有効求人数　（人）	7,936	7,779	9,272	▲14.4
4 新規求人数　（人）	2,804	2,764	3,145	▲10.8
5 紹介件数　（件）	1,851	1,562	1,827	1.3
6 就職件数　（件）	900	617	911	▲1.2
7　充足数　（件）	869	571	870	▲0.1
8　充足率　（%）	31.0%	20.7%	27.7%	3.3

別表7　新規求職申込者の求職時の態様別内訳※令和5年1月分より掲載内容変更（常用フルタイムから一般フルタイム・パートへ変更）

県　計			24歳以下	25歳～34歳	35歳～44歳	45歳～54歳	55歳～64歳	65歳以上	合計
新規求職申込件数		令和8年3月	402	739	829	959	870	958	4,757
		令和7年3月	401	758	815	941	898	891	4,704
		前年比	0.2%	▲ 2.5%	1.7%	1.9%	▲ 3.1%	7.5%	1.1%
	在職者	令和8年3月	117	281	347	377	294	250	1,666
		令和7年3月	126	292	356	355	310	190	1,629
		前年比	▲ 7.1%	▲ 3.8%	▲ 2.5%	6.2%	▲ 5.2%	31.6%	2.3%
	離職者	令和8年3月	182	398	422	514	508	635	2,659
		令和7年3月	159	416	397	502	532	614	2,620
		前年比	14.5%	▲ 4.3%	6.3%	2.4%	▲ 4.5%	3.4%	1.5%
	事業主都合	令和8年3月	17	46	65	95	125	186	534
		令和7年3月	12	58	65	99	103	148	485
		前年比	41.7%	▲ 20.7%	0.0%	▲ 4.0%	21.4%	25.7%	10.1%
	自己都合	令和8年3月	163	347	347	407	343	397	2,004
		令和7年3月	141	355	319	391	367	420	1,993
		前年比	15.6%	▲ 2.3%	8.8%	4.1%	▲ 6.5%	▲ 5.5%	0.6%
	無業者	令和8年3月	103	60	60	68	68	73	432
		令和7年3月	116	50	62	84	56	87	455
		前年比	▲ 11.2%	20.0%	▲ 3.2%	▲ 19.0%	21.4%	▲ 16.1%	▲ 5.1%

＊一般・・・常用および臨時・季節を合わせた数。3ページ別表1職業紹介状況（新規学卒者を除きパートタイムを含む）の2 新規求職申込件数の内訳となる。
（注）ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴う令和3年9月以降の数値の取扱いについては、1頁の（注2）を参照

別表8　産業別・規模別新規求人状況（原数値）

項目 / 産業別・規模別	求人状況				
	令和8年3月	令和8年2月	令和7年3月	前年同月比(%)	前年同月差
A.B 農、林、漁業	222	336	243	▲8.6	▲21
C　鉱業、採石業、砂利採取業	8	10	7	14.3	1
D　建設業	679	744	742	▲8.5	▲63
E　製造業	788	659	833	▲5.4	▲45
食料品製造業	219	214	199	10.1	20
飲料・たばこ・飼料製造業	59	28	39	51.3	20
繊維工業	60	30	76	▲21.1	▲16
木材・木製品製造業	59	45	80	▲26.3	▲21
家具・装備品製造業	9	9	15	▲40.0	▲6
パルプ・紙・紙加工品製造業	8	14	11	▲27.3	▲3
印刷・同関連業	5	16	27	▲81.5	▲22
化学工業	9	20	6	50.0	3
石油製品・石炭製品製造業	0	0	1	▲100.0	▲1
プラスチック製品製造業	35	22	43	▲18.6	▲8
ゴム製品製造業	16	0	12	33.3	4
窯業・土石製品製造業	16	31	28	▲42.9	▲12
鉄鋼業	2	5	0	－	2
非鉄金属製造業	1	0	0	－	1
金属製品製造業	29	46	59	▲50.8	▲30
はん用機械器具製造業	47	13	47	0.0	0
生産用機械器具製造業	28	24	10	180.0	18
業務用機械器具製造業	37	5	29	27.6	8
電子部品・デバイス・電子回路製造業	32	34	26	23.1	6
電気機械器具製造業	44	45	55	▲20.0	▲11
情報通信機械器具製造業	0	0	9	▲100.0	▲9
輸送用機械器具製造業	53	20	47	12.8	6
その他の製造業	20	38	14	42.9	6
F　電気・ガス・熱供給・水道業	16	4	5	220.0	11
G　情報通信業	372	463	352	5.7	20
H　運輸業、郵便業	502	388	447	12.3	55
I　卸売業、小売業	821	803	974	▲15.7	▲153
J　金融業、保険業	48	67	69	▲30.4	▲21
K　不動産業、物品賃貸業	77	89	87	▲11.5	▲10
L　学術研究、専門・技術サービス業	153	115	226	▲32.3	▲73
M　宿泊業、飲食サービス業	327	343	415	▲21.2	▲88
宿泊業	63	107	110	▲42.7	▲47
N　生活関連サービス業、娯楽業	222	262	226	▲1.8	▲4
O　教育、学習支援業	175	157	211	▲17.1	▲36
P　医療、福祉	2,570	2,530	2,862	▲10.2	▲292
Q　複合サービス事業	110	57	209	▲47.4	▲99
R　サービス業（他に分類されないもの）	1,532	1,014	1,108	38.3	424
S.T 公務、その他	145	205	105	38.1	40
合計	8,767	8,246	9,121	▲3.9	▲354
規模別　29人以下	5,810	5,396	5,872	▲1.1	▲62
規模別　30～99人	1,847	1,856	1,996	▲7.5	▲149
規模別　100～299人	632	584	845	▲25.2	▲213
規模別　300～499人	196	148	216	▲9.3	▲20
規模別　500～999人	157	236	148	6.1	9
規模別　1，000人以上	125	26	44	184.1	81

産業分類は、令和5年7月改定の「日本標準産業分類」に基づく。

別添資料　1

正社員の有効求人倍率（原数値）の推移

○　正社員有効求人倍率は、１．０５倍と前年同月より０．１２ポイント低下。

（倍）

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
1月	0.40	0.28	0.25	0.34	0.39	0.42	0.51	0.59	0.68	0.82	0.98	1.05	1.03	0.98	1.11	1.23	1.18	1.17	1.07
2月	0.40	0.26	0.24	0.35	0.38	0.42	0.51	0.58	0.43	0.81	0.97	1.05	0.99	0.99	1.12	1.21	1.15	1.18	1.07
3月	0.38	0.24	0.24	0.33	0.37	0.41	0.50	0.57	0.67	0.77	0.93	1.01	0.92	0.98	1.10	1.17	1.13	1.17	1.05
4月	0.33	0.21	0.22	0.30	0.34	0.37	0.46	0.53	0.64	0.74	0.90	0.98	0.86	0.95	1.05	1.10	1.06	1.07	
5月	0.32	0.19	0.21	0.29	0.34	0.36	0.46	0.52	0.65	0.75	0.90	0.97	0.82	0.96	1.04	1.08	1.05	1.06	
6月	0.29	0.18	0.21	0.30	0.34	0.38	0.48	0.52	0.67	0.77	0.95	1.00	0.84	0.98	1.09	1.10	1.07	1.08	
7月	0.30	0.19	0.22	0.31	0.35	0.40	0.49	0.55	0.67	0.79	0.96	0.99	0.84	1.00	1.09	1.13	1.10	1.08	
8月	0.32	0.19	0.24	0.33	0.37	0.43	0.51	0.59	0.71	0.82	0.96	0.98	0.85	1.00	1.11	1.12	1.11	1.07	
9月	0.32	0.20	0.26	0.33	0.38	0.45	0.53	0.61	0.73	0.85	0.97	1.01	0.87	1.02	1.12	1.09	1.12	1.06	
10月	0.31	0.21	0.27	0.33	0.39	0.46	0.54	0.63	0.76	0.87	0.99	1.04	0.89	1.05	1.15	1.13	1.15	1.04	
11月	0.31	0.21	0.29	0.35	0.40	0.47	0.58	0.66	0.77	0.90	1.01	1.07	0.94	1.08	1.17	1.17	1.16	1.07	
12月	0.30	0.23	0.33	0.37	0.42	0.50	0.59	0.68	0.81	0.94	1.06	1.10	0.99	1.12	1.26	1.22	1.20	1.07	

（資料出所）　宮崎労働局集計
※数値は原数値。
※正社員とは、パートタイムを除く常用のうち、勤め先で正社員・正職員などと呼称される正規労働者をいう。
※正社員有効求人倍率＝正社員有効求人数／常用フルタイム有効求職者数。なお、常用フルタイム有効求職者にはフルタイムの派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。
※令和元年は、平成31年1月～4月を含む。
※ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で「求職者マイページ」を開設した求職者数が含まれている。

就業地別の求人数を用いた有効求人倍率（季節調整値）（令和８年3月）

「就業地別の求人を用いた有効求人倍率」とは

→実際に就業する都道府県を求人地として集計した有効求人倍率。なお、通常発表している都道府県別の有効求人倍率は、求人を受理した場所を求人地として集計している。

○ 本社が多く所在する地域では、受理地別の有効求人倍率より「就業地別の求人数を用いた有効求人倍率」が低い傾向がある。

○ 宮崎県の「就業地別の求人を用いた有効求人倍率」は1.24倍で受理地別の有効求人倍率（1.14倍）より0.10ポイント高い。

		① 有効求職者数	② 有効求人数	③ 就業地別 有効求人数	④ 有効求人倍率 ②／①	⑤ 就業地別 有効求人倍率 ③／①	⑥差 ⑤－④
令和7年	3月	20,168	25,935	28,325	1.29	**1.40**	0.11
	4月	20,188	25,748	28,025	1.28	**1.39**	0.11
	5月	20,254	25,701	27,937	1.27	**1.38**	0.11
	6月	20,324	25,360	27,568	1.25	**1.36**	0.11
	7月	20,360	25,046	27,269	1.23	**1.34**	0.11
	8月	20,487	24,779	26,830	1.21	**1.31**	0.10
	9月	20,558	24,665	26,830	1.20	**1.31**	0.11
	10月	20,611	24,235	26,330	1.18	**1.28**	0.10
	11月	20,663	24,456	26,521	1.18	**1.28**	0.10
	12月	20,823	23,931	25,919	1.15	**1.24**	0.09
令和8年	1月	20,789	23,884	26,162	1.15	**1.26**	0.11
	2月	20,577	23,554	25,610	1.14	**1.24**	0.10
	3月	20,342	23,238	25,184	1.14	**1.24**	0.10

（資料出所）宮崎労働局

※ 数値は季節調整値。季節調整法は、センサス局法Ⅱ（X－12－ARIMA）による。なお、令和7年12月以前の数値は、令和8年1月分公表時に新季節指数により改定されている。

※ 有効求職者数は求職を受理したハローワークが所在する都道府県単位で集計。

※ 季節求人については受理所を就業地とみなしている。

※ 1件の求人に複数の就業地があり、就業地毎の求人数が明確でない場合、それぞれの就業地に順番に求人数を割り当てて配分している。

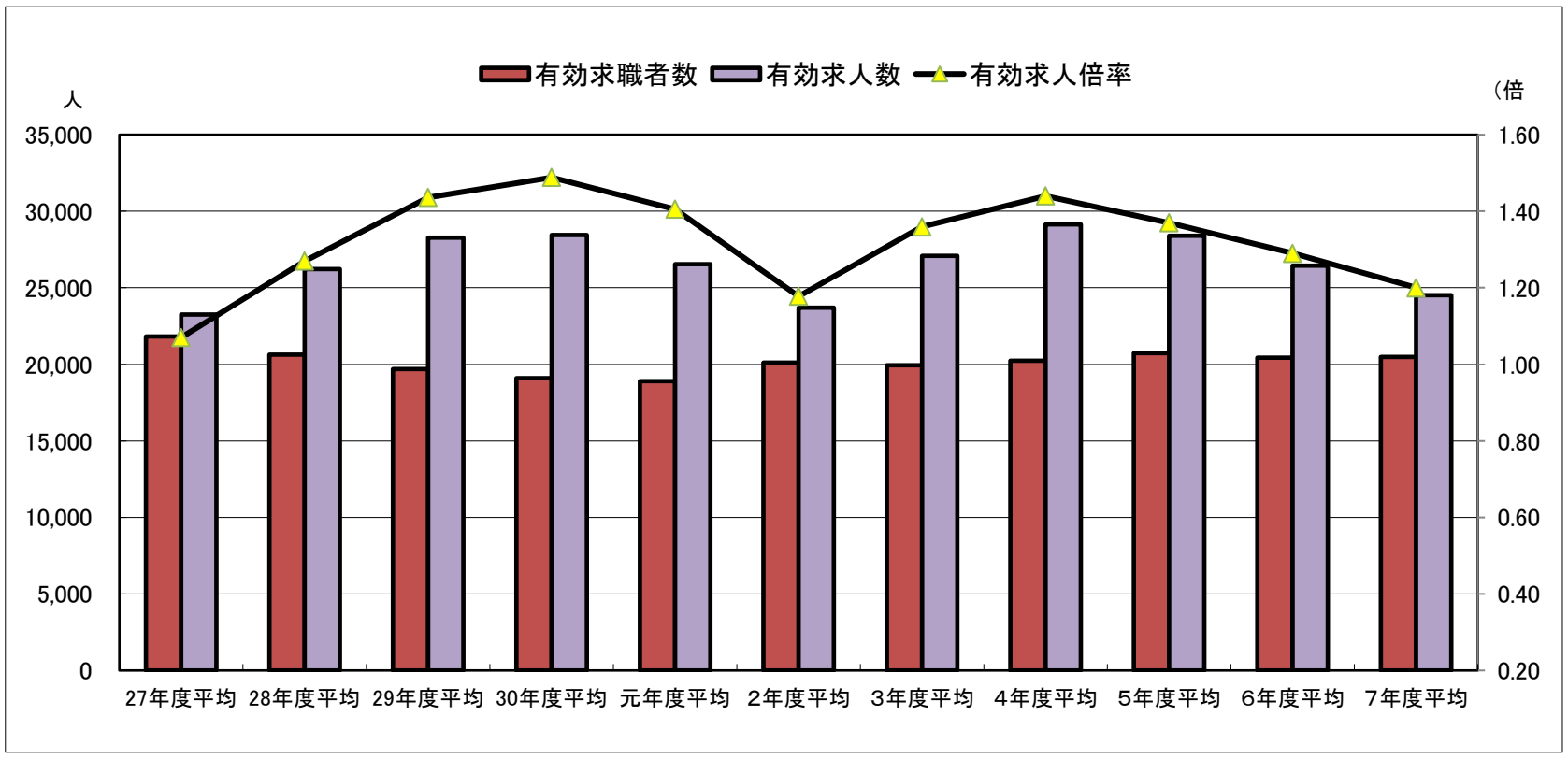
※ ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で「求職者マイページ」を開設した求職者数が含まれている。

年度分集計数値

令和7年度

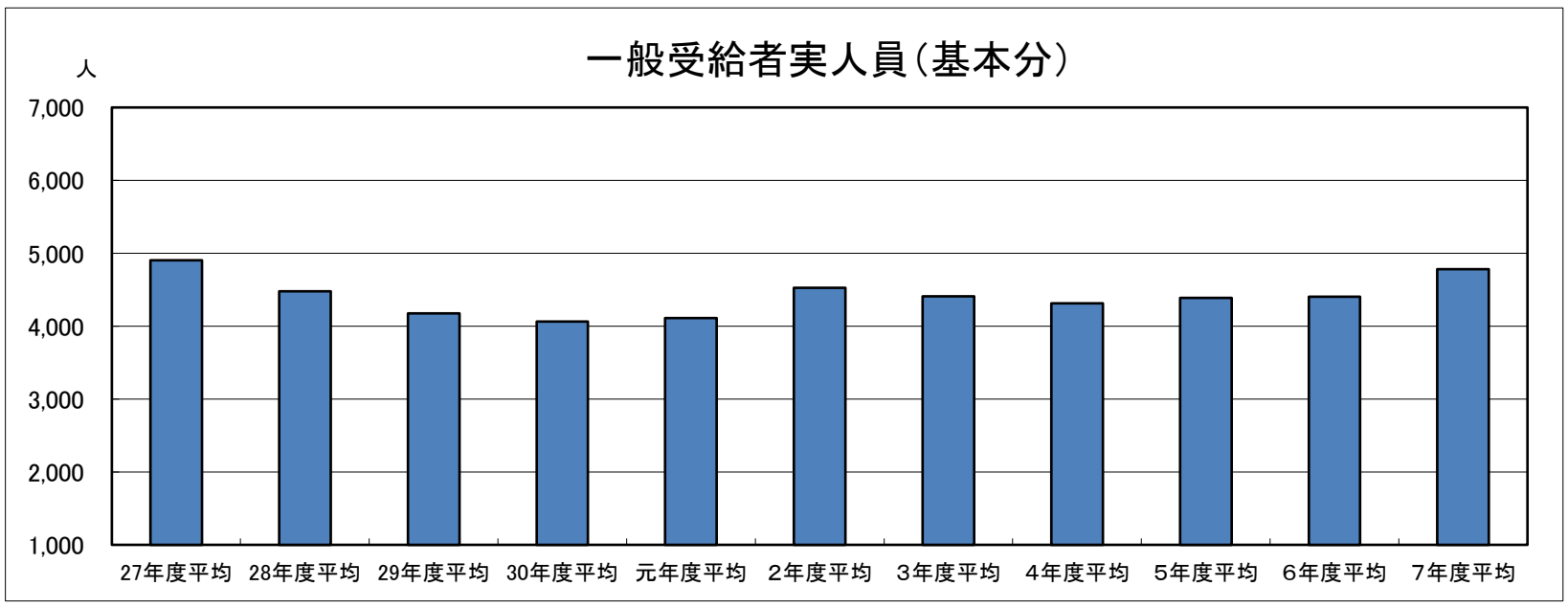
＊令和7年度平均の有効求人倍率は1.20倍となり、前年度の1.29倍を0.09ポイント下回った。
＊令和7年度平均の有効求人は前年度に比べ7.3%減となり、有効求職者は0.2%増となった。

求人、求職及び求人倍率の推移（原数値）



	27年度平均	28年度平均	29年度平均	30年度平均	元年度平均	2年度平均	3年度平均	4年度平均	5年度平均	6年度平均	7年度平均	対6年度増減率（%）
有効求職者数	21,828	20,637	19,687	19,108	18,895	20,123	19,934	20,224	20,722	20,444	20,487	0.2
有効求人数	23,257	26,220	28,271	28,438	26,551	23,696	27,099	29,140	28,410	26,450	24,512	▲7.3
有効求人倍率	1.07	1.27	1.44	1.49	1.41	1.18	1.36	1.44	1.37	1.29	1.20	

一般受給者実人員（基本分）



	27年度平均	28年度平均	29年度平均	30年度平均	元年度平均	2年度平均	3年度平均	4年度平均	5年度平均	6年度平均	7年度平均	対6年度増減率（%）
受給者実人員	4,906	4,478	4,175	4,065	4,113	4,526	4,409	4,315	4,387	4,402	4,783	8.7

厚生労働省
宮崎労働局

Press Release

宮崎労働局発表
令和８年４月 28 日

【照会先】
宮崎労働局職業安定部
部　　長　向田　俊哉
職業安定課長　東郷　ますえ
（電話）0985-38-8823

令和７年度　新規学校卒業者の求職・求人等の状況（３月末）

宮崎労働局（局長　吉越正幸）では、令和８年３月に県内の学校を卒業する学生等の求職・求人等の状況を調査し、令和８年３月末の状況として取りまとめました。

宮崎労働局では、引き続き企業への積極的な求人開拓のほか、新規学卒者の就職支援の強化に努めてまいります。

【高校新卒者】（別紙１：令和８年３月末）
- ○ 就職内定率は 99.5%、前年比（98.9%）0.6 ポイント上昇
- ○ 就職内定者に占める県内内定者の割合は 61.5%、同（64.4%）2.9 ポイント低下
  （参考）令和７年３月末の県内内定者の割合 64.4%
- ○ 求職者全体の求人倍率は 2.09 倍、同（2.28 倍）0.19 ポイント低下
- ○ 求人数は 4,351 人、同（4,499 人）3.3%の減少
- ○ 求職者数は 2,083 人、同（1,970 人）5.7%の増加
  求職者全体に占める県内希望者の割合は 61.6%、同（64.4%）2.8 ポイント低下

【大学等新卒者】（別紙２：令和８年３月末）
- ○ 大学等就職内定率は98.0%、前年比（98.7%）0.7ポイント低下
- ○ 就職内定者に占める県内内定者の割合は41.3%、同（43.7%）2.4ポイント低下

※１　高校新卒者の数値は県内の高校からの報告（学校やハローワークによる職業紹介を希望している生徒の状況等）を、大学新卒者の数値は県内の大学等９校から宮崎労働局への報告を取りまとめたものです。

※２　高校新卒者の求人数は、県内の事業所より提出されたものを公表しています。

別紙1

新規学校卒業者の求職・求人・就職の状況

〈令 和 8年 3 月 卒 業 者〉

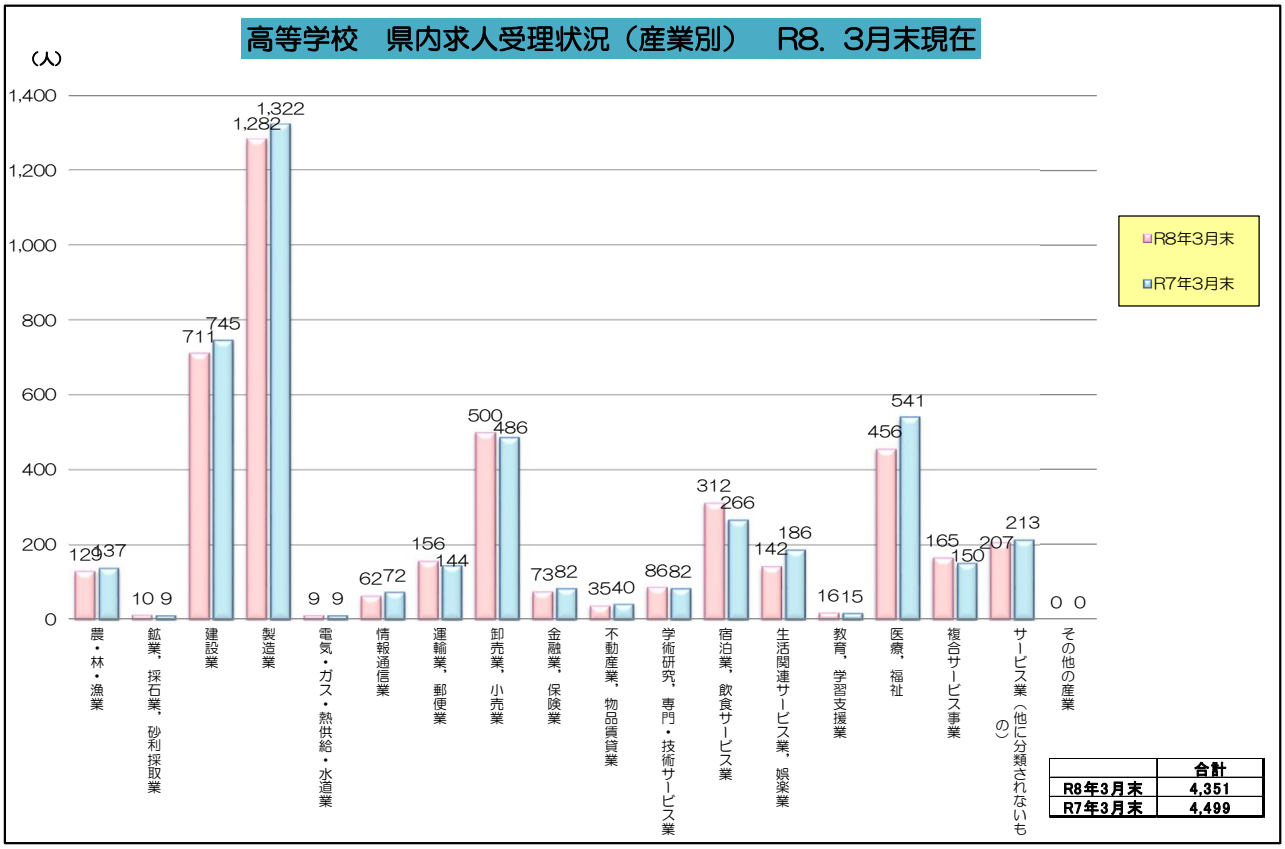
宮崎労働局

区分		令和8年3月末現在 計	男	女	前年同月 計	男	女	対前年増減率・差
高校卒業	**① 求職者数**	**2,083**	**1,305**	**778**	**1,970**	**1,242**	**728**	**5.7%**
	うち 県内	1,283	734	549	1,269	725	544	1.1%
	うち 県外	800	571	229	701	517	184	14.1%
	求職者全体に占める県内希望者の割合	61.6%	56.2%	70.6%	64.4%	58.4%	74.7%	**−2.8**
	② 就職内定者数	**2,072**	**1,300**	**772**	**1,948**	**1,230**	**718**	**6.4%**
	うち 県内	1,274	729	545	1,254	716	538	1.6%
	うち 県外	798	571	227	694	514	180	15.0%
	就職内定者に占める県内内定者の割合	61.5%	56.1%	70.6%	64.4%	58.2%	74.9%	−2.9
	③ 有効求職者数	**11**	**5**	**6**	**22**	**12**	**10**	**−50.0%**
	うち 県内	9	5	4	15	9	6	−40.0%
	うち 県外	2	0	2	7	3	4	−71.4%
	④ 求人数	**4,351**			**4,499**			**−3.3%**
	⑤ 求人倍率 ④／①	**2.09**			**2.28**			**−0.19**
	⑥ 就職内定率 ②／①	**99.5%**	**99.6%**	**99.2%**	**98.9%**	**99.0%**	**98.6%**	**0.6**
	うち 県内	99.3%	99.3%	99.3%	98.8%	98.8%	98.9%	0.5
	うち 県外	99.8%	100.0%	99.1%	99.0%	99.4%	97.8%	0.8

※中学卒業の求職者は、令和8年3月末現在で2名。
※求人数は県内の事業所より提出されたものを公表している。

令和8年３月高等学校卒業者に係る産業別求人状況
【令和8年3月末現在】

宮崎労働局



産業分類	R8年3月末	R7年3月末	対前年 増減率
農・林・漁業	129	137	▲5.8%
鉱業，採石業，砂利採取業	10	9	11.1%
建設業	711	745	▲4.6%
製造業	1282	1322	▲3.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	9	9	0.0%
情報通信業	62	72	▲13.9%
運輸業，郵便業	156	144	8.3%
卸売業，小売業	500	486	2.9%
金融業，保険業	73	82	▲11.0%
不動産業，物品賃貸業	35	40	▲12.5%
学術研究，専門・技術サービス業	86	82	4.9%
宿泊業，飲食サービス業	312	266	17.3%
生活関連サービス業，娯楽業	142	186	▲23.7%
教育，学習支援業	16	15	6.7%
医療，福祉	456	541	▲15.7%
複合サービス事業	165	150	10.0%
サービス業（他に分類されないもの）	207	213	▲2.8%
その他の産業	0	0	－
合計	**4,351**	**4,499**	**▲3.3%**

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
①求人数	H 6. 3卒	3,982	4,533	4,813	5,010	5,178	5,368	5,576	5,703	5,752	5,779	―	―
	H 7. 3卒	2,876	3,388	3,784	4,066	4,227	4,477	4,696	4,961	5,016	5,019	―	―
	H 8. 3卒	2,524	2,988	3,294	3,587	3,763	3,923	4,122	4,270	4,319	4,321	―	―
	H 9. 3卒	2,074	2,531	2,859	3,122	3,348	3,521	3,694	3,873	3,900	3,903	―	―
	H10. 3卒	1,930	2,239	2,565	2,808	2,910	3,035	3,176	3,272	3,300	3,304	―	―
	H11. 3卒	1,095	1,272	1,426	1,600	1,708	1,821	1,944	2,085	2,109	2,111	―	―
	H12. 3卒	723	980	1,181	1,415	1,556	1,751	2,070	2,242	2,331	2,332	2,335	2,335
	H13. 3卒	863	1,064	1,265	1,459	1,739	1,964	2,106	2,242	2,265	2,269	2,269	2,269
	H14. 3卒	660	843	959	1,082	1,377	1,501	1,724	1,879	1,924	1,931	1,932	1,933
	H15. 3卒	526	725	890	1,086	1,337	1,430	1,660	1,815	1,892	1,893	1,893	1,893
	H16. 3卒	556	807	1,012	1,279	1,483	1,623	1,844	2,038	2,114	2,119	2,119	2,119
	H17. 3卒	755	1,081	1,345	1,688	1,899	1,974	2,161	2,257	2,301	2,313	2,316	2,316
	H18. 3卒	819	1,150	1,383	1,686	1,882	1,978	2,182	2,263	2,293	2,294	2,294	2,294
	H19. 3卒	1,283	1,560	1,806	2,169	2,278	2,379	2,523	2,620	2,650	2,650	2,651	2,651
	H20. 3卒	1,254	1,534	1,710	2,028	2,255	2,331	2,410	2,441	2,488	2,488	2,489	2,492
	H21. 3卒	1,449	1,649	1,770	1,962	2,010	2,073	2,131	2,154	2,156	2,156	2,156	2,156
	H22. 3卒	750	1,007	1,085	1,268	1,383	1,492	1,627	1,708	1,728	1,731	1,741	1,741
	H23. 3卒	765	1,034	1,189	1,395	1,503	1,609	1,736	1,784	1,819	1,825	1,825	1,825
	H24. 3卒	930	1,187	1,396	1,673	1,801	1,905	2,029	2,081	2,126	2,129	2,129	2,129
	H25. 3卒	1,078	1,436	1,692	2,031	2,149	2,284	2,390	2,461	2,485	2,485	2,486	2,486
	H26. 3卒	1,403	1,765	1,997	2,289	2,434	2,553	2,625	2,667	2,677	2,682	2,682	2,686
	H27. 3卒	1,897	2,163	2,586	2,870	2,939	3,016	3,079	3,099	3,102	3,102	3,102	3,102
	H28. 3卒	2,408	2,709	2,960	3,181	3,235	3,293	3,340	3,360	3,371	3,375	3,375	3,372
	H29. 3卒	2,913	3,215	3,400	3,573	3,646	3,699	3,725	3,746	3,750	3,753	3,754	3,754
	H30. 3卒	3,448	3,696	3,866	4,022	4,073	4,099	4,126	4,138	4,141	4,141	4,142	4,148
	H31. 3卒	3,901	4,094	4,161	4,344	4,407	4,445	4,480	4,498	4,504	4,518	4,522	4,520
	R2. 3卒	4,039	4,183	4,316	4,437	4,481	4,523	4,537	4,547	4,552	4,553	4,553	4,560
	R3. 3卒	3,161	3,367	3,532	3,678	3,794	3,905	3,956	3,970	3,978	3,980	3,980	3,984
	R4. 3卒	3,323	3,513	3,672	3,782	3,830	3,919	3,957	3,987	3,992	3,992	4,002	4,010
	R5. 3卒	3,788	4,021	4,174	4,288	4,310	4,360	4,389	4,400	4,405	4,406	4,406	4,422
	R6. 3卒	4,124	4,309	4,455	4,522	4,549	4,571	4,608	4,616	4,620	4,620	4,620	4,624
	R7. 3卒	3,956	4,166	4,282	4,378	4,400	4,437	4,479	4,493	4,499	4,500	4,500	4,508
	R8. 3卒	**3,968**	**4,082**	**4,178**	**4,253**	**4,277**	**4,324**	**4,345**	**4,350**	**4,351**			
	対前年増減率	**0.3%**	**−2.0%**	**−2.4%**	**−2.9%**	**−2.8%**	**−2.5%**	**−3.0%**	**−3.2%**	**−3.3%**			

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

			7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
求職者数	②全体（県外＋県内）	H 6. 3卒	5,555	5,493	5,633	5,965	6,092	6,066	6,021	6,047	5,952	5,734	―	―
		H 7. 3卒	5,758	5,623	5,699	5,667	5,710	5,715	5,704	5,571	5,464	5,215	―	―
		H 8. 3卒	5,642	5,523	5,460	5,458	5,480	5,480	5,391	5,258	5,123	4,907	―	―
		H 9. 3卒	5,394	5,149	5,121	5,024	5,035	5,010	4,990	4,826	4,658	4,570	―	―
		H10. 3卒	5,317	5,231	5,028	4,972	5,014	5,000	4,935	4,827	4,606	4,482	―	―
		H11. 3卒	4,754	4,562	4,427	4,383	4,388	4,349	4,287	4,112	3,929	3,728	―	―
		H12. 3卒	4,422	4,284	4,223	4,181	4,170	4,221	3,988	3,852	3,697	3,613	3,569	3,548
		H13. 3卒	4,600	4,439	4,279	4,196	4,243	4,232	4,086	3,966	3,854	3,744	3,741	3,715
		H14. 3卒	4,379	4,143	4,150	4,115	4,133	4,025	3,830	3,679	3,517	3,371	3,388	3,338
		H15. 3卒	4,123	3,836	3,582	3,542	3,610	3,644	3,495	3,412	3,271	3,242	3,269	3,202
		H16. 3卒	3,977	3,863	3,710	3,646	3,762	3,709	3,591	3,517	3,447	3,397	3,369	3,358
		H17. 3卒	3,793	3,726	3,673	3,607	3,645	3,648	3,532	3,468	3,358	3,309	3,309	3,300
		H18. 3卒	3,581	3,547	3,382	3,383	3,386	3,371	3,329	3,256	3,194	3,179	3,161	3,155
		H19. 3卒	3,563	3,520	3,545	3,554	3,511	3,473	3,401	3,347	3,308	3,306	3,273	3,259
		H20. 3卒	3,464	3,356	3,391	3,268	3,318	3,314	3,261	3,238	3,211	3,197	3,196	3,193
		H21. 3卒	3,207	3,122	3,203	3,177	3,193	3,168	3,112	3,058	3,002	3,001	2,985	2,948
		H22. 3卒	3,160	3,063	3,021	2,916	2,927	2,888	2,838	2,768	2,748	2,762	2,743	2,724
		H23. 3卒	3,094	2,945	2,872	2,774	2,825	2,817	2,770	2,738	2,767	2,772	2,777	2,763
		H24. 3卒	2,977	2,892	2,769	2,801	2,850	2,829	2,802	2,753	2,735	2,745	2,745	2,745
		H25. 3卒	3,281	3,112	3,037	2,926	2,935	2,897	2,864	2,838	2,815	2,809	2,870	2,870
		H26. 3卒	2,912	2,852	2,849	2,730	2,772	2,753	2,739	2,730	2,730	2,729	2,725	2,721
		H27. 3卒	2,974	2,902	2,910	2,914	2,909	2,891	2,845	2,825	2,800	2,795	2,793	2,793
		H28. 3卒	2,936	2,821	2,756	2,778	2,790	2,736	2,718	2,721	2,701	2,695	2,694	2,693
		H29. 3卒	2,748	2,757	2,745	2,741	2,740	2,715	2,713	2,709	2,712	2,708	2,707	2,706
		H30. 3卒	2,508	2,557	2,561	2,537	2,540	2,543	2,520	2,505	2,504	2,498	2,497	2,496
		H31. 3卒	2,666	2,643	2,611	2,628	2,619	2,630	2,609	2,612	2,593	2,588	2,587	2,586
		R2. 3卒	2,563	2,522	2,530	2,527	2,536	2,532	2,530	2,524	2,591	2,586	2,586	2,585
		R3. 3卒	2,438	2,458	2,455	2,385	2,332	2,305	2,279	2,252	2,260	2,253	2,249	2,245
		R4. 3卒	2,144	2,085	2,047	2,071	2,060	2,053	2,093	2,082	2,064	2,061	2,061	2,050
		R5. 3卒	1,809	2,079	2,053	2,043	2,043	2,038	2,014	1,999	1,986	1,986	1,987	1,986
		R6. 3卒	1,942	1,941	1,953	1,926	1,937	1,915	1,911	1,902	1,887	1,885	1,884	1,879
		R7. 3卒	1,954	1,983	1,974	1,976	1,992	2,002	1,978	1,977	1,970	1,966	1,967	1,956
		R8. 3卒	**2,121**	**2,104**	**2,104**	**2,093**	**2,103**	**2,094**	**2,111**	**2,095**	**2,083**			

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

			7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
求職者数	③うち県内	H 6. 3卒	3,216	3,236	3,248	3,486	3,608	3,597	3,559	3,572	3,474	3,308	―	―
		H 7. 3卒	3,252	3,176	3,197	3,331	3,400	3,455	3,459	3,346	3,274	3,074	―	―
		H 8. 3卒	3,441	3,451	3,377	3,398	3,457	3,469	3,392	3,289	3,185	3,017	―	―
		H 9. 3卒	3,144	3,094	3,032	3,023	3,056	3,031	3,024	2,921	2,747	2,668	―	―
		H10. 3卒	2,897	2,924	2,696	2,739	2,799	2,777	2,731	2,673	2,489	2,373	―	―
		H11. 3卒	2,472	2,269	2,184	2,248	2,357	2,364	2,337	2,214	2,074	1,912	―	―
		H12. 3卒	2,236	2,284	2,253	2,384	2,497	2,521	2,433	2,352	2,203	2,161	2,119	2,103
		H13. 3卒	2,561	2,453	2,400	2,449	2,584	2,606	2,537	2,455	2,354	2,286	2,287	2,263
		H14. 3卒	2,501	2,293	2,316	2,369	2,513	2,453	2,352	2,240	2,147	2,042	2,059	2,009
		H15. 3卒	2,347	2,231	2,131	2,146	2,210	2,303	2,184	2,149	2,052	2,030	2,075	2,013
		H16. 3卒	2,406	2,310	2,274	2,317	2,457	2,421	2,351	2,274	2,221	2,189	2,167	2,157
		H17. 3卒	2,343	2,291	2,333	2,330	2,399	2,392	2,281	2,230	2,148	2,104	2,105	2,097
		H18. 3卒	2,122	2,097	1,950	1,997	2,042	2,024	1,990	1,948	1,875	1,856	1,836	1,832
		H19. 3卒	2,085	1,996	2,052	2,139	2,117	2,077	2,029	1,979	1,947	1,951	1,932	1,919
		H20. 3卒	1,989	1,948	1,957	1,919	1,960	1,948	1,894	1,885	1,858	1,845	1,840	1,838
		H21. 3卒	1,801	1,754	1,739	1,716	1,753	1,741	1,699	1,657	1,610	1,616	1,603	1,593
		H22. 3卒	1,724	1,674	1,634	1,662	1,745	1,735	1,709	1,671	1,649	1,669	1,654	1,642
		H23. 3卒	1,714	1,585	1,493	1,539	1,621	1,668	1,646	1,640	1,652	1,658	1,662	1,649
		H24. 3卒	1,619	1,558	1,467	1,577	1,667	1,664	1,655	1,629	1,611	1,620	1,622	1,622
		H25. 3卒	1,950	1,848	1,706	1,712	1,761	1,731	1,716	1,699	1,673	1,669	1,721	1,721
		H26. 3卒	1,597	1,583	1,586	1,542	1,632	1,633	1,626	1,616	1,607	1,605	1,601	1,598
		H27. 3卒	1,563	1,460	1,549	1,589	1,612	1,610	1,570	1,552	1,521	1,518	1,518	1,518
		H28. 3卒	1,606	1,568	1,519	1,540	1,574	1,535	1,522	1,525	1,519	1,514	1,513	1,512
		H29. 3卒	1,539	1,575	1,523	1,546	1,545	1,546	1,550	1,544	1,547	1,542	1,541	1,540
		H30. 3卒	1,429	1,450	1,457	1,474	1,481	1,485	1,471	1,462	1,459	1,457	1,457	1,457
		H31. 3卒	1,553	1,557	1,523	1,538	1,542	1,554	1,538	1,546	1,536	1,532	1,531	1,530
		R2. 3卒	1,535	1,489	1,491	1,498	1,504	1,504	1,503	1,501	1,540	1,536	1,536	1,535
		R3. 3卒	1,443	1,532	1,510	1,471	1,457	1,441	1,425	1,406	1,419	1,412	1,408	1,405
		R4. 3卒	1,357	1,329	1,315	1,365	1,361	1,366	1,380	1,370	1,361	1,358	1,358	1,347
		R5. 3卒	1,142	1,324	1,297	1,326	1,334	1,333	1,311	1,303	1,296	1,296	1,297	1,296
		R6. 3卒	1,242	1,239	1,236	1,248	1,264	1,243	1,245	1,237	1,220	1,218	1,217	1,210
		R7. 3卒	1,226	1,293	1,272	1,280	1,281	1,292	1,278	1,277	1,269	1,265	1,264	1,257
		R8. 3卒	**1,237**	**1,279**	**1,281**	**1,291**	**1,292**	**1,292**	**1,299**	**1,289**	**1,283**			

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
求職者数	H 6. 3卒	57.9%	58.9%	57.7%	58.4%	59.2%	59.3%	59.1%	59.1%	58.4%	57.7%	―	―
	H 7. 3卒	56.5%	56.5%	56.1%	58.8%	59.5%	60.5%	60.6%	60.1%	59.9%	58.9%	―	―
	H 8. 3卒	61.0%	62.5%	61.8%	62.3%	63.1%	63.3%	62.9%	62.6%	62.2%	61.5%	―	―
	H 9. 3卒	58.3%	60.1%	59.2%	60.2%	60.7%	60.5%	60.6%	60.5%	59.0%	58.4%	―	―
	H10. 3卒	54.5%	55.9%	53.6%	55.1%	55.8%	55.5%	55.3%	55.4%	54.0%	52.9%	―	―
	H11. 3卒	52.0%	49.7%	49.3%	51.3%	53.7%	54.4%	54.5%	53.8%	52.8%	51.3%	―	―
	H12. 3卒	50.6%	53.3%	53.4%	57.0%	59.9%	59.7%	61.0%	61.1%	59.6%	59.8%	59.4%	59.3%
	H13. 3卒	55.7%	55.3%	56.1%	58.4%	60.9%	61.6%	62.1%	61.9%	61.1%	61.1%	61.1%	60.9%
	H14. 3卒	57.1%	55.3%	55.8%	57.6%	60.8%	60.9%	61.4%	60.9%	61.0%	60.6%	60.8%	60.2%
	H15. 3卒	56.9%	58.2%	59.5%	60.6%	61.2%	63.2%	62.5%	63.0%	62.7%	62.6%	63.5%	62.9%
	H16. 3卒	60.5%	59.8%	61.3%	63.5%	65.3%	65.3%	65.5%	64.7%	64.4%	64.4%	64.3%	64.2%
	H17. 3卒	61.8%	61.5%	63.5%	64.6%	65.8%	65.6%	64.6%	64.3%	64.0%	63.6%	63.6%	63.5%
	H18. 3卒	59.3%	59.1%	57.7%	59.0%	60.3%	60.0%	59.8%	59.8%	58.7%	58.4%	58.1%	58.1%
	H19. 3卒	58.5%	56.7%	57.9%	60.2%	60.3%	59.8%	59.7%	59.1%	58.9%	59.0%	59.0%	58.9%
	H20. 3卒	57.4%	58.0%	57.7%	58.7%	59.1%	58.8%	58.1%	58.2%	57.9%	57.7%	57.6%	57.6%
	H21. 3卒	56.2%	56.2%	54.3%	54.0%	54.9%	55.0%	54.6%	54.2%	53.6%	53.8%	53.7%	54.0%
	H22. 3卒	54.6%	54.7%	54.1%	57.0%	59.6%	60.1%	60.2%	60.4%	60.0%	60.4%	60.3%	60.3%
	H23. 3卒	55.4%	53.8%	52.0%	55.5%	57.4%	59.2%	59.4%	59.9%	59.7%	59.8%	59.8%	59.7%
	H24. 3卒	54.4%	53.9%	53.0%	56.3%	58.5%	58.8%	59.1%	59.2%	58.9%	59.0%	59.1%	59.1%
	H25. 3卒	59.4%	59.4%	56.2%	58.5%	60.0%	59.8%	59.9%	59.9%	59.4%	59.4%	60.0%	60.0%
	H26. 3卒	54.8%	55.5%	55.7%	56.5%	58.9%	59.3%	59.4%	59.2%	58.9%	58.8%	58.8%	58.7%
	H27. 3卒	52.6%	50.3%	53.2%	54.5%	55.4%	55.7%	55.2%	54.9%	54.3%	54.3%	54.4%	54.4%
	H28. 3卒	54.7%	55.6%	55.1%	55.4%	56.4%	56.1%	56.0%	56.0%	56.2%	56.2%	56.2%	56.1%
	H29. 3卒	56.0%	57.1%	55.5%	56.4%	56.4%	56.9%	57.1%	57.0%	57.0%	56.9%	56.9%	56.9%
	H30. 3卒	57.0%	56.7%	56.9%	58.1%	58.3%	58.4%	58.4%	58.4%	58.3%	58.3%	58.4%	58.4%
	H31. 3卒	58.3%	58.9%	58.3%	58.5%	58.9%	59.1%	58.9%	59.2%	59.2%	59.2%	59.2%	59.2%
	R2. 3卒	59.9%	59.0%	58.9%	59.3%	59.3%	59.4%	59.4%	59.5%	59.4%	59.4%	59.4%	59.4%
	R3. 3卒	59.2%	62.3%	61.5%	61.7%	62.5%	62.5%	62.5%	62.4%	62.8%	62.7%	62.6%	62.6%
	R4. 3卒	63.3%	63.7%	64.2%	65.9%	66.1%	66.5%	65.9%	65.8%	65.9%	65.9%	65.9%	65.7%
	R5. 3卒	63.1%	63.7%	63.2%	64.9%	65.3%	65.4%	65.1%	65.2%	65.3%	65.3%	65.3%	65.3%
	R6. 3卒	64.0%	63.8%	63.3%	64.8%	65.3%	64.9%	65.1%	65.0%	64.7%	64.6%	64.6%	64.4%
	R7. 3卒	62.7%	65.2%	64.4%	64.8%	64.3%	64.5%	64.6%	64.6%	64.4%	64.3%	64.3%	64.3%
	R8. 3卒	**58.3%**	**60.8%**	**60.9%**	**61.7%**	**61.4%**	**61.7%**	**61.5%**	**61.5%**	**61.6%**			

就職希望者に占める県内希望者の割合

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

			7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
求人倍率	求職者全体に対する求人倍率 ①／②	H 6. 3卒	0.72	0.83	0.85	0.84	0.85	0.88	0.93	0.94	0.97	1.01	－	－
		H 7. 3卒	0.50	0.60	0.66	0.72	0.74	0.78	0.82	0.89	0.92	0.96	－	－
		H 8. 3卒	0.45	0.54	0.60	0.66	0.69	0.72	0.76	0.81	0.84	0.88	－	－
		H 9. 3卒	0.38	0.49	0.56	0.62	0.66	0.70	0.74	0.80	0.84	0.85	－	－
		H10. 3卒	0.36	0.43	0.51	0.56	0.58	0.61	0.64	0.68	0.72	0.74	－	－
		H11. 3卒	0.23	0.28	0.32	0.37	0.39	0.42	0.45	0.51	0.54	0.57	－	－
		H12. 3卒	0.16	0.23	0.28	0.34	0.37	0.41	0.52	0.58	0.63	0.65	0.65	0.66
		H13. 3卒	0.19	0.24	0.30	0.35	0.41	0.46	0.52	0.57	0.59	0.61	0.61	0.61
		H14. 3卒	0.15	0.20	0.23	0.26	0.33	0.37	0.45	0.51	0.55	0.57	0.57	0.58
		H15. 3卒	0.13	0.19	0.25	0.31	0.37	0.39	0.47	0.53	0.58	0.58	0.58	0.59
		H16. 3卒	0.14	0.21	0.27	0.35	0.39	0.44	0.51	0.58	0.61	0.62	0.63	0.63
		H17. 3卒	0.20	0.29	0.37	0.47	0.52	0.54	0.61	0.65	0.69	0.70	0.70	0.70
		H18. 3卒	0.23	0.32	0.41	0.50	0.56	0.59	0.66	0.70	0.72	0.72	0.73	0.73
		H19. 3卒	0.36	0.44	0.51	0.61	0.65	0.68	0.74	0.78	0.80	0.80	0.81	0.81
		H20. 3卒	0.36	0.46	0.50	0.62	0.68	0.70	0.74	0.75	0.77	0.78	0.78	0.78
		H21. 3卒	0.45	0.53	0.55	0.62	0.63	0.65	0.68	0.70	0.72	0.72	0.72	0.73
		H22. 3卒	0.24	0.33	0.36	0.43	0.47	0.52	0.57	0.62	0.63	0.63	0.63	0.64
		H23. 3卒	0.25	0.35	0.41	0.50	0.53	0.57	0.63	0.65	0.66	0.66	0.66	0.66
		H24. 3卒	0.31	0.41	0.50	0.60	0.63	0.67	0.72	0.76	0.78	0.78	0.78	0.78
		H25. 3卒	0.33	0.46	0.56	0.69	0.73	0.79	0.83	0.87	0.88	0.88	0.87	0.87
		H26. 3卒	0.48	0.62	0.70	0.84	0.88	0.93	0.96	0.98	0.98	0.98	0.98	0.99
		H27. 3卒	0.64	0.75	0.89	0.98	1.01	1.04	1.08	1.10	1.11	1.11	1.11	1.11
		H28. 3卒	0.82	0.96	1.07	1.15	1.16	1.20	1.23	1.23	1.25	1.25	1.25	1.25
		H29. 3卒	1.06	1.17	1.24	1.30	1.33	1.36	1.37	1.38	1.38	1.39	1.39	1.39
		H30. 3卒	1.37	1.45	1.51	1.59	1.60	1.61	1.64	1.65	1.65	1.66	1.66	1.66
		H31. 3卒	1.46	1.55	1.59	1.65	1.68	1.69	1.72	1.72	1.74	1.75	1.75	1.75
		R2. 3卒	1.58	1.66	1.71	1.76	1.77	1.79	1.79	1.80	1.76	1.76	1.76	1.76
		R3. 3卒	1.30	1.37	1.44	1.54	1.63	1.69	1.74	1.76	1.76	1.77	1.77	1.77
		R4. 3卒	1.55	1.68	1.79	1.83	1.86	1.91	1.89	1.91	1.93	1.94	1.94	1.96
		R5. 3卒	2.09	1.93	2.03	2.10	2.11	2.14	2.18	2.20	2.22	2.22	2.22	2.23
		R6. 3卒	2.12	2.22	2.28	2.35	2.35	2.39	2.41	2.43	2.45	2.45	2.45	2.46
		R7. 3卒	2.02	2.10	2.17	2.22	2.21	2.22	2.26	2.27	2.28	2.29	2.29	2.30
		R8. 3卒	**1.87**	**1.94**	**1.99**	**2.03**	**2.03**	**2.06**	**2.06**	**2.08**	**2.09**			

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
内定者数 ④全体（県外＋県内）	H 6. 3卒	―	―	2,733	4,312	4,859	5,123	5,350	5,679	5,821	5,734	―	―
	H 7. 3卒	―	―	2,559	3,869	4,316	4,624	4,943	5,204	5,343	5,215	―	―
	H 8. 3卒	―	―	2,271	3,566	3,999	4,388	4,666	4,919	4,991	4,863	―	―
	H 9. 3卒	―	―	2,099	3,291	3,674	3,955	4,239	4,481	4,531	4,508	―	―
	H10. 3卒	―	―	2,163	3,070	3,618	3,850	4,079	4,312	4,384	4,379	―	―
	H11. 3卒	―	―	1,731	2,529	2,833	3,056	3,245	3,511	3,555	3,582	―	―
	H12. 3卒	―	―	1,294	2,043	2,358	2,697	2,916	3,359	3,480	3,488	3,515	3,525
	H13. 3卒	―	―	1,402	2,119	2,529	2,800	3,202	3,487	3,608	3,645	3,660	3,672
	H14. 3卒	―	―	1,108	1,851	2,148	2,478	2,725	3,033	3,152	3,209	3,229	3,270
	H15. 3卒	―	―	944	1,557	1,863	2,243	2,474	2,804	3,009	3,054	3,122	3,132
	H16. 3卒	―	―	970	1,630	1,989	2,432	2,661	3,074	3,219	3,257	3,309	3,329
	H17. 3卒	―	―	1,108	1,867	2,290	2,674	2,830	3,078	3,172	3,189	3,228	3,252
	H18. 3卒	―	―	1,249	1,954	2,249	2,618	2,773	2,999	3,057	3,090	3,112	3,115
	H19. 3卒	―	―	1,350	2,189	2,544	2,864	2,992	3,153	3,213	3,224	3,215	3,218
	H20. 3卒	―	―	1,452	2,201	2,485	2,839	2,937	3,089	3,136	3,146	3,151	3,152
	H21. 3卒	―	―	1,392	2,120	2,391	2,640	2,737	2,865	2,894	2,905	2,929	2,899
	H22. 3卒	―	―	963	1,586	1,852	2,155	2,297	2,501	2,594	2,621	2,671	2,692
	H23. 3卒	―	―	1,144	1,710	1,971	2,271	2,376	2,571	2,688	2,722	2,733	2,743
	H24. 3卒	―	―	1,092	1,853	2,143	2,431	2,555	2,653	2,688	2,716	2,723	2,726
	H25. 3卒	―	―	1,077	1,936	2,331	2,601	2,683	2,762	2,789	2,793	2,866	2,867
	H26. 3卒	―	―	1,025	1,931	2,318	2,554	2,621	2,685	2,709	2,717	2,721	2,720
	H27. 3卒	―	―	1,418	2,219	2,524	2,676	2,730	2,777	2,788	2,789	2,789	2,791
	H28. 3卒	―	―	1,386	2,229	2,467	2,556	2,611	2,678	2,689	2,692	2,692	2,692
	H29. 3卒	―	―	1,531	2,255	2,446	2,551	2,615	2,671	2,694	2,697	2,697	2,700
	H30. 3卒	―	―	1,434	2,122	2,273	2,368	2,441	2,467	2,486	2,490	2,492	2,492
	H31. 3卒	―	―	1,512	2,227	2,409	2,480	2,541	2,572	2,580	2,584	2,584	2,584
	R2. 3卒	―	―	1,599	2,144	2,294	2,385	2,444	2,498	2,586	2,584	2,584	2,584
	R3. 3卒	―	―	※ ―	1,439	1,931	2,097	2,169	2,218	2,241	2,239	2,239	2,240
	R4. 3卒	―	―	1,160	1,723	1,847	1,898	1,974	2,025	2,048	2,050	2,051	2,048
	R5. 3卒	－	－	1,053	1,715	1,828	1,885	1,906	1,952	1,976	1,976	1,979	1,979
	R6. 3卒	－	－	1,039	1,593	1,696	1,766	1,817	1,864	1,873	1,874	1,873	1,873
	R7. 3卒	－	－	1,182	1,635	1,775	1,838	1,888	1,932	1,948	1,949	1,951	1,952
	R8. 3卒	－	－	**1,234**	**1,712**	**1,836**	**1,915**	**1,998**	**2,053**	**2,072**			

※高校新卒者の内定開始時期について、R3．3卒は、新型コロナウイルス感染症の影響により1か月延期された。

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

			7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
内定者数	⑤うち県内	H 6. 3卒	―	―	1,191	2,243	2,596	2,807	2,999	3,259	3,364	3,308	―	―
		H 7. 3卒	―	―	1,122	1,954	2,273	2,532	2,797	3,016	3,167	3,074	―	―
		H 8. 3卒	―	―	1,056	1,965	2,266	2,555	2,768	2,990	3,066	2,979	―	―
		H 9. 3卒	―	―	954	1,679	1,955	2,172	2,389	2,607	2,630	2,611	―	―
		H10. 3卒	―	―	836	1,395	1,706	1,848	2,015	2,221	2,290	2,277	―	―
		H11. 3卒	―	―	530	965	1,168	1,344	1,507	1,722	1,762	1,787	―	―
		H12. 3卒	―	―	453	918	1,190	1,369	1,543	1,930	2,027	2,042	2,068	2,080
		H13. 3卒	―	―	582	968	1,247	1,470	1,819	2,054	2,160	2,195	2,210	2,221
		H14. 3卒	―	―	358	776	984	1,253	1,456	1,724	1,846	1,887	1,907	1,941
		H15. 3卒	―	―	310	653	854	1,178	1,352	1,654	1,830	1,873	1,937	1,947
		H16. 3卒	―	―	359	736	981	1,337	1,536	1,885	2,029	2,064	2,111	2,130
		H17. 3卒	―	―	453	908	1,218	1,541	1,664	1,886	1,982	1,994	2,030	2,051
		H18. 3卒	―	―	457	868	1,063	1,368	1,487	1,707	1,748	1,775	1,794	1,798
		H19. 3卒	―	―	512	985	1,266	1,554	1,668	1,811	1,863	1,872	1,876	1,879
		H20. 3卒	―	―	520	1,034	1,232	1,535	1,614	1,758	1,793	1,799	1,800	1,801
		H21. 3卒	―	―	493	947	1,109	1,318	1,397	1,497	1,526	1,537	1,561	1,556
		H22. 3卒	―	―	298	718	892	1,151	1,272	1,449	1,530	1,554	1,603	1,616
		H23. 3卒	―	―	375	751	951	1,209	1,300	1,483	1,580	1,611	1,620	1,630
		H24. 3卒	―	―	381	871	1,088	1,345	1,450	1,545	1,572	1,596	1,603	1,606
		H25. 3卒	―	―	362	950	1,267	1,496	1,566	1,635	1,655	1,658	1,719	1,720
		H26. 3卒	―	―	343	949	1,254	1,453	1,511	1,572	1,586	1,593	1,597	1,597
		H27. 3卒	―	―	537	1,066	1,302	1,430	1,477	1,510	1,511	1,514	1,515	1,516
		H28. 3卒	―	―	588	1,129	1,309	1,380	1,429	1,486	1,508	1,511	1,511	1,511
		H29. 3卒	―	―	689	1,175	1,317	1,407	1,463	1,511	1,531	1,531	1,531	1,534
		H30. 3卒	―	―	735	1,154	1,265	1,350	1,408	1,433	1,445	1,450	1,452	1,453
		H31. 3卒	―	―	799	1,234	1,368	1,429	1,482	1,512	1,524	1,528	1,528	1,528
		R2. 3卒	―	―	854	1,223	1,323	1,386	1,433	1,479	1,537	1,534	1,534	1,534
		R3. 3卒	―	―	※ ―	832	1,157	1,273	1,335	1,381	1,404	1,401	1,401	1,402
		R4. 3卒	―	―	700	1,094	1,186	1,231	1,276	1,322	1,345	1,347	1,348	1,345
		R5. 3卒	-	-	650	1,077	1,155	1,205	1,224	1,264	1,288	1,288	1,291	1,290
		R6. 3卒	-	-	607	989	1,066	1,119	1,162	1,203	1,208	1,209	1,208	1,205
		R7. 3卒	-	-	719	1,021	1,115	1,163	1,202	1,241	1,254	1,255	1,255	1,256
		R8. 3卒	-	-	**687**	**1,015**	**1,096**	**1,151**	**1,208**	**1,257**	**1,274**			

※高校新卒者の内定開始時期について、R3．3卒は、新型コロナウイルス感染症の影響により1か月延期された。

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
内定者数 就職内定者に占める県内内定者の割合	H 6. 3卒	―	―	43.6%	52.0%	53.4%	54.8%	56.1%	57.4%	57.8%	57.7%	―	―
	H 7. 3卒	―	―	43.8%	50.5%	52.7%	54.8%	56.6%	58.0%	59.3%	58.9%	―	―
	H 8. 3卒	―	―	46.5%	55.1%	56.7%	58.2%	59.3%	60.8%	61.4%	61.3%	―	―
	H 9. 3卒	―	―	45.5%	51.0%	53.2%	54.9%	56.4%	58.2%	58.0%	57.9%	―	―
	H10. 3卒	―	―	38.7%	45.4%	47.2%	48.0%	49.4%	51.5%	52.2%	52.0%	―	―
	H11. 3卒	―	―	30.6%	38.2%	41.2%	44.0%	46.4%	49.0%	49.6%	49.9%	―	―
	H12. 3卒	―	―	35.0%	44.9%	50.5%	50.8%	52.9%	57.5%	58.2%	58.5%	58.8%	59.0%
	H13. 3卒	―	―	41.5%	45.7%	49.3%	52.5%	56.8%	58.9%	59.9%	60.2%	60.4%	60.5%
	H14. 3卒	―	―	32.3%	41.9%	45.8%	50.6%	53.4%	56.8%	58.6%	58.8%	59.1%	59.4%
	H15. 3卒	―	―	32.8%	41.9%	45.8%	52.5%	54.6%	59.0%	60.8%	61.3%	62.0%	62.2%
	H16. 3卒	―	―	37.0%	45.2%	49.3%	55.0%	57.7%	61.3%	63.0%	63.4%	63.8%	64.0%
	H17. 3卒	―	―	40.9%	48.6%	53.2%	57.6%	58.8%	61.3%	62.5%	62.5%	62.9%	63.1%
	H18. 3卒	―	―	36.6%	44.4%	47.3%	52.3%	53.6%	56.9%	57.2%	57.4%	57.6%	57.7%
	H19. 3卒	―	―	37.9%	45.0%	49.8%	54.3%	55.7%	57.4%	58.0%	58.1%	58.4%	58.4%
	H20. 3卒	―	―	35.8%	47.0%	49.6%	54.1%	55.0%	56.9%	57.2%	57.2%	57.1%	57.1%
	H21. 3卒	―	―	35.4%	44.7%	46.4%	49.9%	51.0%	52.3%	52.7%	52.9%	53.3%	53.7%
	H22. 3卒	―	―	30.9%	45.3%	48.2%	53.4%	55.4%	57.9%	59.0%	59.3%	60.0%	60.0%
	H23. 3卒	―	―	32.8%	43.9%	48.2%	53.2%	54.7%	57.7%	58.8%	59.2%	59.3%	59.4%
	H24. 3卒	―	―	34.9%	47.0%	50.8%	55.3%	56.8%	58.2%	58.5%	58.8%	58.9%	58.9%
	H25. 3卒	―	―	33.6%	49.1%	54.4%	57.5%	58.4%	59.2%	59.3%	59.4%	60.0%	60.0%
	H26. 3卒	―	―	33.5%	49.1%	54.1%	56.9%	57.6%	58.5%	58.5%	58.6%	58.7%	58.7%
	H27. 3卒	―	―	37.9%	48.0%	51.6%	53.4%	54.1%	54.4%	54.2%	54.3%	54.3%	54.3%
	H28. 3卒	―	―	42.4%	50.7%	53.1%	54.0%	54.7%	55.5%	56.1%	56.1%	56.1%	56.1%
	H29. 3卒	―	―	45.0%	52.1%	53.8%	55.2%	55.9%	56.6%	56.8%	56.8%	56.8%	56.8%
	H30. 3卒	―	―	51.3%	54.4%	55.7%	57.0%	57.7%	58.1%	58.1%	58.2%	58.3%	58.3%
	H31. 3卒	―	―	52.8%	55.4%	56.8%	57.6%	58.3%	58.8%	59.1%	59.1%	59.1%	59.1%
	R2. 3卒	―	―	53.4%	57.0%	57.7%	58.1%	58.6%	59.2%	59.4%	59.4%	59.4%	59.4%
	R3. 3卒	―	―	※ ―	57.8%	59.9%	60.7%	61.5%	62.3%	62.7%	62.6%	62.6%	62.6%
	R4. 3卒	―	―	60.3%	63.5%	64.2%	64.9%	64.6%	65.3%	65.7%	65.7%	65.7%	65.7%
	R5. 3卒	―	―	61.7%	62.8%	63.2%	63.9%	64.2%	64.8%	65.2%	65.2%	65.2%	65.2%
	R6. 3卒	-	-	58.4%	62.1%	62.9%	63.4%	64.0%	64.5%	64.5%	64.5%	64.5%	64.3%
	R7. 3卒	-	-	60.8%	62.4%	62.8%	63.3%	63.7%	64.2%	64.4%	64.4%	64.3%	64.3%
	R8. 3卒	-	-	**55.7%**	**59.3%**	**59.7%**	**60.1%**	**60.5%**	**61.2%**	**61.5%**			

※高校新卒者の内定開始時期について、R3．3卒は、新型コロナウイルス感染症の影響により1か月延期された。

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
未内定者数 全体（県外＋県内）	H 6. 3卒	―	―	2,900	1,653	1,233	943	671	368	131	0	―	―
	H 7. 3卒	―	―	3,140	1,798	1,394	1,091	761	367	121	0	―	―
	H 8. 3卒	―	―	3,189	1,892	1,481	1,092	725	339	132	44	―	―
	H 9. 3卒	―	―	3,022	1,733	1,361	1,055	751	345	127	62	―	―
	H10. 3卒	―	―	2,865	1,902	1,396	1,150	856	515	222	103	―	―
	H11. 3卒	―	―	2,696	1,854	1,555	1,293	1,042	601	374	146	―	―
	H12. 3卒	―	―	2,929	2,138	1,812	1,524	1,072	493	217	125	54	23
	H13. 3卒	―	―	2,877	2,077	1,714	1,432	884	479	246	99	81	43
	H14. 3卒	―	―	3,042	2,264	1,985	1,547	1,105	646	365	162	159	68
	H15. 3卒	―	―	2,638	1,985	1,747	1,401	1,021	608	262	188	147	70
	H16. 3卒	―	―	2,740	2,016	1,773	1,277	930	443	228	140	60	29
	H17. 3卒	―	―	2,565	1,740	1,355	974	702	390	186	120	81	48
	H18. 3卒	―	―	2,133	1,429	1,137	753	556	257	137	89	49	40
	H19. 3卒	―	―	2,195	1,365	967	609	409	194	95	82	58	41
	H20. 3卒	―	―	1,939	1,067	833	475	324	149	75	51	45	41
	H21. 3卒	―	―	1,811	1,057	802	528	375	193	108	96	56	49
	H22. 3卒	―	―	2,058	1,330	1,075	733	541	267	154	141	72	32
	H23. 3卒	―	―	1,728	1,064	854	546	394	167	79	50	44	20
	H24. 3卒	―	―	1,677	948	707	398	247	100	47	29	22	19
	H25. 3卒	―	―	1,960	990	604	296	181	76	26	16	4	3
	H26. 3卒	―	―	1,824	799	454	199	118	45	21	12	4	1
	H27. 3卒	―	―	1,492	695	385	215	115	48	12	6	4	2
	H28. 3卒	―	―	1,370	549	323	180	107	43	12	3	2	1
	H29. 3卒	―	―	1,214	486	294	164	98	38	18	11	10	6
	H30. 3卒	―	―	1,127	415	267	175	79	38	18	8	5	4
	H31. 3卒	―	―	1,099	401	210	150	68	40	13	4	3	2
	R2. 3卒	―	―	931	383	242	147	86	26	5	2	2	1
	R3. 3卒	―	―	※ ―	946	401	208	110	34	19	14	10	5
	R4. 3卒	―	―	887	348	213	155	119	57	16	11	10	2
	R5. 3卒	―	―	1,000	328	215	153	108	47	10	10	8	7
	R6. 3卒	-	-	914	333	241	149	94	38	14	11	11	6
	R7. 3卒	-	-	792	341	217	164	90	45	22	17	16	4
	R8. 3卒	-	-	**870**	**381**	**267**	**179**	**113**	**42**	**11**			

※高校新卒者の内定開始時期について、R3．3卒は、新型コロナウイルス感染症の影響により1か月延期された。

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

			7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
未内定者数	うち県内	H 6. 3卒	―	―	2,057	1,243	1,012	790	560	313	110	0	―	―
		H 7. 3卒	―	―	2,075	1,377	1,127	923	662	330	107	0	―	―
		H 8. 3卒	―	―	2,321	1,433	1,191	914	624	299	119	38	―	―
		H 9. 3卒	―	―	2,078	1,344	1,101	859	635	314	117	57	―	―
		H10. 3卒	―	―	1,860	1,344	1,093	929	716	452	199	96	―	―
		H11. 3卒	―	―	1,654	1,283	1,189	1,020	830	492	312	125	―	―
		H12. 3卒	―	―	1,800	1,466	1,307	1,152	890	422	176	119	51	23
		H13. 3卒	―	―	1,818	1,481	1,337	1,136	718	401	194	91	77	42
		H14. 3卒	―	―	1,958	1,593	1,529	1,200	896	516	301	155	152	68
		H15. 3卒	―	―	1,821	1,493	1,356	1,125	832	495	222	157	138	66
		H16. 3卒	―	―	1,915	1,581	1,476	1,084	815	389	192	125	56	27
		H17. 3卒	―	―	1,880	1,422	1,181	851	617	344	166	110	75	46
		H18. 3卒	―	―	1,493	1,129	979	656	503	241	127	81	42	34
		H19. 3卒	―	―	1,540	1,154	851	523	361	168	84	79	56	40
		H20. 3卒	―	―	1,437	885	728	413	280	127	65	46	40	37
		H21. 3卒	―	―	1,246	769	644	423	302	160	84	79	42	37
		H22. 3卒	―	―	1,336	944	853	584	437	222	119	115	51	26
		H23. 3卒	―	―	1,118	788	670	459	346	157	72	47	42	19
		H24. 3卒	―	―	1,086	706	579	319	205	84	39	24	19	16
		H25. 3卒	―	―	1,344	762	494	235	150	64	18	11	2	1
		H26. 3卒	―	―	1,243	593	378	180	115	44	21	12	4	1
		H27. 3卒	―	―	1,012	523	310	180	93	42	10	4	3	2
		H28. 3卒	―	―	931	411	265	155	93	39	11	3	2	1
		H29. 3卒	―	―	834	371	228	139	87	33	16	11	10	6
		H30. 3卒	―	―	722	320	216	135	63	29	14	7	5	4
		H31. 3卒	―	―	724	304	174	125	56	34	12	4	3	2
		R2. 3卒	―	―	637	275	181	118	70	22	3	2	2	1
		R3. 3卒	－	－	※ －	639	300	168	90	25	15	11	7	3
		R4. 3卒	―	―	615	271	175	135	104	48	16	11	10	2
		R5. 3卒	―	―	647	249	179	128	87	39	8	8	6	6
		R6. 3卒	－	－	629	259	198	124	83	34	12	9	9	5
		R7. 3卒	－	－	553	259	166	129	76	36	15	10	9	1
		R8. 3卒	－	－	**594**	**276**	**196**	**141**	**91**	**32**	**9**			

※高校新卒者の内定開始時期について、R3．3卒は、新型コロナウイルス感染症の影響により1か月延期された。

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

			7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
内定率	求職者全体の内定率 ④/②	H 6. 3卒	―	―	48.5	72.3	79.8	84.5	88.9	93.9	97.8	100.0	―	―
		H 7. 3卒	―	―	44.9	68.3	75.6	80.9	86.7	93.4	97.8	100.0	―	―
		H 8. 3卒	―	―	41.6	65.3	73.0	80.1	86.6	93.6	97.4	99.1	―	―
		H 9. 3卒	―	―	41.0	65.5	73.0	78.9	84.9	92.9	97.3	98.6	―	―
		H10. 3卒	―	―	43.0	61.7	72.2	77.0	82.7	89.3	95.2	97.7	―	―
		H11. 3卒	―	―	39.1	57.7	64.6	70.3	75.7	85.4	90.5	96.1	―	―
		H12. 3卒	―	―	30.6	48.9	56.5	63.9	73.1	87.2	94.1	96.5	98.5	99.4
		H13. 3卒	―	―	32.8	50.5	59.6	66.2	78.4	87.9	93.6	97.4	97.8	98.8
		H14. 3卒	―	―	26.7	45.0	52.0	61.6	71.1	82.4	89.6	95.2	95.3	98.0
		H15. 3卒	―	―	26.4	44.0	51.6	61.6	70.8	82.2	92.0	94.2	95.5	97.8
		H16. 3卒	―	―	26.1	44.7	52.9	65.6	74.1	87.4	93.4	95.9	98.2	99.1
		H17. 3卒	―	―	30.2	51.8	62.8	73.3	80.1	88.8	94.5	96.4	97.6	98.5
		H18. 3卒	―	―	36.9	57.8	66.4	77.7	83.3	92.1	95.7	97.2	98.4	98.7
		H19. 3卒	―	―	38.1	61.6	72.5	82.5	88.0	94.2	97.1	97.5	98.2	98.7
		H20. 3卒	―	―	42.8	67.4	74.9	85.7	90.1	95.4	97.7	98.4	98.6	98.7
		H21. 3卒	―	―	43.5	66.7	74.9	83.3	87.9	93.7	96.4	96.8	98.1	98.3
		H22. 3卒	―	―	31.9	54.4	63.3	74.6	80.9	90.4	94.4	94.9	97.4	98.8
		H23. 3卒	―	―	39.8	61.6	69.8	80.6	85.8	93.9	97.1	98.2	98.4	99.3
		H24. 3卒	―	―	39.4	66.2	75.2	85.9	91.2	96.4	98.3	98.9	99.2	99.3
		H25. 3卒	―	―	35.5	66.2	79.4	89.8	93.7	97.3	99.1	99.4	99.9	99.9
		H26. 3卒	―	―	36.0	70.7	83.6	92.8	95.7	98.4	99.2	99.6	99.9	100.0
		H27. 3卒	―	―	48.7	76.1	86.8	92.6	96.0	98.3	99.6	99.8	99.9	99.9
		H28. 3卒	―	―	50.3	80.2	88.4	93.4	96.1	98.4	99.6	99.9	99.9	100.0
		H29. 3卒	―	―	55.8	82.3	89.3	94.0	96.4	98.6	99.3	99.6	99.6	99.8
		H30. 3卒	―	―	56.0	83.6	89.5	93.1	96.9	98.5	99.3	99.7	99.8	99.8
		H31. 3卒	―	―	57.9	84.7	92.0	94.3	97.4	98.5	99.5	99.8	99.9	99.9
		R2. 3卒	―	―	63.2	84.8	90.5	94.2	96.6	99.0	99.8	99.9	99.9	100.0
		R3. 3卒	―	―	※ ―	60.3	82.8	91.0	95.2	98.5	99.2	99.4	99.6	99.8
		R4. 3卒	―	―	56.7	83.2	89.7	92.5	94.3	97.3	99.2	99.5	99.5	99.9
		R5. 3卒	―	―	51.3	83.9	89.5	92.5	94.6	97.6	99.5	99.5	99.6	99.6
		R6. 3卒	-	-	53.2	82.7	87.6	92.2	95.1	98.0	99.3	99.4	99.4	99.7
		R7. 3卒	-	-	59.9	82.7	89.1	91.8	95.4	97.7	98.9	99.1	99.2	99.8
		R8. 3卒	-	-	**58.7**	**81.8**	**87.3**	**91.5**	**94.6**	**98.0**	**99.5**			

※高校新卒者の内定開始時期について、R3．3卒は、新型コロナウイルス感染症の影響により1か月延期された。

新規高等学校卒業者の求人・求職・就職状況

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
内定率 県内求職者の内定率 ⑤/③	H 6. 3卒	―	―	36.7	64.3	72.0	78.0	84.3	91.2	96.8	100.0	―	―
	H 7. 3卒	―	―	35.1	58.7	66.9	73.3	80.9	90.1	96.7	100.0	―	―
	H 8. 3卒	―	―	31.3	57.8	65.5	73.7	81.6	90.9	96.3	98.7	―	―
	H 9. 3卒	―	―	31.5	55.5	64.0	71.7	79.0	89.3	95.7	97.9	―	―
	H10. 3卒	―	―	31.0	50.9	61.0	66.5	73.8	83.1	92.0	96.0	―	―
	H11. 3卒	―	―	24.3	42.9	49.6	56.9	64.5	77.8	85.0	93.5	―	―
	H12. 3卒	―	―	20.1	38.5	47.7	54.3	63.4	82.1	92.0	94.5	97.6	98.9
	H13. 3卒	―	―	24.3	39.5	48.3	56.4	71.7	83.7	91.8	96.0	96.6	98.1
	H14. 3卒	―	―	15.5	32.8	39.2	51.1	61.9	77.0	86.0	92.4	92.6	96.6
	H15. 3卒	―	―	14.5	30.4	38.6	51.2	61.9	77.0	89.2	92.3	93.3	96.7
	H16. 3卒	―	―	15.8	31.8	39.9	55.2	65.3	82.9	91.4	94.3	97.4	98.7
	H17. 3卒	―	―	19.4	39.0	50.8	64.4	73.0	84.6	92.3	94.8	96.4	97.8
	H18. 3卒	―	―	23.4	43.5	52.1	67.6	74.7	87.6	93.2	95.6	97.7	98.1
	H19. 3卒	―	―	25.0	46.0	59.8	74.8	82.2	91.5	95.7	96.0	97.1	97.9
	H20. 3卒	―	―	26.6	53.9	62.9	78.8	85.2	93.3	96.5	97.5	97.8	98.0
	H21. 3卒	―	―	28.3	55.2	63.3	75.7	82.2	90.3	94.8	95.1	97.4	97.7
	H22. 3卒	―	―	18.2	43.2	51.1	66.3	74.4	86.7	92.8	93.1	96.9	98.4
	H23. 3卒	―	―	25.1	48.8	58.7	72.5	79.0	90.4	95.6	97.2	97.5	98.8
	H24. 3卒	―	―	26.0	55.2	65.3	80.8	87.6	94.8	97.6	98.5	98.8	99.0
	H25. 3卒	―	―	21.2	55.5	71.9	86.4	91.3	96.2	98.9	99.3	99.9	99.9
	H26. 3卒	―	―	21.6	61.5	76.8	89.0	92.9	97.3	98.7	99.3	99.8	99.9
	H27. 3卒	―	―	34.7	67.1	80.8	88.8	94.1	97.3	99.3	99.7	99.8	99.9
	H28. 3卒	―	―	38.7	73.3	83.2	89.9	93.9	97.4	99.3	99.8	99.9	99.9
	H29. 3卒	―	―	45.2	76.0	85.2	91.0	94.4	97.9	99.0	99.3	99.4	99.6
	H30. 3卒	―	―	50.4	78.3	85.4	90.9	95.7	98.0	99.0	99.5	99.7	99.7
	H31. 3卒	―	―	52.5	80.2	88.7	92.0	96.4	97.8	99.2	99.7	99.8	99.9
	R2. 3卒	―	―	57.3	81.6	88.0	92.2	95.3	98.5	99.8	99.9	99.9	99.9
	R3. 3卒	―	―	※ ―	56.6	79.4	88.3	93.7	98.2	98.9	99.2	99.5	99.8
	R4. 3卒	―	―	53.2	80.1	87.1	90.1	92.5	96.5	98.8	99.2	99.3	99.9
	R5. 3卒	―	―	50.1	81.2	86.6	90.4	93.4	97.0	99.4	99.4	99.5	99.5
	R6. 3卒	-	-	49.1	79.2	84.3	90.0	93.3	97.3	99.0	99.3	99.3	99.6
	R7. 3卒	-	-	56.5	79.8	87.0	90.0	94.1	97.2	98.8	99.2	99.3	99.9
	R8. 3卒	-	-	**53.6**	**78.6**	**84.8**	**89.1**	**93.0**	**97.5**	**99.3**			

※高校新卒者の内定開始時期について、R3．3卒は、新型コロナウイルス感染症の影響により1か月延期された。

大学等の求職・内定状況　【令和8年3月卒業者】

別紙2

宮崎労働局

		令和8年3月末現在				前年同月				前年比			
		合計	大学	短大	高専	合計	大学	短大	高専	合計	大学	短大	高専
卒業予定者	計	**2,195**	**1,843**	**198**	**154**	**2,220**	**1,789**	**255**	**176**	**−1.1%**	**3.0%**	**−22.4%**	**−12.5%**
	男	1,081	959	16	106	1,128	994	17	117	−4.2%	−3.5%	−5.9%	−9.4%
	女	1,114	884	182	48	1,092	795	238	59	2.0%	11.2%	−23.5%	−18.6%
求職者数①	計	**1,546**	**1,266**	**189**	**91**	**1,566**	**1,234**	**215**	**117**	**−1.3%**	**2.6%**	**−12.1%**	**−22.2%**
	男	694	623	16	55	729	639	14	76	−4.8%	−2.5%	14.3%	−27.6%
	女	852	643	173	36	837	595	201	41	1.8%	8.1%	−13.9%	−12.2%
就職内定者数②	計	**1,515**	**1,237**	**188**	**90**	**1,546**	**1,216**	**214**	**116**	**−2.0%**	**1.7%**	**−12.1%**	**−22.4%**
	男	679	609	15	55	719	629	14	76	−5.6%	−3.2%	7.1%	−27.6%
	女	836	628	173	35	827	587	200	40	1.1%	7.0%	−13.5%	−12.5%
うち県内	計	**625**	**461**	**158**	**6**	**675**	**470**	**189**	**16**	**−7.4%**	**−1.9%**	**−16.4%**	**−62.5%**
	男	231	215	13	3	236	212	14	10	−2.1%	1.4%	−7.1%	−70.0%
	女	394	246	145	3	439	258	175	6	−10.3%	−4.7%	−17.1%	−50.0%
就職内定者に占める県内内定者の割合		**41.3%**	37.3%	84.0%	6.7%	**43.7%**	38.7%	88.3%	13.8%	**−2.4**	−1.4	−4.3	−7.1
有効求職者数①−②	計	**31**	**29**	**1**	**1**	**20**	**18**	**1**	**1**	**55.0%**	**61.1%**	**0.0%**	**0.0%**
	男	15	14	1	0	10	10	0	0	50.0%	40.0%	−	−
	女	16	15	0	1	10	8	1	1	60.0%	87.5%	−100.0%	0.0%
就職内定率②／①	計	**98.0%**	**97.7%**	**99.5%**	**98.9%**	**98.7%**	**98.5%**	**99.5%**	**99.1%**	**−0.7**	**−0.8**	**0**	**−0.2**
	男	97.8%	97.8%	93.8%	100.0%	98.6%	98.4%	100.0%	100.0%	−0.8	−0.6	−6.2	0.0
	女	98.1%	97.7%	100.0%	97.2%	98.8%	98.7%	99.5%	97.6%	−0.7	−1	0.5	−0.4

※宮崎大学医学部・県立看護大学は含まない。　※端数処理の関係で最下位の数値があわない場合がある。

※この調査は、宮崎労働局管内の大学等9校が、R8.3月末日時点で学生からの報告等により把握している内定状況等を取りまとめたものです。本調査は大学等の協力により可能な範囲で把握した数字を取りまとめており、報告のない学生や連絡の取れない学生などは未内定として計上しています。なお、厚生労働省及び文部科学省が公表している「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」は抽出調査として実施しており、調査時点ごとに、電話・面接等の方法により抽出した学生全員に対して学校を通じて内定状況を確認した結果であり、調査方法等が異なることから、この調査と直接数値を比較できるものではありません。

大学等の求人・求職・就職状況 【大学・短大・高専】

宮崎労働局

		10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
求職者数	H10. 3卒	2,621	2,574	2,531	2,526	2,440	2,372
	H11. 3卒	2,468	2,424	2,454	2,379	2,205	2,156
	H12. 3卒	2,265	2,243	2,232	2,206	2,140	2,082
	H13. 3卒	2,322	2,286	2,259	2,218	2,067	2,030
	H14. 3卒	2,203	2,086	2,039	2,062	1,922	1,843
	H15. 3卒	2,254	2,165	2,106	1,993	1,943	1,975
	H16. 3卒	2,307	2,301	2,249	2,150	2,049	2,113
	H17. 3卒	2,225	2,219	2,224	2,168	2,050	2,066
	H18. 3卒	2,192	2,113	2,113	2,058	1,952	1,972
	H19. 3卒	2,416	2,381	2,314	2,271	2,180	2,174
	H20. 3卒	2,379	2,346	2,309	2,259	2,148	2,144
	H21. 3卒	2,396	2,362	2,332	2,305	2,117	2,140
	H22. 3卒	2,127	2,069	2,031	1,989	1,952	1,843
	H23. 3卒	2,187	2,137	2,114	2,043	1,963	1,863
	H24. 3卒	2,102	2,040	2,019	1,954	1,864	1,845
	H25. 3卒	2,169	2,123	2,094	2,055	1,931	1,905
	H26. 3卒	2,116	2,082	2,028	1,992	1,835	1,801
	H27. 3卒	2,165	2,150	2,101	2,082	2,055	1,878
	H28. 3卒	2,154	2,127	2,069	2,045	2,017	1,856
	H29. 3卒	2,212	2,196	2,155	2,115	2,103	1,947
	H30. 3卒	2,150	2,121	2,107	2,083	2,062	1,949
	H31. 3卒	2,212	2,176	2,116	2,106	2,074	1,952
	R2. 3卒	2,133	2,116	2,114	2,039	2,027	1,904
	R3. 3卒	2,073	2,037	2,061	1,985	1,846	1,793
	R4. 3卒	2,006	2,001	1,956	1,949	1,820	1,766
	R5. 3卒	1,898	1,862	1,833	1,748	1,712	1,678
	R6. 3卒	1,786	1,737	1,718	1,655	1,637	1,588
	R7. 3卒	1,761	1,736	1,715	1,685	1,620	1,566
	R8. 3卒	**1,804**	**1,757**	**1,721**	**1,626**	**1,582**	**1,546**

大学等の求人・求職・就職状況 【大学・短大・高専】

宮崎労働局

			10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
内定者数	全体（県外＋県内）	H10. 3卒	1,386	1,559	1,712	1,866	1,986	2,078
		H11. 3卒	1,176	1,336	1,455	1,542	1,671	1,817
		H12. 3卒	996	1,191	1,301	1,448	1,584	1,767
		H13. 3卒	997	1,130	1,268	1,430	1,565	1,826
		H14. 3卒	864	986	1,091	1,283	1,423	1,688
		H15. 3卒	740	946	1,131	1,298	1,522	1,749
		H16. 3卒	788	989	1,216	1,401	1,629	1,961
		H17. 3卒	817	1,069	1,292	1,466	1,678	1,931
		H18. 3卒	871	1,099	1,336	1,471	1,656	1,845
		H19. 3卒	1,067	1,279	1,564	1,693	1,847	2,039
		H20. 3卒	1,074	1,343	1,479	1,673	1,808	2,020
		H21. 3卒	1,091	1,235	1,432	1,546	1,799	1,992
		H22. 3卒	845	998	1,152	1,278	1,430	1,629
		H23. 3卒	876	1,075	1,236	1,379	1,516	1,717
		H24. 3卒	874	1,018	1,204	1,337	1,452	1,721
		H25. 3卒	1,025	1,188	1,324	1,458	1,582	1,793
		H26. 3卒	991	1,145	1,265	1,392	1,542	1,707
		H27. 3卒	1,187	1,333	1,486	1,570	1,618	1,792
		H28. 3卒	1,170	1,338	1,488	1,579	1,670	1,824
		H29. 3卒	1,282	1,436	1,558	1,652	1,731	1,876
		H30. 3卒	1,266	1,460	1,569	1,671	1,756	1,901
		H31. 3卒	1,340	1,482	1,604	1,693	1,778	1,888
		R2. 3卒	1,249	1,390	1,534	1,634	1,732	1,844
		R3. 3卒	1,105	1,228	1,418	1,554	1,588	1,701
		R4. 3卒	1,136	1,268	1,412	1,480	1,586	1,714
		R5. 3卒	982	1,245	1,341	1,419	1,525	1,619
		R6. 3卒	1,142	1,284	1,388	1,469	1,528	1,560
		R7. 3卒	1,051	1,184	1,278	1,369	1,487	1,546
		R8. 3卒	**1,081**	**1,210**	**1,314**	**1,400**	**1,463**	**1,515**

大学等の求人・求職・就職状況 【大学・短大・高専】

宮崎労働局

			10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
内定者数	うち県内	H10. 3卒	348	387	438	652	728	841
		H11. 3卒	306	358	410	566	651	787
		H12. 3卒	275	372	424	521	570	869
		H13. 3卒	229	267	332	447	523	840
		H14. 3卒	153	351	432	547	666	837
		H15. 3卒	258	392	482	575	720	889
		H16. 3卒	274	383	549	631	790	1,019
		H17. 3卒	266	421	525	615	755	922
		H18. 3卒	306	401	559	637	771	906
		H19. 3卒	343	476	642	701	792	923
		H20. 3卒	366	500	572	694	783	903
		H21. 3卒	351	432	529	583	773	904
		H22. 3卒	309	396	471	546	658	765
		H23. 3卒	326	420	517	594	691	850
		H24. 3卒	353	438	529	594	659	831
		H25. 3卒	389	461	549	633	719	882
		H26. 3卒	375	442	526	608	686	823
		H27. 3卒	483	569	650	701	747	869
		H28. 3卒	472	559	638	686	742	834
		H29. 3卒	521	592	671	721	773	904
		H30. 3卒	486	577	639	720	749	834
		H31. 3卒	494	606	681	734	774	849
		R2. 3卒	436	512	608	653	705	772
		R3. 3卒	363	438	572	664	709	787
		R4. 3卒	471	533	624	672	727	797
		R5. 3卒	366	500	562	607	666	733
		R6. 3卒	433	493	558	604	643	675
		R7. 3卒	374	439	502	551	620	675
		R8. 3卒	**400**	**477**	**520**	**563**	**592**	**625**

大学等の求人・求職・就職状況 【大学・短大・高専】

宮崎労働局

			10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
内定者数	就職内定者に占める県内内定者の割合	H10. 3卒	25.1%	24.8%	25.6%	34.9%	36.7%	40.5%
		H11. 3卒	26.0%	26.8%	28.2%	36.7%	39.0%	43.3%
		H12. 3卒	27.6%	31.2%	32.6%	36.0%	36.0%	49.2%
		H13. 3卒	23.0%	23.6%	26.2%	31.3%	33.4%	46.0%
		H14. 3卒	17.7%	35.6%	39.6%	42.6%	46.8%	49.6%
		H15. 3卒	34.9%	41.4%	42.6%	44.3%	47.3%	50.8%
		H16. 3卒	34.8%	38.7%	45.1%	45.0%	48.5%	52.0%
		H17. 3卒	32.6%	39.4%	40.6%	42.0%	45.0%	47.7%
		H18. 3卒	35.1%	36.5%	41.8%	43.3%	46.6%	49.1%
		H19. 3卒	32.1%	37.2%	41.0%	41.4%	42.9%	45.3%
		H20. 3卒	34.1%	37.2%	38.7%	41.5%	43.3%	44.7%
		H21. 3卒	32.2%	35.0%	36.9%	37.7%	43.0%	45.4%
		H22. 3卒	36.6%	39.7%	40.9%	42.7%	46.0%	47.0%
		H23. 3卒	37.2%	39.1%	41.8%	43.1%	45.6%	49.5%
		H24. 3卒	40.4%	43.0%	43.9%	44.4%	45.4%	48.3%
		H25. 3卒	38.0%	38.8%	41.5%	43.4%	45.4%	49.2%
		H26. 3卒	37.8%	38.6%	41.6%	43.7%	44.5%	48.2%
		H27. 3卒	40.7%	42.7%	43.7%	44.6%	46.2%	48.5%
		H28. 3卒	40.3%	41.8%	42.9%	43.4%	44.4%	45.7%
		H29. 3卒	40.6%	41.2%	43.1%	43.6%	44.7%	48.2%
		H30. 3卒	38.4%	39.5%	40.7%	43.1%	42.7%	43.9%
		H31. 3卒	36.9%	40.9%	42.5%	43.4%	43.5%	45.0%
		R2. 3卒	34.9%	36.8%	39.6%	40.0%	40.7%	41.9%
		R3. 3卒	32.9%	35.7%	40.3%	42.7%	44.6%	46.3%
		R4. 3卒	41.5%	42.0%	44.2%	45.4%	45.8%	46.5%
		R5. 3卒	37.3%	40.2%	41.9%	42.8%	43.7%	45.3%
		R6. 3卒	37.9%	38.4%	40.2%	41.1%	42.1%	43.3%
		R7. 3卒	35.6%	37.1%	39.3%	40.2%	41.7%	43.7%
		R8. 3卒	**37.0%**	**39.4%**	**39.6%**	**40.2%**	**40.5%**	**41.3%**

大学等の求人・求職・就職状況 【大学・短大・高専】

宮崎労働局

		10月末		11月末		12月末		1月末		2月末		3月末	
内定率（全体）	H10. 3卒	52.9	増減幅	60.6	増減幅	67.6	増減幅	73.9	増減幅	81.4	増減幅	87.6	増減幅
	H11. 3卒	47.6	-5.3	55.1	-5.5	59.3	-8.3	64.8	-9.1	75.8	-5.6	84.3	-3.3
	H12. 3卒	44.0	-3.6	53.1	-2.0	58.3	-1.0	65.6	0.8	74.0	-1.8	84.9	0.6
	H13. 3卒	42.9	-1.1	49.4	-3.7	56.1	-2.2	64.5	-1.1	75.7	1.7	90.0	5.1
	H14. 3卒	39.2	-3.7	47.3	-2.1	53.5	-2.6	62.2	-2.3	74.0	-1.7	91.6	1.6
	H15. 3卒	32.8	-6.4	43.7	-3.6	53.7	0.2	65.1	2.9	78.3	4.3	88.6	-3.0
	H16. 3卒	34.2	1.4	43.0	-0.7	54.1	0.4	65.2	0.1	79.5	1.2	92.8	4.2
	H17. 3卒	36.7	2.5	48.2	5.2	58.1	4.0	67.6	2.4	81.9	2.4	93.5	0.7
	H18. 3卒	39.7	3.0	52.0	3.8	63.2	5.1	71.5	3.9	84.8	2.9	93.6	0.1
	H19. 3卒	44.2	4.5	53.7	1.7	67.6	4.4	74.5	3.0	84.7	-0.1	93.8	0.2
	H20. 3卒	45.1	0.9	57.2	3.5	64.1	-3.5	74.1	-0.4	84.2	-0.5	94.2	0.4
	H21. 3卒	45.5	0.4	52.3	-4.9	61.4	-2.7	67.1	-7.0	85.0	0.8	93.1	-1.1
	H22. 3卒	39.7	-5.8	48.2	-4.1	56.7	-4.7	64.3	-2.8	73.3	-11.7	88.4	-4.7
	H23. 3卒	40.1	0.4	50.3	2.1	58.5	1.8	67.5	3.2	77.2	3.9	92.2	3.8
	H24. 3卒	41.6	1.5	49.9	-0.4	59.6	1.1	68.4	0.9	77.9	0.7	93.3	1.1
	H25. 3卒	47.3	5.7	56.0	6.1	63.2	3.6	70.9	2.5	81.9	4.0	94.1	0.8
	H26. 3卒	46.8	-0.5	55.0	-1.0	62.4	-0.8	69.9	-1.0	84.0	2.1	94.8	0.7
	H27. 3卒	54.8	8.0	62.0	7.0	70.7	8.3	75.4	5.5	78.7	-5.3	95.4	0.6
	H28. 3卒	54.3	-0.5	62.9	0.9	71.9	1.2	77.2	1.8	82.8	4.1	98.3	2.9
	H29. 3卒	58.0	3.7	65.4	2.5	72.3	0.4	78.1	0.9	82.3	-0.5	96.4	-1.9
	H30. 3卒	58.9	0.9	68.8	3.4	74.5	2.2	80.2	2.1	85.2	2.9	97.5	1.1
	H31. 3卒	60.6	1.7	68.1	-0.7	75.8	1.3	80.4	0.2	85.7	0.5	96.7	-0.8
	R2. 3卒	58.6	-2.0	65.7	-2.4	72.6	-3.2	80.1	-0.3	85.4	-0.3	96.8	0.1
	R3. 3卒	53.3	-5.3	60.3	-5.4	68.8	-3.8	78.3	-1.8	86.0	0.6	94.9	-1.9
	R4. 3卒	56.6	3.3	63.4	3.1	72.2	3.4	75.9	-2.4	87.1	1.1	97.1	2.2
	R5. 3卒	51.7	-4.9	66.9	3.5	73.2	1.0	81.2	5.3	89.1	2.0	96.5	-0.6
	R6. 3卒	63.9	12.2	73.9	7.0	80.8	7.6	88.8	7.6	93.3	4.2	98.2	1.7
	R7. 3卒	59.7	-4.2	68.2	-5.7	74.5	-6.3	81.2	-7.6	91.8	-1.5	98.7	0.5
	R8. 3卒	**59.9**	**0.2**	**68.9**	**0.7**	**76.4**	**1.9**	**86.1**	**4.9**	**92.5**	**0.7**	**98.0**	**-0.7**

※ 宮崎大学医学部・県立看護大学は含まない。
※ 「『内定者数』の（うち県内）」のH10.3卒、H11.3卒の10月～12月には宮崎産経大学を含まない。（未集計のため）

求職者数・内定状況の推移 【大学】

宮崎労働局

		10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
求職者数	H10. 3卒	2,016	1,977	1,938	1,927	1,861	1,800
	H11. 3卒	1,812	1,771	1,801	1,736	1,575	1,546
	H12. 3卒	1,634	1,613	1,611	1,588	1,529	1,470
	H13. 3卒	1,682	1,656	1,631	1,623	1,486	1,482
	H14. 3卒	1,612	1,497	1,449	1,473	1,374	1,281
	H15. 3卒	1,701	1,612	1,557	1,461	1,401	1,417
	H16. 3卒	1,613	1,594	1,554	1,471	1,461	1,494
	H17. 3卒	1,578	1,557	1,528	1,461	1,399	1,388
	H18. 3卒	1,464	1,387	1,387	1,363	1,279	1,282
	H19. 3卒	1,739	1,701	1,634	1,611	1,540	1,528
	H20. 3卒	1,772	1,737	1,703	1,657	1,539	1,532
	H21. 3卒	1,795	1,761	1,733	1,705	1,544	1,559
	H22. 3卒	1,535	1,496	1,481	1,446	1,414	1,315
	H23. 3卒	1,628	1,580	1,560	1,495	1,422	1,337
	H24. 3卒	1,612	1,557	1,538	1,484	1,399	1,384
	H25. 3卒	1,664	1,627	1,597	1,566	1,456	1,429
	H26. 3卒	1,643	1,617	1,570	1,541	1,394	1,366
	H27. 3卒	1,628	1,616	1,572	1,559	1,533	1,371
	H28. 3卒	1,697	1,675	1,620	1,597	1,564	1,402
	H29. 3卒	1,734	1,718	1,678	1,647	1,639	1,486
	H30. 3卒	1,718	1,692	1,676	1,654	1,633	1,522
	H31. 3卒	1,746	1,711	1,653	1,647	1,619	1,499
	R2. 3卒	1,708	1,698	1,692	1,623	1,614	1,493
	R3. 3卒	1,639	1,610	1,642	1,570	1,439	1,390
	R4.3卒	1,587	1,595	1,558	1,550	1,425	1,375
	R5. 3卒	1,522	1,486	1,458	1,378	1,346	1,315
	R6. 3卒	1,434	1,387	1,371	1,309	1,292	1,244
	R7. 3卒	1,427	1,401	1,382	1,354	1,286	1,234
	R8. 3卒	**1,514**	**1,467**	**1,434**	**1,339**	**1,301**	**1,266**
内定者数	H10. 3卒	1,120	1,251	1,368	1,470	1,522	1,547
	H11. 3卒	935	1,048	1,115	1,153	1,230	1,263
	H12. 3卒	788	902	957	1,016	1,087	1,176
	H13. 3卒	762	864	948	1,012	1,084	1,291
	H14. 3卒	674	742	792	910	970	1,152
	H15. 3卒	579	696	831	940	1,065	1,235
	H16. 3卒	626	763	878	1,011	1,122	1,362
	H17. 3卒	600	733	878	990	1,139	1,292
	H18. 3卒	588	768	865	950	1,059	1,181
	H19. 3卒	804	938	1,088	1,167	1,279	1,414
	H20. 3卒	797	987	1,074	1,180	1,282	1,424
	H21. 3卒	818	919	1,072	1,159	1,284	1,431
	H22. 3卒	619	724	831	906	1,003	1,146
	H23. 3卒	630	775	879	977	1,066	1,221
	H24. 3卒	607	711	861	973	1,058	1,282
	H25. 3卒	755	887	985	1,094	1,182	1,343
	H26. 3卒	717	842	935	1,028	1,149	1,286
	H27. 3卒	848	959	1,073	1,138	1,164	1,302
	H28. 3卒	853	976	1,098	1,173	1,245	1,379
	H29. 3卒	952	1,065	1,156	1,232	1,289	1,421
	H30. 3卒	967	1,118	1,196	1,274	1,343	1,475
	H31. 3卒	1,028	1,109	1,198	1,261	1,331	1,438
	R2. 3卒	960	1,053	1,157	1,242	1,330	1,438
	R3. 3卒	869	966	1,080	1,177	1,200	1,306
	R4.3卒	883	980	1,078	1,119	1,209	1,326
	R5. 3卒	759	983	1,037	1,097	1,179	1,263
	R6. 3卒	904	1,010	1,076	1,137	1,191	1,217
	R7. 3卒	846	952	1,005	1,069	1,169	1,216
	R8. 3卒	**877**	**983**	**1,062**	**1,133**	**1,191**	**1,237**
内定率	H10. 3卒	55.6	63.3	70.6	76.3	81.8	85.9
	H11. 3卒	51.6	59.2	61.9	66.4	78.1	81.7
	H12. 3卒	48.2	55.9	59.4	64.0	71.1	80.0
	H13. 3卒	45.3	52.2	58.1	62.4	72.9	87.1
	H14. 3卒	41.8	49.6	54.7	61.8	70.6	89.9
	H15. 3卒	34.0	43.2	53.4	64.3	76.0	87.2
	H16. 3卒	38.8	47.9	56.5	68.7	76.8	91.2
	H17. 3卒	38.0	47.1	57.5	67.8	81.4	93.1
	H18. 3卒	40.2	55.4	62.4	69.7	82.8	92.1
	H19. 3卒	46.2	55.1	66.6	72.4	83.1	92.5
	H20. 3卒	45.0	56.8	63.1	71.2	83.3	93.0
	H21. 3卒	45.6	52.2	61.9	68.0	83.2	91.8
	H22. 3卒	40.3	48.4	56.1	62.7	70.9	87.1
	H23. 3卒	38.7	49.1	56.3	65.4	75.0	91.3
	H24. 3卒	37.7	45.7	56.0	65.6	75.6	92.6
	H25. 3卒	45.4	54.5	61.7	69.9	81.2	94.0
	H26. 3卒	43.6	52.1	59.6	66.7	82.4	94.1
	H27. 3卒	52.1	59.3	68.3	73.0	75.9	95.0
	H28. 3卒	50.3	58.3	67.8	73.5	79.6	98.4
	H29. 3卒	54.9	62.0	68.9	74.8	78.6	95.6
	H30. 3卒	56.3	66.1	71.4	77.0	82.2	96.9
	H31. 3卒	58.9	64.8	72.5	76.6	82.2	95.9
	R2. 3卒	56.2	62.0	68.4	76.5	82.4	96.3
	R3. 3卒	53.0	60.0	65.8	75.0	83.4	94.0
	R4.3卒	55.6	61.4	69.2	72.2	84.8	96.4
	R5. 3卒	49.9	66.2	71.1	79.6	87.6	96.0
	R6. 3卒	63.0	72.8	78.5	86.9	92.2	97.8
	R7. 3卒	59.3	68.0	72.7	79.0	90.9	98.5
	R8. 3卒	**57.9**	**67.0**	**74.1**	**84.6**	**91.5**	**97.7**
	前年との増減幅	**−1.4**	**−1.0**	**1.4**	**5.6**	**0.6**	**−0.8**

※ 宮崎大学医学部・県立看護大学は含まない。

求職者数・内定状況の推移 【短大】

宮崎労働局

		10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
求職者数	H10. 3卒	489	479	475	480	460	456
	H11. 3卒	528	525	525	517	506	487
	H12. 3卒	517	516	506	504	498	499
	H13. 3卒	516	508	508	475	460	432
	H14. 3卒	489	491	493	492	451	467
	H15. 3卒	457	457	454	437	447	465
	H16. 3卒	606	605	599	582	491	516
	H17. 3卒	536	553	588	599	543	570
	H18. 3卒	612	611	611	580	558	575
	H19. 3卒	560	563	565	545	525	532
	H20. 3卒	497	497	494	492	499	502
	H21. 3卒	501	502	500	500	473	482
	H22. 3卒	477	457	434	427	423	419
	H23. 3卒	446	445	442	436	430	416
	H24. 3卒	364	357	355	344	341	337
	H25. 3卒	382	372	374	369	356	359
	H26. 3卒	350	342	338	332	324	321
	H27. 3卒	403	401	396	390	389	375
	H28. 3卒	335	332	329	328	332	333
	H29. 3卒	356	356	355	346	342	340
	H30. 3卒	316	313	315	313	313	311
	H31. 3卒	340	339	339	336	333	331
	R2. 3卒	308	301	304	298	296	294
	R3. 3卒	307	300	292	290	283	279
	R4. 3卒	312	311	303	304	300	296
	R5. 3卒	258	258	257	252	249	246
	R6. 3卒	234	232	230	229	230	229
	R7. 3卒	216	217	217	215	217	215
	R8. 3卒	**196**	**196**	**194**	**193**	**190**	**189**
内定者数	H10. 3卒	155	191	227	278	346	415
	H11. 3卒	126	170	219	266	317	431
	H12. 3卒	111	190	239	324	386	479
	H13. 3卒	132	163	211	303	364	423
	H14. 3卒	114	161	214	287	367	447
	H15. 3卒	88	174	218	274	373	423
	H16. 3卒	90	138	248	297	414	500
	H17. 3卒	121	239	309	373	436	534
	H18. 3卒	170	219	358	408	482	549
	H19. 3卒	156	232	364	414	454	512
	H20. 3卒	172	249	296	384	416	486
	H21. 3卒	178	220	264	290	415	462
	H22. 3卒	117	164	210	259	314	374
	H23. 3卒	139	192	247	292	340	386
	H24. 3卒	151	187	221	242	271	315
	H25. 3卒	159	188	223	248	282	333
	H26. 3卒	157	184	211	245	276	307
	H27. 3卒	208	242	281	300	322	358
	H28. 3卒	199	242	270	286	304	324
	H29. 3卒	210	251	282	299	321	335
	H30. 3卒	184	227	258	282	298	310
	H31. 3卒	187	248	282	309	325	328
	R2. 3卒	176	223	262	275	285	289
	R3. 3卒	116	141	216	255	267	272
	R4. 3卒	153	198	243	269	283	294
	R5. 3卒	114	149	189	206	230	239
	R6. 3卒	126	160	196	216	222	228
	R7. 3卒	96	121	160	186	203	214
	R8. 3卒	**113**	**135**	**161**	**176**	**182**	**188**
内定率	H10. 3卒	31.7	39.9	47.8	57.9	75.2	91.0
	H11. 3卒	23.9	32.4	41.7	51.5	62.6	88.5
	H12. 3卒	21.5	36.8	47.2	64.3	77.5	96.0
	H13. 3卒	25.6	32.1	41.5	63.8	79.1	97.9
	H14. 3卒	23.3	32.8	43.4	58.3	81.4	95.7
	H15. 3卒	19.3	38.1	48.0	62.7	83.4	91.0
	H16. 3卒	14.9	22.8	41.4	51.0	84.3	96.9
	H17. 3卒	22.6	43.2	52.6	62.3	80.3	93.7
	H18. 3卒	27.8	35.8	58.6	70.3	86.4	95.5
	H19. 3卒	27.9	41.2	64.4	76.0	86.5	96.2
	H20. 3卒	34.6	50.1	59.9	78.0	83.4	96.8
	H21. 3卒	35.5	43.8	52.8	58.0	87.7	95.9
	H22. 3卒	24.5	35.9	48.4	60.7	74.2	89.3
	H23. 3卒	31.2	43.1	55.9	67.0	79.1	92.8
	H24. 3卒	41.5	52.4	62.3	70.3	79.5	93.5
	H25. 3卒	41.6	50.5	59.6	67.2	79.2	92.8
	H26. 3卒	44.9	53.8	62.4	73.8	85.2	95.6
	H27. 3卒	51.6	60.3	71.0	76.9	82.8	95.5
	H28. 3卒	59.4	72.9	82.1	87.2	91.6	97.3
	H29. 3卒	59.0	70.5	79.4	86.4	93.9	98.5
	H30. 3卒	58.2	72.5	81.9	90.1	95.2	99.7
	H31. 3卒	55.0	73.2	83.2	92.0	97.6	99.1
	R2. 3卒	57.1	74.1	86.2	92.3	96.3	98.3
	R3. 3卒	37.8	47.0	74.0	87.9	94.3	97.5
	R4. 3卒	49.0	63.7	80.2	88.5	94.3	99.3
	R5. 3卒	44.2	57.8	73.5	81.7	92.4	97.2
	R6. 3卒	53.8	69.0	85.2	94.3	96.5	99.6
	R7. 3卒	44.4	55.8	73.7	86.5	93.5	99.5
	R8. 3卒	**57.7**	**68.9**	**83.0**	**91.2**	**95.8**	**99.5**
	前年との増減幅	**13.3**	**13.1**	**9.3**	**4.7**	**2.3**	**0.0**

求職者数・内定状況の推移 【高専】

宮崎労働局

		10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
求職者数	H10. 3卒	116	118	118	119	119	116
	H11. 3卒	128	128	128	126	124	123
	H12. 3卒	114	114	115	114	113	113
	H13. 3卒	124	122	120	120	121	116
	H14. 3卒	102	98	97	97	97	95
	H15. 3卒	96	96	95	95	95	93
	H16. 3卒	88	102	96	97	97	103
	H17. 3卒	111	109	108	108	108	108
	H18. 3卒	116	115	115	115	115	115
	H19. 3卒	117	117	115	115	115	114
	H20. 3卒	110	112	112	110	110	110
	H21. 3卒	100	99	99	100	100	99
	H22. 3卒	115	116	116	116	115	109
	H23. 3卒	113	112	112	112	111	110
	H24. 3卒	126	126	126	126	124	124
	H25. 3卒	123	124	123	120	119	117
	H26. 3卒	123	123	120	119	117	114
	H27. 3卒	134	133	133	133	133	132
	H28. 3卒	122	120	120	120	121	121
	H29. 3卒	122	122	122	122	122	121
	H30. 3卒	116	116	116	116	116	116
	H31. 3卒	126	126	124	123	122	122
	R2. 3卒	117	117	118	118	117	117
	R3. 3卒	127	127	127	125	124	124
	R4. 3卒	107	95	95	95	95	95
	R5. 3卒	118	118	118	118	117	117
	R6. 3卒	118	118	117	117	115	115
	R7. 3卒	118	118	116	116	117	117
	R8. 3卒	**94**	**94**	**93**	**94**	**91**	**91**
内定者数	H10. 3卒	111	117	117	118	118	116
	H11. 3卒	115	118	121	123	124	123
	H12. 3卒	97	99	105	108	111	112
	H13. 3卒	103	103	109	115	117	112
	H14. 3卒	76	83	85	86	86	89
	H15. 3卒	73	76	82	84	84	91
	H16. 3卒	72	88	90	93	93	99
	H17. 3卒	96	97	105	103	103	105
	H18. 3卒	113	112	113	113	115	115
	H19. 3卒	107	109	112	112	114	113
	H20. 3卒	105	107	109	109	110	110
	H21. 3卒	95	96	96	97	100	99
	H22. 3卒	109	110	111	113	113	109
	H23. 3卒	107	108	110	110	110	110
	H24. 3卒	116	120	122	122	123	124
	H25. 3卒	111	113	116	116	118	117
	H26. 3卒	117	119	119	119	117	114
	H27. 3卒	131	132	132	132	132	132
	H28. 3卒	118	120	120	120	121	121
	H29. 3卒	120	120	120	121	121	120
	H30. 3卒	115	115	115	115	115	116
	H31. 3卒	125	125	124	123	122	122
	R2. 3卒	113	114	115	117	117	117
	R3. 3卒	120	121	122	122	121	123
	R4. 3卒	100	90	91	92	94	94
	R5. 3卒	109	113	115	116	116	117
	R6. 3卒	112	114	116	116	115	115
	R7. 3卒	109	111	113	114	115	116
	R8. 3卒	**91**	**92**	**91**	**91**	**90**	**90**
内定率	H10. 3卒	95.7	99.2	99.2	99.2	99.2	100.0
	H11. 3卒	89.8	92.2	94.5	97.6	100.0	100.0
	H12. 3卒	85.1	86.8	91.3	94.7	98.2	99.1
	H13. 3卒	83.1	84.4	90.8	95.8	96.7	96.6
	H14. 3卒	74.5	84.7	87.6	88.7	88.7	93.7
	H15. 3卒	76.0	79.2	86.3	88.4	88.4	97.8
	H16. 3卒	81.8	86.3	93.8	95.9	95.9	96.1
	H17. 3卒	86.5	89.0	97.2	95.4	95.4	97.2
	H18. 3卒	97.4	97.4	98.3	98.3	100.0	100.0
	H19. 3卒	91.5	93.2	97.4	97.4	99.1	99.1
	H20. 3卒	95.5	95.5	97.3	99.1	100.0	100.0
	H21. 3卒	95.0	97.0	97.0	97.0	100.0	100.0
	H22. 3卒	94.8	94.8	95.7	97.4	98.3	100.0
	H23. 3卒	94.7	96.4	98.2	98.2	99.1	100.0
	H24. 3卒	92.1	95.2	96.8	96.8	99.2	100.0
	H25. 3卒	90.2	91.1	94.3	96.7	99.2	100.0
	H26. 3卒	95.1	96.7	99.2	100.0	100.0	100.0
	H27. 3卒	97.8	99.2	99.2	99.2	99.2	100.0
	H28. 4卒	96.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	H29. 3卒	98.4	98.4	98.4	99.2	99.2	99.2
	H30. 3卒	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	100.0
	H31. 3卒	99.2	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0
	R2. 3卒	96.6	97.4	97.5	99.2	100.0	100.0
	R3. 3卒	94.5	95.3	96.1	97.6	97.6	99.2
	R4. 3卒	93.5	94.7	95.8	96.8	98.9	98.9
	R5. 3卒	92.4	95.8	97.5	98.3	99.1	100.0
	R6. 3卒	94.9	96.6	99.1	99.1	100.0	100.0
	R7. 3卒	92.4	94.1	97.4	98.3	98.3	99.1
	R8. 3卒	**96.8**	**97.9**	**97.8**	**96.8**	**98.9**	**98.9**
	前年との増減幅	**4.4**	**3.8**	**0.4**	**−1.5**	**0.6**	**−0.2**

厚生労働省 宮崎労働局　**Press Release**

宮崎労働局発表
令和８年４月28日

【照会先】
職業安定部職業安定課
職業安定部長　向田　俊哉
職業安定課長　東郷　ますえ
（電話）　0985-38-8823

ユースエール６社の認定通知書交付式の開催決定！！

宮崎労働局（局長　吉越　正幸）は、「青少年の雇用の促進等に関する法律」に基づき、下記企業に認定を行いました。

◆ユースエール認定企業
- 株式会社　増田工務店　（令和７年11月13日認定）
  ※現時点で唯一の児湯郡認定企業
- 株式会社　上村開発　（令和７年11月18日認定）
- 丸宮建設　株式会社　（令和７年11月28日認定）
- 株式会社　山崎産業　（令和８年２月２日認定）
- 有限会社　瀬戸山ブロック工業所（令和８年２月27日認定）
- 株式会社　内山建設　（令和８年３月５日認定）

つきましては、下記のとおり認定通知書交付式を行います。

ユースエール認定通知書交付式

【日　時】　令和８年５月18日（月）　午後１時３０分～

【場　所】　宮崎労働局２階　大会議室
（宮崎市橘通東３丁目１番22号宮崎合同庁舎）

【内　容】
- 局長あいさつ
- 認定通知書の交付
- 記念撮影

※ 取材連絡について

報道各社におかれましては、当日の写真撮影及び交付式終了後の認定企業への取材は可能です。取材の際はご一報お願いいたします。

※　青少年雇用の促進法等に関する法律に基づく「ユースエール認定」とは…

「青少年の雇用の促進等に関する法律（通称：若者雇用促進法）」に基づき、若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が「ユースエール認定企業」として認める制度です。

今後、認定を受けた企業に対して労働局・ハローワークでは、認定企業の情報発信を後押しすることなどにより、企業が求める人材の円滑な採用を支援し、求職中の若者とのマッチング向上を図っていきます。

ー参考資料ー

１「ユースエール」認定企業の取組事例
　（１） 株式会社　増田工務店
　（２） 株式会社　上村開発
　（３） 丸宮建設　株式会社
　（４） 株式会社　山崎産業
　（５） 有限会社　瀬戸山ブロック工業所
　（６） 株式会社　内山建設
２宮崎労働局におけるユースエール認定企業一覧
３ユースエール認定基準（事業主向けリーフレット）
４ユースエール認定基準（求職者向けリーフレット）

カブシキガイシャマスダコウムテン

株式会社増田工務店

仕事と生活の両立応援宣言登録制度
働きやすい職場「ひなたの極」認証制度

2025年12月04日更新

宮崎県

創業７１年。若手も女性も活躍中！活気溢れる明るい建設会社！

事業内容 【総合建設業】住宅、商業施設、オフィスビル、学校、病院等の様々な建築物の建設を行う建築事業、道路、橋、トンネル、鉄道、河川等のインフラ施設を建設する土木事業、他リフォーム事業

会社情報 884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町北高鍋4750

交通手段 日豊本線高鍋駅から徒歩１０分

会社HP https://masuda-corp.com/

○会社概要

創業	従業員数	平均年齢	平均勤続年	役員・管理職の女性割合	
1954 年	91 人	44.6 歳	16.1 年	(役員) 0.0 %	(管理職) 0.0 %

○雇用管理の状況

有給休暇の平均取得実績	月平均所定外労働時間	育児休業取得状況（直近3事業年度）	
13.5 日	18.3 時間	男性: 2 名	女性: 0.0 %

○採用・定着状況

		2024年度	2023年度	2022年度
募集状況	新卒者等 ※1	○	○	○
	新卒者等以外 ※2	○	○	○
採用者数（うち女性）	新卒者等	0 名(0 名)	2 名(2 名)	5 名(2 名)
	新卒者等以外	0 名(0 名)	1 名(0 名)	0 名(0 名)
離職者数 ※3	新卒者等	0 名	0 名	0 名
	新卒者等以外	0 名	0 名	0 名

会社からのメッセージ

先輩社員から

学生時代の専攻とは全く違う業界に入ることになって不安もありましたが、周りの先輩方や意見を言いやすい環境のおかげで楽しく仕事ができています。また、資格取得も推進していることもあり、自身のスキルアップをしやすいと思います。もちろん資格手当もあり、福利厚生も充実しているので、ワークライフバランスもとりやすい環境だと思います。

社長から

増田工務店では、今、若い社員がどんどん意見を言いやすい現場づくりや、各人や家庭での癒しの時間を創出できる業務の効率化を積極的に推進しています。それは社員の皆さんの働くことが「楽しい」と思う気持ちこそが新しいアイデアを生み、ひいてはお客様に心から満足していただける成果につながるからです。私たちとともに、お客様のために一緒になって汗を流してくれる、明るく素直な新入社員の皆さんの力を心待ちにしています。

求める人材像

人との関わりを大切にし、相手の話を聞きながら丁寧にコミュニケーションを取れる方を歓迎します。チームで協力して仕事を進める場面が多いため、周囲と相談しながら前向きに取り組める姿勢が大切です。新しいことにも柔軟にチャレンジし、自分の成長を楽しめる方と一緒に働きたいと考えています。

人材育成のための制度

研修制度	自己啓発支援制度	社内検定	メンター制度	キャリコン制度
あり	あり	なし	なし	あり

見学等受入れ

インターン	職場見学
あり	あり

非正規雇用の職場情報 ※4

時間外労働月平均５時間。有給取得率７５%。

備考・補足情報

施工管理は設計図を実際の建物として形にするため、現場全体を総合的に管理し、職人さんへの指示や進捗・安全確認、材料手配など幅広い役割を担う重要な仕事です。先輩の補助から始まるため、未経験でも安心して段階的に業務を学び、チームと協力しながら着実に成長しスキルを身につけられます。

採用情報

事業所番号: 4506-5090-2

ハローワークインターネットサービスもしくは最寄りのハローワークをご利用ください。

※１ 直近３事業年度において正社員として採用した新規学校卒業者、及び新規学校卒業者と同等の処遇を行う既卒者
※２ ※１以外の者で、直近３事業年度において正社員として採用した35歳未満の者
※３ 当該年度に採用した者のうち、直近３事業年度に離職した者の数
※４ 非正規雇用労働者の採用状況、有給休暇取得状況、所定外労働時間実績についての自由記述欄

カブシキガイシャカミムラカイハツ

株式会社上村開発

2025年11月20日更新

宮崎県

安心して長く活躍できる環境で、仕事をしてみませんか。

事業内容 建設業、シラス採取販売、砕石販売、産廃処分業、産廃収集運搬業

会社情報 885-0114 宮崎県都城市庄内町12993-1

交通手段 都城駅から車19分

会社HP https://kamimura-kaihatsu.co.jp/

○会社概要

創業	従業員数	平均年齢	平均勤続年	役員・管理職の女性割合	
1980 年	52 人	57.0 歳	7.0 年	(役員) 25.0 %	(管理職) 25.0 %

○雇用管理の状況

有給休暇の平均取得実績	月平均所定外労働時間	育児休業取得状況（直近3事業年度）	
14.8 日	3.2 時間	男性: 0 名	女性: 0.0 %

○採用・定着状況

		2024年度	2023年度	2022年度
募集状況	新卒者等 ※1	○	○	○
	新卒者等以外 ※2	○	○	○
採用者数(うち女性)	新卒者等	0 名(0 名)	0 名(0 名)	0 名(0 名)
	新卒者等以外	3 名(1 名)	2 名(0 名)	1 名(1 名)
離職者数 ※3	新卒者等	0 名	0 名	0 名
	新卒者等以外	0 名	2 名	1 名

会社からのメッセージ

先輩社員から

新卒で入社して分からない事や知らない事も多くありましたが、会社の方々が一つ一つ丁寧に教えてくれました。一人ひとりを大切にしてくれる会社です。

社長から

当社は、全国に誇る名の知れた大企業ではありません。しかし、このまちの基盤となる道路や水道などの整備、日々の維持修繕、災害時の対応などを行うのは地域に根差した私たちのような企業です。私たちは、このまちの基盤が少しでも品質が良く長期的に使えるように、そして、災害時にはすぐに復旧に対応できる企業でありたいと思います。

求める人材像

工事現場では、仕事の発注者や材料を扱う会社、職人など人とのかかわりが多方面であるためコミュニケーションが得意ではなくても、真面目に対応できる人柄を重視します。

人材育成のための制度

- 研修制度：あり
- 自己啓発支援制度：あり
- 社内検定：なし
- メンター制度：あり
- キャリコン制度：あり

見学等受入れ

- インターン：あり
- 職場見学：あり

非正規雇用の職場情報 ※4

非正規雇用者無し

備考・補足情報

採用情報

事業所番号: 4504-3507-8

ハローワークインターネットサービスもしくは最寄りのハローワークをご利用ください。

※1 直近３事業年度において正社員として採用した新規学校卒業者、及び新規学校卒業者と同等の処遇を行う既卒者
※2 ※１以外の者で、直近３事業年度において正社員として採用した35歳未満の者
※3 当該年度に採用した者のうち、直近３事業年度に離職した者の数
※4 非正規雇用労働者の採用状況、有給休暇取得状況、所定外労働時間実績についての自由記述欄

マルミヤケンセツカブシキガイシャ

丸宮建設株式会社

2025年12月05日更新

宮崎県

うれしい！をつくる・まもる仲間になりましょう！

事業内容 総合建設業（主に建築一式工事、土木一式工事）および不動産

会社情報 885-0114 宮崎県都城市庄内町8031 - 2

交通手段 車・バイク等

会社HP https://e-marumiya.jp/

○会社概要

創業	従業員数	平均年齢	平均勤続年	役員・管理職の女性割合	
1950 年	59 人	43.5 歳	11.0 年	(役員) 40.0 %	(管理職) 20.0 %

○雇用管理の状況

有給休暇の平均取得実績	月平均所定外労働時間	育児休業取得状況（直近3事業年度）	
12.7 日	11.1 時間	男性: 0 名	女性: 100.0 %

○採用・定着状況

		2024年度	2023年度	2022年度
募集状況	新卒者等 ※1	○	○	ー
	新卒者等以外 ※2	○	○	○
採用者数（うち女性）	新卒者等	1 名(0 名)	0 名(0 名)	0 名(0 名)
	新卒者等以外	5 名(2 名)	2 名(0 名)	0 名(0 名)
離職者数 ※3	新卒者等	0 名	0 名	0 名
	新卒者等以外	0 名	0 名	0 名

会社からのメッセージ

先輩社員から

Aさん：4人の子供を育てる母ですが、会社全体で理解があり、社員1人1人の声が上層部まで届きやすく、人が温かいので、家庭を守りながら働けています。女性だから･･･経験が無いから･･･などは関係ありません！賑やかで楽しく、やる気と頑張りは必ず認めてくれる会社です！Bさん：私は協力会社として関わったことがきっかけで丸宮建設のことを知り、施工管理の仕事に興味を持ち入社しました。諸先輩方の知識や経験が豊富で分かりやすく指導してもらえるので、学びやすい環境で自身のレベルアップを実感しています。また、行事やイベントをとても大切にしているので親睦を深めることのできる場も多くあり、とても魅力的な会社です！

社長から

1950年の創業から75年、宮崎県の地域に根付いた総合建設業として信頼と実績、頑張る人を支える体制、笑顔あふれる魅力的な会社を目指しています。 宮崎県建設業格付けでは建築・土木共に特A評価をいただいており、「社員＝共に会社を成長させていく仲間」という経営者方針の元、建築物・土木構造物が完成していくプロセスにそれぞれの立場で関わり、先導し日々出来上がっていく喜び、完成後の達成感を社員全員で共有しています。社員数約60名の会社だからこそ、裁量のある仕事に携わることができ、早い段階で会社の中核として活躍できます！ぜひ進化を続ける当社の一員になりませんか？

求める人材像

１．素直で学ぶ意欲がある人 ２．モノづくりが好きな人 ３．チームワークを大切に出来る人

人材育成のための制度

- 研修制度：あり
- 自己啓発支援制度：あり
- 社内検定：なし
- メンター制度：あり
- キャリコン制度：なし

見学等受入れ

- インターン：あり
- 職場見学：あり

非正規雇用の職場情報 ※4

備考・補足情報

採用情報

事業所番号: 4504-1868-4

ハローワークインターネットサービスもしくは最寄りのハローワークをご利用ください。

※1 直近３事業年度において正社員として採用した新規学校卒業者、及び新規学校卒業者と同等の処遇を行う既卒者
※2 ※１以外の者で、直近３事業年度において正社員として採用した35歳未満の者
※3 当該年度に採用した者のうち、直近３事業年度に離職した者の数
※4 非正規雇用労働者の採用状況、有給休暇取得状況、所定外労働時間実績についての自由記述欄

カブシキガイシャ ヤマサキサンギョウ

株式会社 山崎産業

2026年02月26日更新

宮崎県

宮崎の山・川・海を守る仕事！

事業内容 橋梁･トンネル･港湾･林業を行う総合建設業。主に国や県･市役所､九州電力や旭化成などから依頼された工事を請け負っています。得意な工事は港やトンネル､大きな橋など。

会社情報 882-0073 宮崎県延岡市貝の畑町2903番地

交通手段 延岡駅から車15分見学時送迎可

会社HP https://ymsk-sg.jp

○会社概要

創業	従業員数	平均年齢	平均勤続年	役員・管理職の女性割合	
1951 年	86 人	50.7 歳	14.7 年	(役員) 0.0 %	(管理職) 0.0 %

○雇用管理の状況

有給休暇の平均取得実績	月平均所定外労働時間	育児休業取得状況（直近3事業年度）	
15.3 日	13.2 時間	男性: 1 名	女性: 0.0 %

○採用・定着状況

		2024年度	2023年度	2022年度
募集状況	新卒者等 ※1	○	○	○
	新卒者等以外 ※2	○	○	○
採用者数（うち女性）	新卒者等	3 名(0 名)	0 名(0 名)	1 名(0 名)
	新卒者等以外	0 名(0 名)	0 名(0 名)	0 名(0 名)
離職者数 ※3	新卒者等	0 名	0 名	0 名
	新卒者等以外	0 名	0 名	0 名

会社からのメッセージ

先輩社員から

建設業の知識も経験もゼロで入社しました。だからこそ感じるのが先輩方のサポート力です。未経験でも働きやすく､先輩方がおもしろくて優しいので楽しく仕事ができます。有給休暇も取りやすく、休暇を自由に活用し、家族旅行･ライブ･サーフィンなどそれぞれの趣味を楽しんでいます。残業もほぼないため、仕事のあとは家でゆっくり過ごしたり、仲間とスポーツを楽しんだり、自分の時間を大切にできます。

社長から

1951年に森林土木からスタートした山崎産業は現在、橋梁・港湾・石油販売・介護・林業を行う企業へと発展しています。山・川・海を守り宮崎に貢献する企業として、次の時代を担うみなさんと共に挑戦し、地域の未来を築いていきたいと考えています。

求める人材像

人柄重視！ ・元気な挨拶ができる方 ・コミュニケーションを大切にする人 ・チームワークを大切にする人

人材育成のための制度

- 研修制度：あり
- 自己啓発支援制度：あり
- 社内検定：なし
- メンター制度：なし
- キャリコン制度：なし

見学等受入れ

- インターン：あり
- 職場見学：あり

非正規雇用の職場情報 ※4

正規登用あり

備考・補足情報

・有給休暇取得率85% ・直近３事業年度男性育児休業取得数１人

採用情報

事業所番号: 4502-2783-3

ハローワークインターネットサービスもしくは最寄りのハローワークをご利用ください。

※１ 直近３事業年度において正社員として採用した新規学校卒業者、及び新規学校卒業者と同等の処遇を行う既卒者
※２ ※１以外の者で、直近３事業年度において正社員として採用した35歳未満の者
※３ 当該年度に採用した者のうち、直近３事業年度に離職した者の数
※４ 非正規雇用労働者の採用状況、有給休暇取得状況、所定外労働時間実績についての自由記述欄

ユウゲンカイシャセドヤマブロックコウギョウショ

有限会社瀬戸山ブロック工業所

2026年03月09日更新

宮崎県

あなたらしい働き方を応援します

事業内容 建築用コンクリートブロックの製造販売をメインに、畜産用コンクリート製品の製造販売、各種建築資材を販売しています。

会社情報 889-4411 宮崎県西諸県郡高原町広原4801－8

交通手段

会社HP https://www.sblo.co.jp/about.html

○会社概要

創業	従業員数	平均年齢	平均勤続年	役員・管理職の女性割合	
1990 年	12 人	49.9 歳	14.1 年	(役員) 50.0 %	(管理職) 0.0 %

○雇用管理の状況

有給休暇の平均取得実績	月平均所定外労働時間	育児休業取得状況（直近3事業年度）	
11.3 日	10.0 時間	男性: 0 名	女性: 0.0 %

○採用・定着状況

		2024年度	2023年度	2022年度
募集状況	新卒者等 ※1	－	○	○
	新卒者等以外 ※2	○	○	○
採用者数（うち女性）	新卒者等	0 名(0 名)	0 名(0 名)	0 名(0 名)
	新卒者等以外	0 名(0 名)	0 名(0 名)	1 名(0 名)
離職者数 ※3	新卒者等	0 名	0 名	0 名
	新卒者等以外	0 名	0 名	1 名

会社からのメッセージ

先輩社員から

私たちの会社は建築用ブロックを作って販売している会社です。 入社したときは何もわからなくても大丈夫。先輩たちがしっかりサポートしてくれるので、安心して仕事を覚えていけます。 資格取得のサポートもあるので、働きながらスキルアップしたい人にもピッタリです。 誕生日休暇や有給、男性の育休取得の実績もあって、プライベートとの両立もしやすい職場ですよ。 長く働ける環境が整っているので、ぜひ一緒にチャレンジしてみませんか。

社長から

創業から65年、私たちはコンクリートブロックの製造を通じて、地域の暮らしと産業を支えるものづくりに取り組んできました。長年蓄積してきた知識と技術を活かし、常に新しい価値を生み出す製品開発に挑戦しています。日本産業規格(JIS)に認証された確かな品質と、安定した供給体制により、多くのお客様から信頼と“ありがとう”の言葉をいただいています。2021年には宮崎県未来成長企業に選定され、地域の建築を支える“縁の下の力持ち”として使命を果たしています。これからも、会社の発展と社員一人ひとりの幸せが両立する組織づくりを大切にしながら、社会から必要とされる企業であり続けるために、日々努力を重ねてまいります。

求める人材像

知らないことをそのままにせず、学ぶことを楽しめる人。昨日より少しでも成長したいという気持ちを持ち続けられる方と一緒に働きたいと考えています。

人材育成のための制度

- 研修制度：あり
- 自己啓発支援制度：あり
- 社内検定：なし
- メンター制度：なし
- キャリコン制度：なし

見学等受入れ

- インターン：あり
- 職場見学：あり

非正規雇用の職場情報 ※4

所定外労働時間なし、有給休暇取得率100%

備考・補足情報

採用情報

事業所番号: 4507-614267-9

ハローワークインターネットサービスもしくは最寄りのハローワークをご利用ください。

※1 直近３事業年度において正社員として採用した新規学校卒業者、及び新規学校卒業者と同等の処遇を行う既卒者
※2 ※１以外の者で、直近３事業年度において正社員として採用した35歳未満の者
※3 当該年度に採用した者のうち、直近３事業年度に離職した者の数
※4 非正規雇用労働者の採用状況、有給休暇取得状況、所定外労働時間実績についての自由記述欄

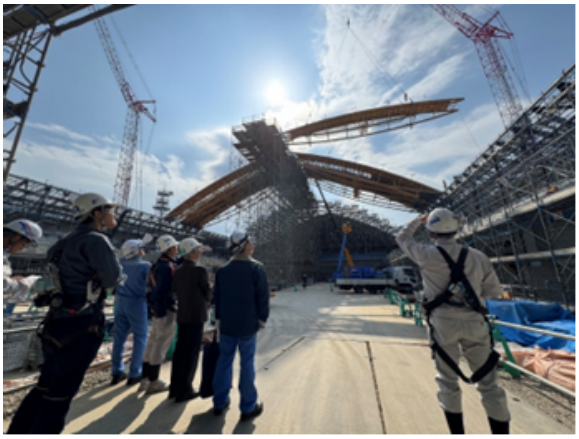
カブシキガイシャウチヤマケンセツ

株式会社内山建設

仕事と生活の両立応援宣言登録制度
「みやざき女性の活躍推進会議」会員企業

2026年03月12日更新

宮崎県



地域にならなくてはならない会社を めざしております

事業内容 土木工事・建設工事を中心に公共・民間の幅広い施工を行う総合建設業です。道路・河川・造成や建物の新築・改修を通じ、地域の安全と暮らしの基盤づくりに貢献しております。

会社情報 883-0034 宮崎県日向市大字富高93-1

交通手段 日向市駅より徒歩15分、車5分

会社HP https://www.uchiyama-const.com/

○会社概要

創業	従業員数	平均年齢	平均勤続年	役員・管理職の女性割合	
1971 年	35 人	48.0 歳	11.0 年	(役員) 2.9 %	(管理職) 2.9 %

○雇用管理の状況

有給休暇の平均取得実績	月平均所定外労働時間	育児休業取得状況（直近3事業年度）	
12.2 日	6.8 時間	男性: 1 名	女性: 100.0 %

○採用・定着状況

		2024年度	2023年度	2022年度
募集状況	新卒者等※1	○	○	○
	新卒者等以外※2	○	○	○
採用者数(うち女性)	新卒者等	2 名(0 名)	0 名(0 名)	1 名(0 名)
	新卒者等以外	2 名(1 名)	2 名(0 名)	0 名(0 名)
離職者数※3	新卒者等	0 名	0 名	0 名
	新卒者等以外	1 名	1 名	0 名

会社からのメッセージ

先輩社員から

私たちの仕事は、 街や社会の基盤をつくる“ モノづくり ”です。 土木・建設工事は決して楽ではありません。 時に困難に直面し、汗を流しながら取り組むこともあります。 しかし、その先にあるのは、自分の手で形にしたものが人々の生活を支え、 未来に残るという大きな達成感と誇りです。 仲間と力を合わせて完成させた瞬間の喜びは、何にも代えがたいものです。 私たちは次の世代を担う若い力を必要としています。 あなたの挑戦が、社会を動かし未来を築く一歩となります。 共に新しい景色を創りませんか。

社長から

内山建設は「地域にとって、なくてはならない会社になる」ことを目指し、まちの安心・安全、そして未来の姿づくりに挑む企業です。 私たちが大切にしているのは、派手さよりも“ 現場に誠実である姿勢 ”。 技術は机上ではなく、失敗や試行錯誤を重ねる現場でこそ本物になります。 困難を乗り越え自らの手で形を造りあげたとき、他には代えられないやりがいが生まれます。 「この町をつくれた」「ここで働けて良かった」と胸を張れる仕事を、ぜひ一緒に築いていきましょう。

求める人材像

①誠実さを持ち、相手の立場にたって行動できる人 ②高い品質を追求し専門性や技能の向上に努められる人 ③仲間と協力し、コミュニケーションを大切にできる人 ④変化を恐れず、新しいことに挑戦できる人 ⑤働きやすい職場づくりに主体的にかかわれる人

人材育成のための制度

- 研修制度：あり
- 自己啓発支援制度：あり
- 社内検定：なし
- メンター制度：あり
- キャリコン制度：なし

見学等受入れ

- インターン：あり
- 職場見学：あり

非正規雇用の職場情報※4

備考・補足情報

施工管理は、工事全体の進行や安全を確認し、 関係者と連携しながら行う仕事です。 補助業務から段階的に経験を積めるため、 未経験でも安心して成長できます。

採用情報

事業所番号: 4503-6171-1

ハローワークインターネットサービスもしくは最寄りのハローワークをご利用ください。

※1 直近３事業年度において正社員として採用した新規学校卒業者、及び新規学校卒業者と同等の処遇を行う既卒者
※2 ※１以外の者で、直近３事業年度において正社員として採用した35歳未満の者
※3 当該年度に採用した者のうち、直近３事業年度に離職した者の数
※4 非正規雇用労働者の採用状況、有給休暇取得状況、所定外労働時間実績についての自由記述欄

ユースエール認定企業一覧

33事業所

令和8年3月31日現在

整理No	認定日	認定企業名	郵便番号	所在地	管轄所	産業分類
1	2016(H28).10.25	医療法人養気会　池井病院	886-0007	小林市真方87番地	小林	P. 医療・福祉
2	2017(H29).9.4	医療法人浩然会　内村病院	886-0002	小林市水流迫852番地1	小林	P. 医療・福祉
3	2018(H30).10.5	株式会社イーテック	880-0303	宮崎市佐土原町東上那珂11954番地3	宮崎	E. 製造業
4	2018(H30).11.5	株式会社　都城北諸地区清掃公社	885-0006	都城市吉尾町2159番地	都城	R. サービス業(他に分類されないもの)
5	2020(R2).9.23	株式会社ジャストエンジニアリング	880-2224	宮崎市高岡町飯田1丁目8-11	宮崎	L. 学術研究，専門・技術サービス業
6	2020(R2).10.27	社会福祉法人　常陽社会福祉事業団	885-0092	都城市南横市町4000番地	都城	P. 医療・福祉
7	2021(R3).10.5	株式会社 白浜測量設計	880-0917	宮崎市城ヶ崎2丁目6番地3	宮崎	L. 学術研究，専門・技術サービス業
8	2022(R4).9.30	有限会社サンエク	880-2215	宮崎市高岡町高浜３３１番地２	宮崎	D. 建設業
9	2022(R4).10.13	富岡建設株式会社	887-0033	日南市大字平山2292番地4	日南	D. 建設業
10	2023(R5).4.6	株式会社高山建設	889-4411	西諸県郡高原町大字広原152番地	小林	D. 建設業
11	2023(R5).7.25	九州北清株式会社	886-0006	小林市北西方1084-1	小林	R. サービス業(他に分類されないもの)
12	2024(R6).3.22	倉本鐵工株式会社	883-0062	日向市大字日知屋17305番地	日向	E.製造業
13	2024(R6).8.1	A’s社会保険労務士法人	880-0916	宮崎市大字恒久５２４３－６	宮崎	L.学術研究，専門・技術サービス業
14	2024(R6).10.18	木村産業株式会社	882-0063	延岡市古川町82-1	延岡	D.建設業
15	2024(R6).11.21	大平開発株式会社	889-3532	串間市大字大平3291番地	日南	D.建設業
16	2025(R7).2.17	湯川建設株式会社	882-0034	延岡市昭和町3-2014	延岡	D.建設業
17	2025(R7).4.2	株式会社竹井建設	889-3202	日南市南郷町中村甲400番地	日南	D.建設業
18	2025(R7).6.26	龍南建設株式会社	880-0921	宮崎市大字本郷南方1857番地3	宮崎	D.建設業
19	2025(R7).6.26	株式会社竹尾組	882-1621	西臼杵郡高千穂町大字岩戸692番地のイ	延岡	D.建設業
20	2025(R7).6.30	永野建設株式会社	889-2511	日南市大字酒谷乙10322	日南	D.建設業
21	2025(R7).7.17	九州建設工業株式会社	880-0936	宮崎市天満2丁目6-13	宮崎	D.建設業
22	2025(R7).7.23	松本建設株式会社	880-0021	宮崎市清水1丁目9-24	宮崎	D.建設業
23	2025(R7).8.6	段建設工業株式会社	889-4601	都城市山田町山田9380	都城	D.建設業
24	2025(R7).8.7	上田工業株式会社	882-0837	延岡市古城町5丁目46番地	延岡	D.建設業
25	2025(R7).8.27	株式会社志多組	880-8550	宮崎市高千穂通1丁目4-30	宮崎	D.建設業
26	2025(R7).9.29	旭建設株式会社	883-0051	日向市向江町1丁目200	日向	D.建設業
27	2025(R7).11.7	日新興業株式会社	882-0812	延岡市本小路74	延岡	D.建設業
28	2025(R7).11.13	株式会社増田工務店	884-0002	児湯郡高鍋町北高鍋4750	高鍋	D.建設業
29	2025(R7).11.18	株式会社上村開発	885-0114	都城市庄内町12993-1	都城	C.鉱業，採石業，砂利採取業
30	2025(R7).11.28	丸宮建設株式会社	885-0114	都城市庄内町8031-2	都城	D.建設業
31	2026(R8).2.2	株式会社山崎産業	882-0073	延岡市貝の畑町2903	延岡	D.建設業
32	2026(R8).2.27	有限会社瀬戸山ブロック工業所	889-4411	西諸県郡高原町広原4801-8	小林	E.製造業
33	2026(R8).3.5	株式会社内山建設	883-0034	日向市大字富高93-1	日向	D.建設業

資料3-1

若者の採用・育成に積極的な中小企業の皆さまへ

ご存じですか？
「ユースエール認定制度」

若者の採用・育成に積極的で雇用管理の優良な中小企業を応援します！

若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業（常時雇用する労働者が300人以下の事業主）を、若者雇用促進法に基づき厚生労働大臣が「ユースエール認定企業」として認定しています。

認定した企業の情報発信を後押しすることなどで、企業が求める人材の円滑な採用を支援し、求職中の若者とのマッチング向上を図ります。

<認定マーク>

Q「ユースエール認定企業」として認定を受けると、どんなメリットがありますか？

A ユースエール認定企業になると、以下の支援を受けることができるようになり、企業のイメージアップや優秀な人材の確保などが期待されます。

1	ハローワークなどで重点的ＰＲを実施	「わかものハローワーク」や「新卒応援ハローワーク」などの支援拠点で認定企業を積極的にＰＲすることで、若者からの応募増が期待できます。また、厚生労働省が運営する、若者の採用・育成に積極的な企業などに関するポータルサイト「若者雇用促進総合サイト」などにも認定企業として企業情報を掲載しますので、貴社の魅力を広くアピールすることができます。
2	認定企業限定の就職面接会などへの参加が可能	各都道府県労働局・ハローワークが開催する就職面接会などについて積極的にご案内しますので、正社員就職を希望する若者などの求職者と接する機会が増え、より適した人材の採用を期待できます。
3	自社の商品、広告などに認定マークの使用が可能	認定企業は、ユースエール認定マーク（右）を、商品や広告などに付けることができます。認定マークを使用することにより、ユースエール認定を受けた優良企業であるということを対外的にアピールすることができます。
4	日本政策金融公庫による融資制度	株式会社日本政策金融公庫（中小企業事業）において実施している「働き方改革推進支援資金」を利用する際、基準利率から－0.65%での融資を受けることができます。 ※ 基準利率は、貸付期間、担保の有無などに応じて異なります。詳細は以下のＵＲＬをご覧ください。 https://www.jfc.go.jp/n/rate/base.html ※ 働き方改革推進支援資金の詳細は、以下のＵＲＬをご覧ください。 https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/hatarakikata.html
5	公共調達における加点評価	公共調達のうち、価格以外の要素を評価する調達（総合評価落札方式・企画競争方式）を行う場合は、契約内容に応じて、ユースエール認定企業を加点評価するよう、国が定める「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」において示されています。 ※ 加点評価の詳細は、公共調達を行う行政機関によって定められています。
6	一部地方公共団体における優遇措置	一部の地方公共団体が行う事業（補助金、奨励金、融資制度等）において、ユースエール認定企業への優遇措置が設けられている場合があります。詳細は、以下のURLをご覧ください。 https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001306877.pdf

厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク

LL070328開若07

【 認定基準 】

1	学卒求人※1など、若者対象の正社員※2の求人申込みまたは募集を行っていること	
2	若者の採用や人材育成に積極的に取り組む企業であること	
3	右の要件をすべて満たしていること	・「人材育成方針」と「教育訓練計画」を策定していること
		・直近３事業年度の新卒者などの正社員として就職した人の離職率が20%以下※3
		・前事業年度の正社員の月平均所定外労働時間が20時間以下かつ、月平均の法定時間外労働60時間以上の正社員が１人もいないこと
		・前事業年度の正社員の有給休暇の年間付与日数に対する取得率が平均70%以上又は年間取得日数が平均10日以上※4
		・直近３事業年度で男性労働者の育児休業等取得者が１人以上又は女性労働者の育児休業等取得率が75%以上※5
4	右の青少年雇用情報について公表していること	・直近3事業年度の新卒者などの採用者数・離職者数、男女別採用者数、平均継続勤務年数
		・研修内容、メンター制度の有無、自己啓発支援・キャリアコンサルティング制度・社内検定等の制度の有無とその内容
		・前事業年度の月平均の所定外労働時間、有給休暇の平均取得日数、育児休業の取得対象者数・取得者数（男女別）、役員・管理職の女性割合
5	過去３年間に認定企業の取消を受けていないこと	
6	過去３年間に認定基準を満たさなくなったことによって認定を辞退していないこと※6	
7	過去３年間に新規学卒者の採用内定取消しを行っていないこと	
8	過去１年間に事業主都合による解雇または退職勧奨を行っていないこと※7	
9	暴力団関係事業主でないこと	
10	風俗営業等関係事業主でないこと	
11	各種助成金の不支給措置を受けていないこと	
12	重大な労働関係等法令違反を行っていないこと	

※１　少なくとも卒業後３年以内の既卒者が応募可であることが必要です。

※２　正社員とは、直接雇用であり、期間の定めがなく、社内の他の雇用形態の労働者（役員を除く）に比べて高い責任を負いながら業務に従事する労働者をいい、派遣契約で業務に従事する者は除きます。

※３　直近３事業年度の採用者数が３人または４人の場合は、離職者数が１人以下であれば、可とします。

※４　有給休暇に準ずる休暇として、企業の就業規則等に規定する、有給である、毎年全員に付与する、という３つの条件を満たす休暇について、労働者１人あたり５日を上限として加算することができます。

※５　男女ともに育児休業などの取得対象者がいない場合は、育休制度が定められていれば可とします。また、「くるみん認定」(子育てサポート企業として厚生労働省が定める一定の基準を満たした企業。プラチナくるみん、トライくるみん、プラスを含みます。)を取得している企業については、認定を受けた年度を含む３年度間はこの要件を不問とします。

※６　３、４の基準を満たさずに辞退した場合、再度基準を満たせば辞退の日から３年以内であっても再申請が可能です。

※７　離職理由に虚偽があることが判明した場合(実際は事業主都合であるにもかかわらず自己都合であるなど)は取り消します。

Q　認定企業になるには、どうすればよいですか？

A　認定企業となるためには、各都道府県労働局へ申請が必要です。上記の認定基準を満たしていることを確認した後、各都道府県労働局から認定通知書を交付します。

※申請書などの提出は、ハローワークを経由して行うことができる場合があります。また、認定基準を満たしているかどうかを確認するための書類をご提出いただきます。詳細は、各都道府県労働局へお問い合わせください。

電子申請も利用できます！

ユースエールの認定申請は、持参又は郵送によるほか、e-Govポータルサイトから、電子申請の利用が可能です。ぜひご利用ください。（https://shinsei.e-gov.go.jp/）

本リーフレットの内容について詳しくは、都道府県労働局、ハローワークへお問い合わせください。
（融資制度の詳細は、株式会社日本政策金融公庫へお問い合わせください）

就職活動中の35歳未満の皆さまへ

資料3-2

若者の採用・育成に積極的で雇用管理の優良な“ユースエール認定企業”を知っていますか？

あなたはどんな企業で働きたいですか？

長く働ける！

ワークライフバランスを大切にしてくれる！

子育てしやすい！

若者の育成に熱心！

その希望にこたえるのが、ユースエール認定企業です!!

「ユースエール認定企業」とは、「若者雇用促進法」に基づき、若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良であると厚生労働大臣が認定した企業です。

<認定マーク>

＜認定基準の一部＞

- 直近三事業年度の、**新卒者などの離職率が20%以下**
- 前事業年度の、**正社員の月平均の所定外労働時間が20時間以下**かつ、**月平均の法定時間外労働60時間以上の正社員がゼロ**
- 前事業年度の、**正社員の有給休暇の、年平均の取得日数が年10日以上**または、**年平均取得率※70%以上** ※ 付与日数に占める取得日数の平均　など

＊その他詳しい認定基準については裏面を参照してください。

Q 「ユースエール認定企業」を調べるにはどのような方法がありますか？

A 「若者雇用促進総合サイト」があります！

厚生労働省が運営する「若者雇用促進総合サイト」は、全国のユースエール認定企業をはじめとした、さまざまな企業の情報を検索できる総合サイトです。

個別企業ごとに企業概要、雇用管理の状況、企業からのメッセージなどの企業情報や採用情報が閲覧できるほか、就職活動の始め方・進め方等の就職相談窓口の検索も行うことができます。

若者雇用促進総合サイト　検索

厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク

LL300907開若01

ユースエール認定企業の認定基準

以下の認定基準を全て満たした中小企業（常時雇用する労働者が300人以下の事業主）がユースエール認定企業です。

1	学卒求人など、若者対象の正社員※1の求人申込みまたは募集を行っていること	
2	若者の採用や人材育成に積極的に取り組む企業であること	
3	右の５つの要件を全て満たしていること	①「人材育成方針」と「教育訓練計画」を策定していること ② 直近３事業年度の正社員として就職した新卒者等のうち同期間に離職した者の割合が20%以下※2 ③ 前事業年度の正社員の月平均所定外労働時間が20時間以下かつ、月平均の法定時間外労働60時間以上の正社員が１人もいないこと ④ 前事業年度の正社員の有給休暇の付与日数に占める取得日数の年平均が70%以上または年平均の取得日数が10日以上※3 ⑤ 直近３事業年度において、男性労働者の育児休業等の取得者が１人以上または女性労働者の育児休業等の取得率が75%以上
4	右の３つの青少年雇用情報について、全て公表していること	① 直近３事業年度の新卒者などの採用者数・離職者数、男女別採用者数、平均継続勤務年数 ② 研修内容、メンター制度の有無、自己啓発支援・キャリアコンサルティング制度・社内検定などの制度の有無とその内容 ③ 前事業年度の月平均の所定外労働時間、有給休暇の平均取得日数、育児休業の取得対象者数・取得者数（男女別）、役員・管理職の女性割合
5	過去３年間に認定企業の取消を受けていないこと	
6	過去３年間に認定基準を満たさなくなったことによって認定を辞退していないこと	
7	過去３年間に新規学卒者の採用内定取消しを行っていないこと	
8	過去１年間に事業主都合による解雇または退職勧奨を行っていないこと	
9	暴力団関係事業主でないこと	
10	風俗営業等関係事業主でないこと	
11	雇用関係助成金の不支給措置を受けていないこと	
12	重大な労働関係等法令違反を行っていないこと	

※１正社員とは、直接雇用であり、期間の定めがなく、社内の他の雇用形態の労働者（役員を除く）に比べて高い責任を負いながら業務に従事する労働者をいいます。
※２直近３事業年度の採用者数が３人又は４人の場合は、離職者数が１人以下であれば、可とします。
※３有給休暇に準ずる休暇として、一定の条件を満たす休暇が含まれる場合があります。

【 認定マークについて 】

右の認定マークは、「ユースエール認定企業」であることを表すマークです。マーク中の「○○年度認定」は、認定を受けた年度を表しています。

認定企業は、事業年度ごとに認定基準を満たしているかの確認を受けることになっているため、認定基準をいつから満たし続けている企業なのかがマークから分かります。

詳しくは、都道府県労働局、ハローワークへお問い合わせください。

厚生労働省
宮崎労働局
Press Release

宮 崎 労 働 局 発 表
令 和 8 年 4 月 28 日

【照会先】
宮崎労働局労働基準部健康安全課
課　　長　　平元 克典
地方労働衛生専門官　外村 哲史
（直通電話） 0985(38)8835

仕事中の熱中症に注意！

5月からクールワークキャンペーンを実施します

7月、8月に多発！　暑さ指数に応じた対策の徹底を！

宮崎労働局（局長　吉越（よしこし） 正幸（まさゆき））は、気温が上昇する５月からクールワークキャンペーンを実施します。

クールワークキャンペーン中は、次の取組などの確実な実施をお願いします。

① 暑さ指数（WBGT(※)）の把握とその値に応じた熱中症予防対策の適切な実施
② 熱中症の重篤化による死亡災害を防止するため、「早期発見のための体制整備」、「重篤化を防止するための措置の実施手順の作成」、「関係作業者への周知」の実施
③ 糖尿病、高血圧症など熱中症に影響を及ぼすおそれのある疾病を有する者に対して医師等の意見を踏まえた配慮の実施

※ WBGT（湿球黒球温度）とは、人体の熱収支に影響の大きい湿度、輻射熱、気温の３つを取り入れた指標で、乾球温度、湿球温度、黒球温度の値を使って計算する値

宮崎労働局においては、発生件数の高い建設業、建設現場の交通誘導等を行う警備業、林業等の関係団体及び事業者団体（合計 99 団体）に対し、４月１４日に『「STOP！熱中症　クールワークキャンペーン」の取組』について要請を行ったところです。

今後も県内の企業や労働者の方々に熱中症予防対策の徹底を働きかけていきます。

また、引き続き、関係事業者等に対して、昨年６月１日に施行された熱中症対策の強化のための改正労働安全衛生規則に基づく措置の周知、徹底を図っていきます。

【令和７年の熱中症発生状況のポイント】≪資料１≫

- 宮崎県内における令和７年の熱中症による労働災害（休業災害及び不休災害）は 152 人で、前年（172 人：過去最高）を下回った《グラフ①》
- 業種別では、建設業が 27%で最も多く、建設業、製造業、商業、農林業の４業種で全体の 60%を占める《グラフ②》
- 作業場所別では、屋外で 63%、屋内で 37%発生している《グラフ③》
- 年齢別では、20 代の発生が最も多く、若い年代で多く発生している《グラフ④》
- 発生時期は７月が最も多く、その次が８月となっている。真夏日（30℃以上）が前年６月の６日に対して令和７年６月は 18 日と、６月の気温上昇も要因と思わ

（裏面に続く）

れ、令和７年６月の熱中症の発生が前年比で 11.7 倍（令和６年６月：３人⇒令和７年６月：35 人）増加した。また、９月に入っても真夏日が多かったことから、９月の熱中症の発生が前年比で 1.6 倍増加した《グラフ⑤、⑧－1、⑧－2》
・熱中症の療養のために４日以上の休業を要する者は 13 人となり、前年（22 人：過去最高）を下回った《グラフ⑥》

【宮崎県内の熱中症発生状況】

令和７年に県内で仕事中に熱中症となり医療機関で治療を受けた人の数は 152 人で、過去最高であった前年の 172 人を下回りました。これは、熱中症が多発する７月と８月の最高気温が、前年（令和６年）より低い日が多かったことが影響しているものと思われます。しかし、真夏日（30℃以上）が前年６月の６日に対して令和７年６月は 18 日と、６月の気温上昇も要因と思われ、令和７年６月の熱中症の発生が前年比で 11.7 倍（令和６年６月：３人⇒令和７年６月：35 人）と大幅に増加しました。また、９月に入っても真夏日が多かったことから、９月の熱中症の発生が前年比で 1.6 倍（令和６年９月：12 人⇒令和７年９月：19 人）増加しました。

なお、業種別では建設業が 41 人で最も多く、次いで製造業が 23 人、農林業と商業がそれぞれ 14 人となっています。

【熱中症による死亡災害】

全国において、例年、30 人以上が仕事中に熱中症となり亡くなっていましたが、令和７年は 15 人（速報値）と、前年（31 人）より減少しています。「休ませて様子を見ていたところ様態が急変した」、「倒れているところを発見された」など、管理が適切になされておらず被災者の救急搬送が遅れた事例なども見受けられます。

また、県内においても、過去 10 年間で２名（平成 28 年に林業、令和２年に建設業）の方が熱中症で亡くなられています。なお、令和６年８月に県外の事業場所属の交通誘導員が、宮崎県内の工事現場の交通誘導を行っていたところ、熱中症にり患し亡くなっています。

【添付資料】

資料１　職場における熱中症の発生状況（不休災害を含む）

資料２　宮崎県内における職場での熱中症による死傷災害の発生状況及び事案の概要（休業４日以上）

資料３　宮崎労働局長による要請文書
（令和８年４月 14 日付け宮崎労発基 0414 第４号）

資料４　令和８年「STOP！　クールワークキャンペーン」実施要綱

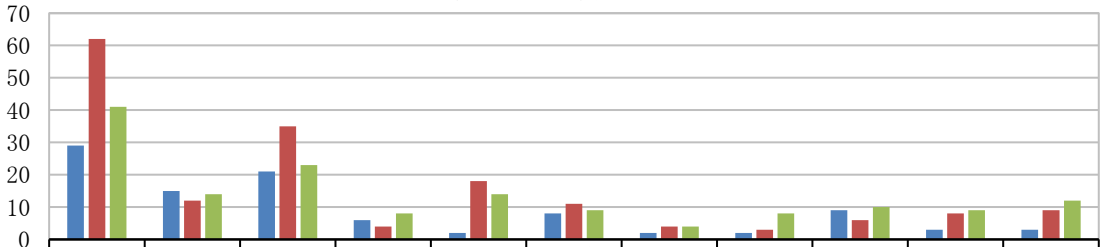
参考資料　リーフレット「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」

参考資料　リーフレット「職場における熱中症対策の強化について」

資料1

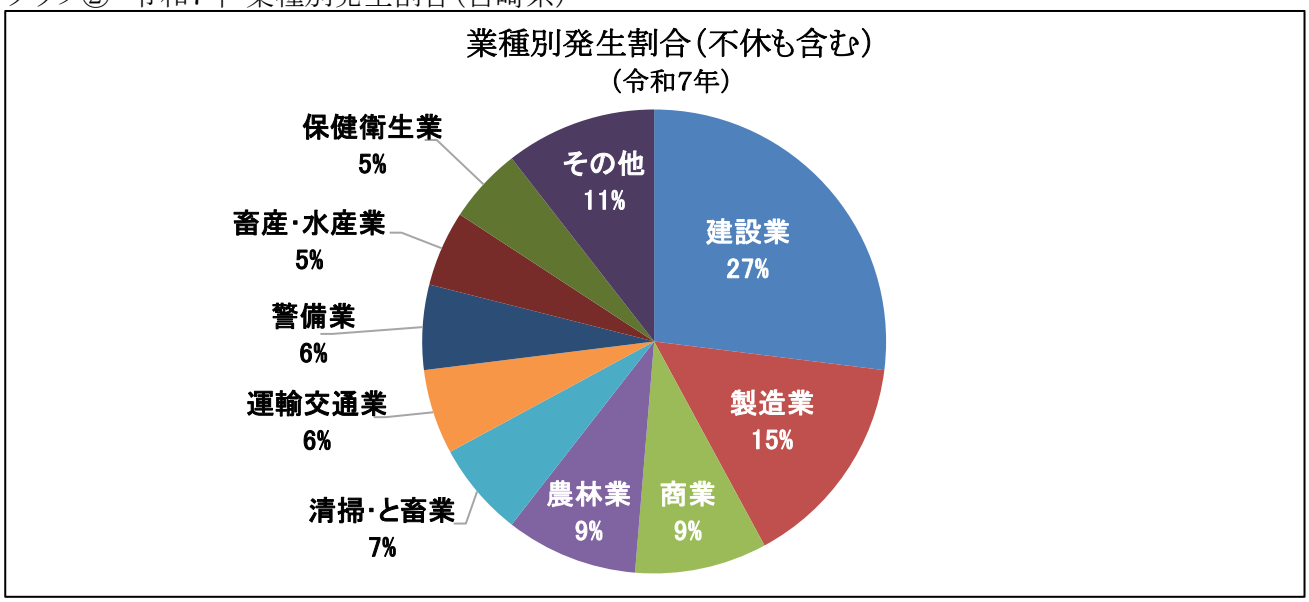
職場における熱中症の発生状況

グラフ①　業種別熱中症発生状況（令和5年～令和7年／宮崎県）

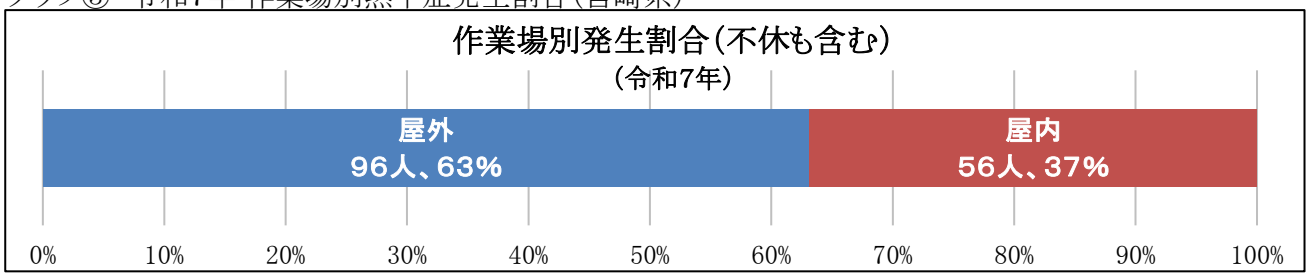


	建設業	農林業	製造業	畜産・水産業	商業	運輸交通業	接客娯楽業	保健衛生業	清掃・と畜業	警備業	その他
令和5年（100人）	29	15	21	6	2	8	2	2	9	3	3
令和6年（172人）	62	12	35	4	18	11	4	3	6	8	9
令和7年（152人）	41	14	23	8	14	9	4	8	10	9	12

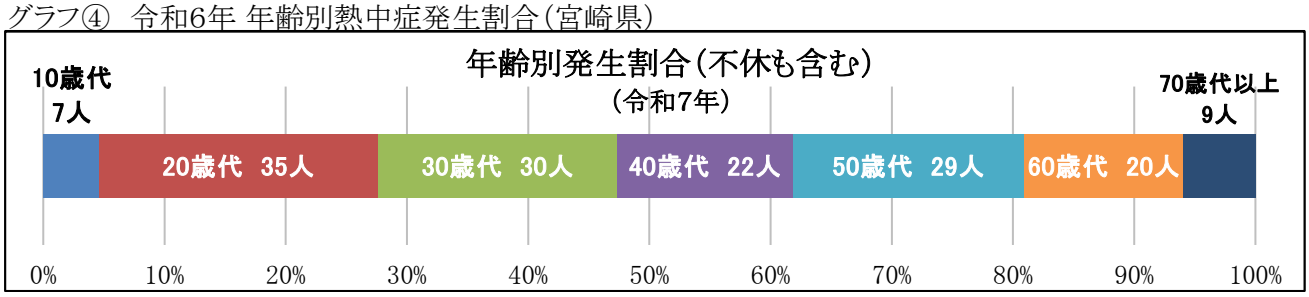
グラフ②　令和7年 業種別発生割合（宮崎県）



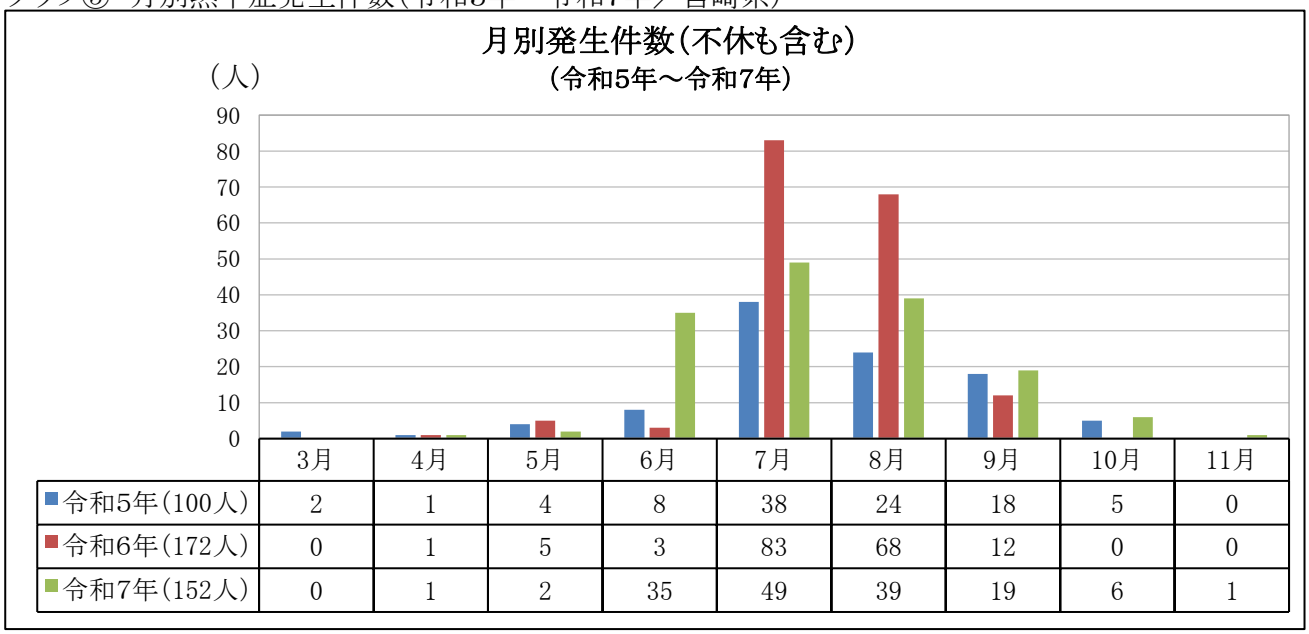
グラフ③　令和7年 作業場別熱中症発生割合（宮崎県）



グラフ④　令和6年 年齢別熱中症発生割合（宮崎県）

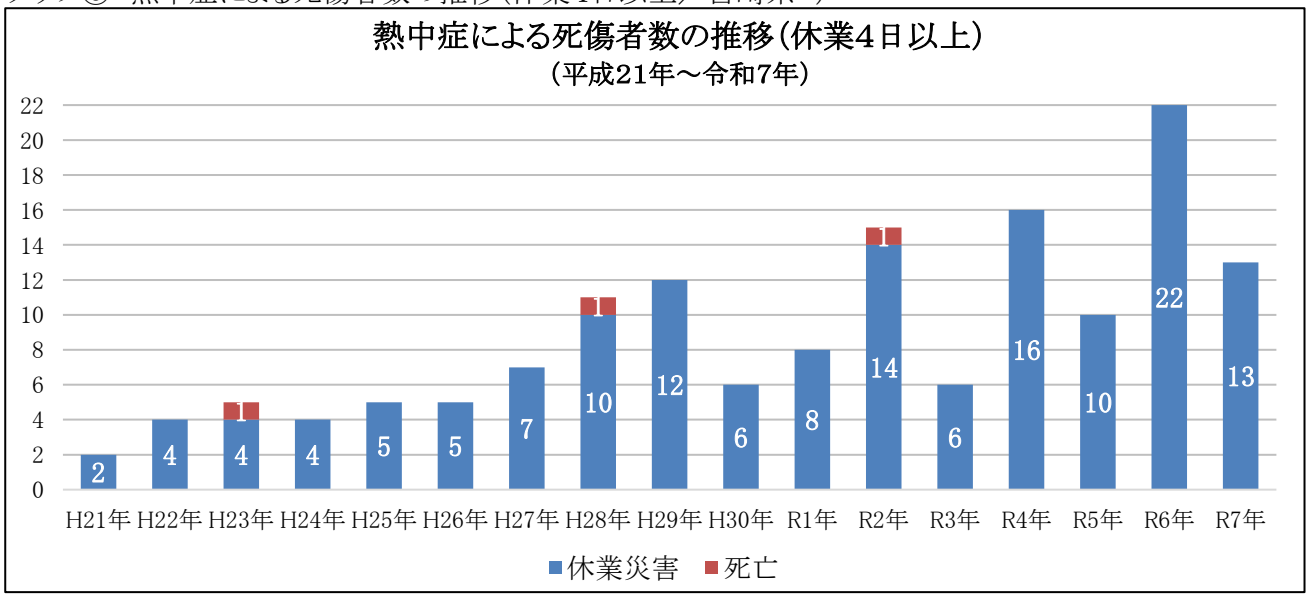


グラフ⑤　月別熱中症発生件数（令和5年～令和7年／宮崎県）

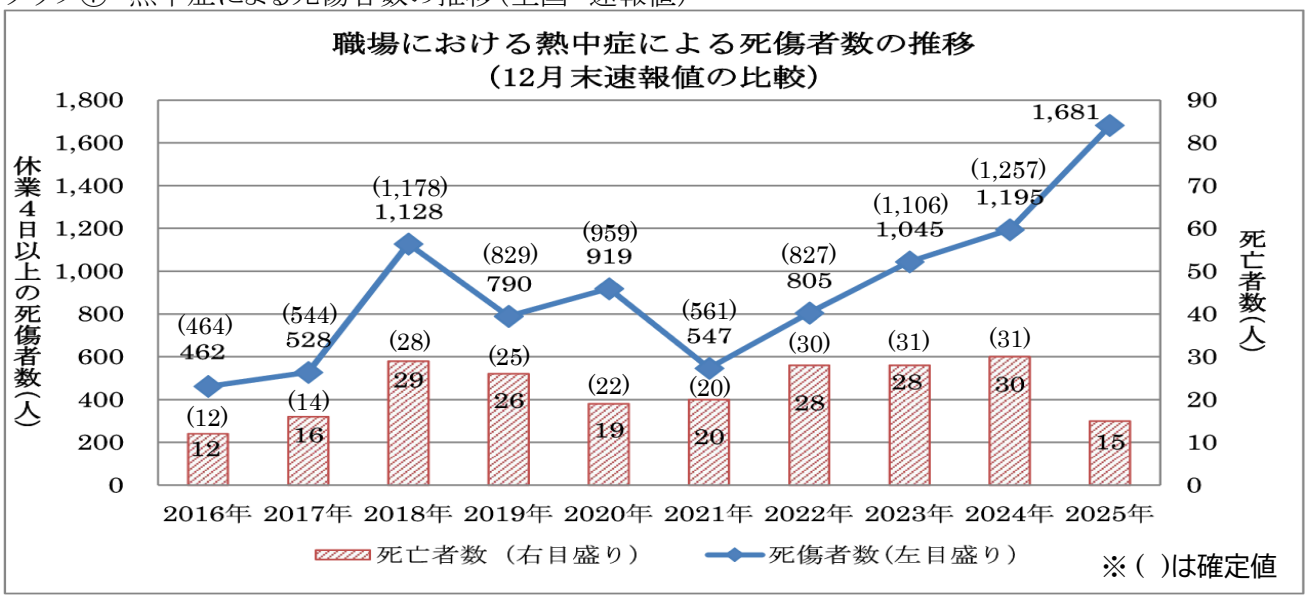


	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
令和5年（100人）	2	1	4	8	38	24	18	5	0
令和6年（172人）	0	1	5	3	83	68	12	0	0
令和7年（152人）	0	1	2	35	49	39	19	6	1

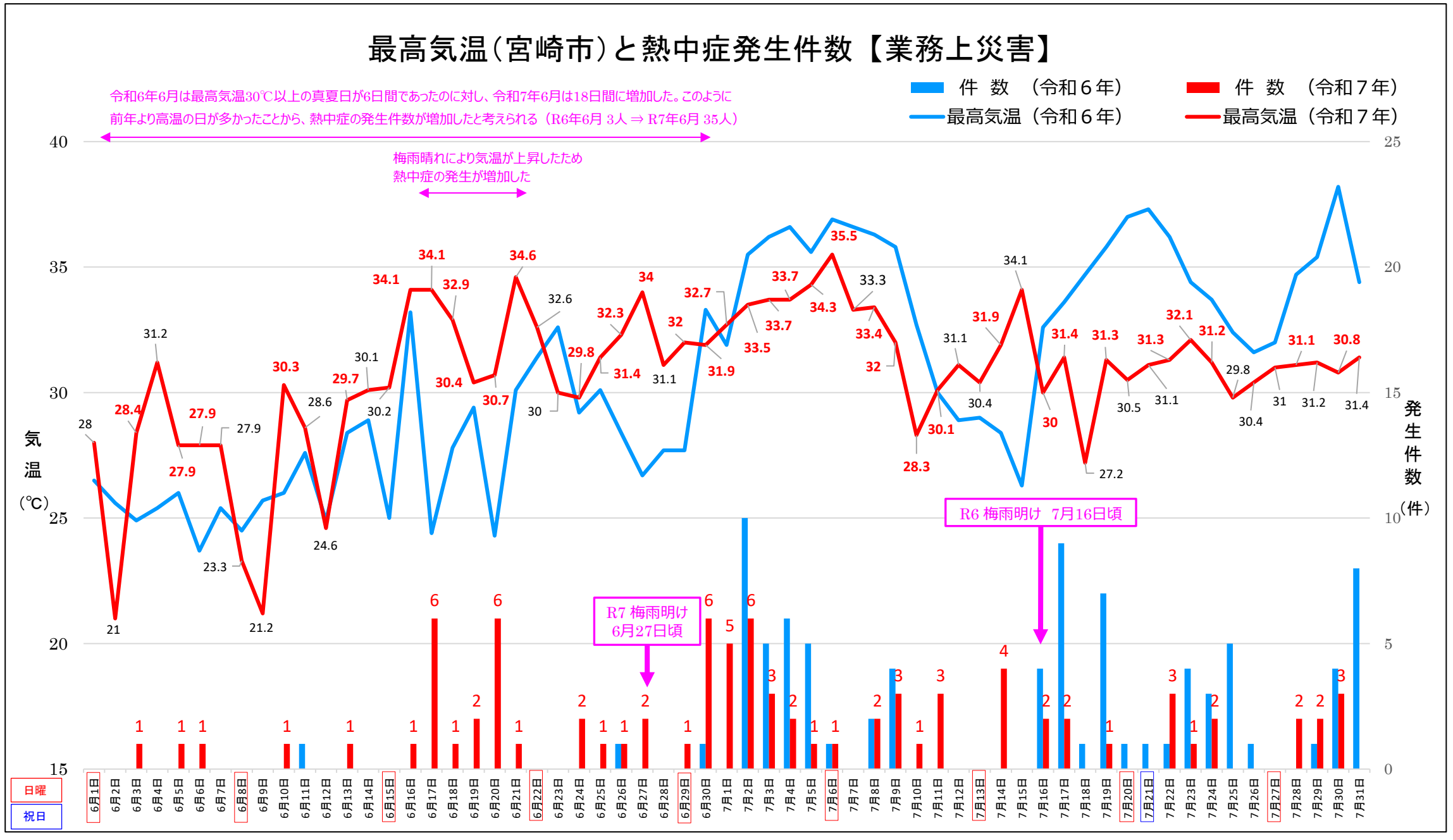
グラフ⑥　熱中症による死傷者数の推移（休業4日以上／宮崎県　）



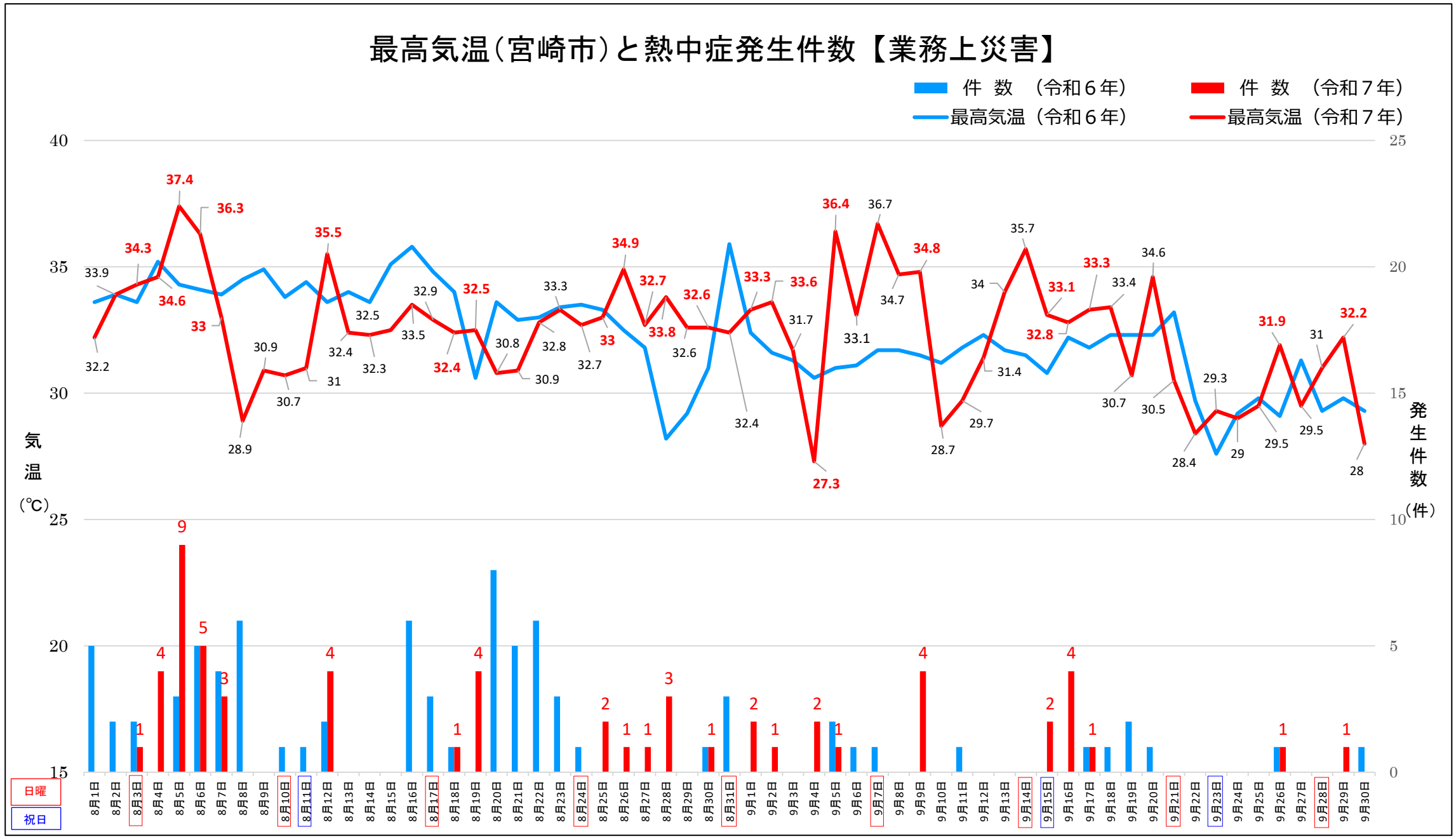
グラフ⑦　熱中症による死傷者数の推移（全国　速報値）



グラフ⑧-1　熱中症発生日別の発生件数と最高気温（不休も含む／宮崎県）



グラフ⑧-2　熱中症発生日別の発生件数と最高気温（不休も含む／宮崎県）



資料2

宮崎県内における職場での熱中症による死傷災害の発生状況
（休業4日以上の労働災害）

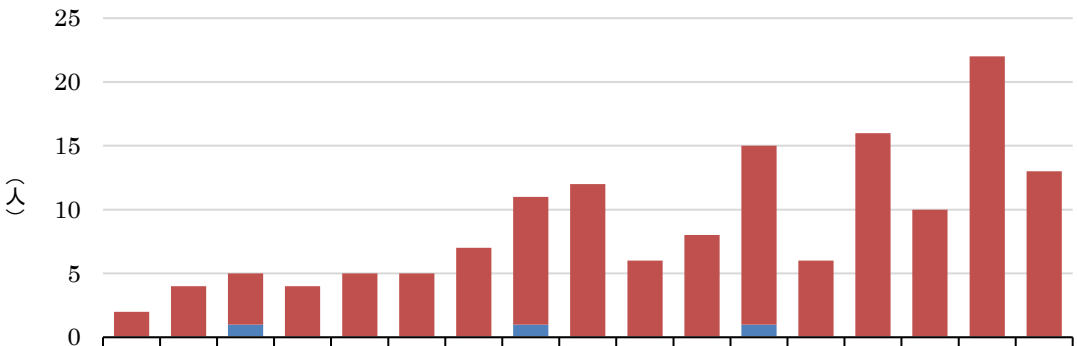
1　熱中症による死傷者数の推移（平成 21 年～令和 7 年速報値）

職場での熱中症による死傷者数は、平成 21 年以降の 17 年間で 151 人となっており、増減はあるものの長期的には増加傾向にある。

令和 7 年の死傷者数（速報値）は、前年を下回る 13 人となる見込みである。

なお、平成 21 年以降、3 人が熱中症で亡くなっている。

熱中症発生件数推移
（平成21年～令和7年　休業4日以上）



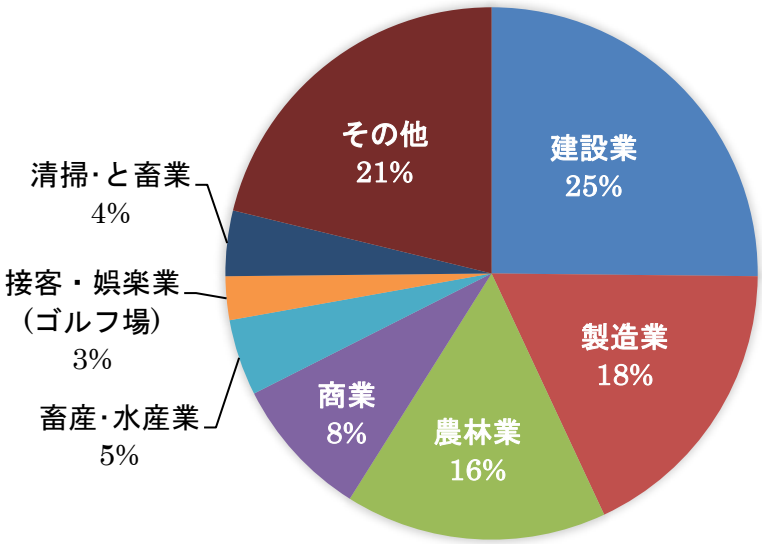
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
休業	2	4	4	4	5	5	7	10	12	6	8	14	6	16	10	22	13
死亡	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0

2　業種別発生状況（平成 21 年～令和 7 年速報値）

平成 21 年以降（平成 21 年～令和 7 年速報値）の業種別の熱中症の発生状況をみると、建設業が 38 人（25%）で最も多く、次いで製造業が 27 人（18%）、農林業が 24 人（16%）と続いており、この 3 業種で全体の約 6 割を占めている。

死亡は、林業で 2 人、建設業で 1 人発生している。

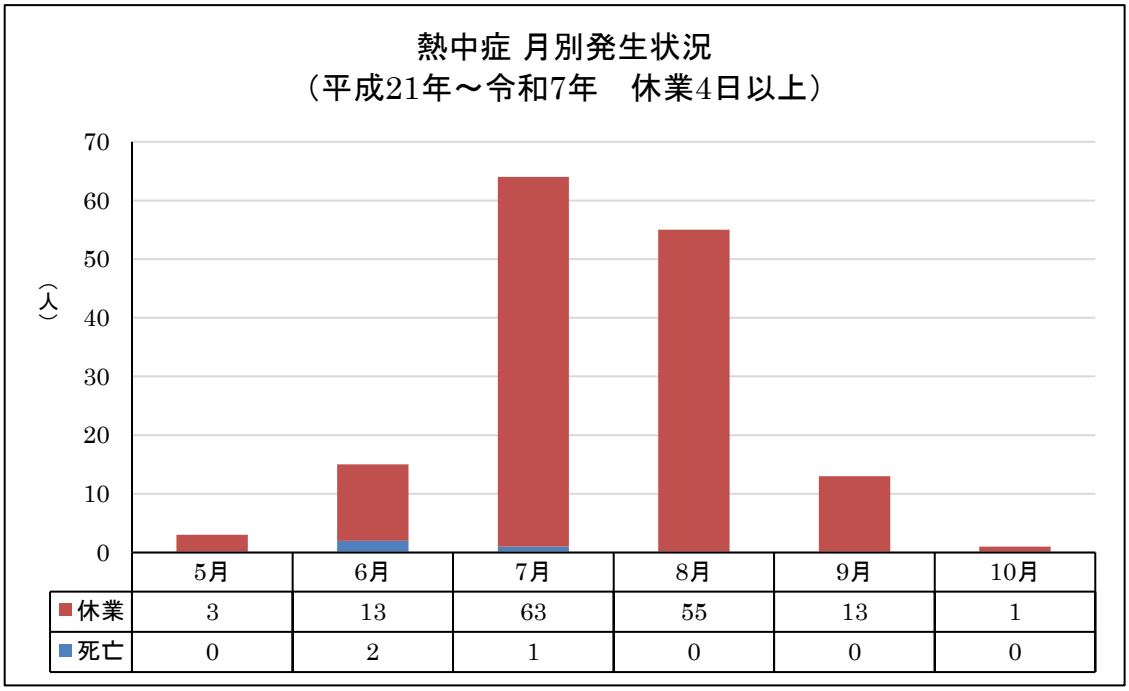
熱中症 業種別発生割合
（平成21年～令和7年　休業4日以上）



３　月別発生状況（平成 21 年～令和 7 年速報値）

平成 21 年以降（平成 21 年～令和 7 年速報値）の月別発生状況をみると、毎年、梅雨明け・盛夏の時期となる 7・8 月に全体の約 8 割（119 人）が発生している。

死亡は、6 月に 2 人、7 月に 1 人発生している。

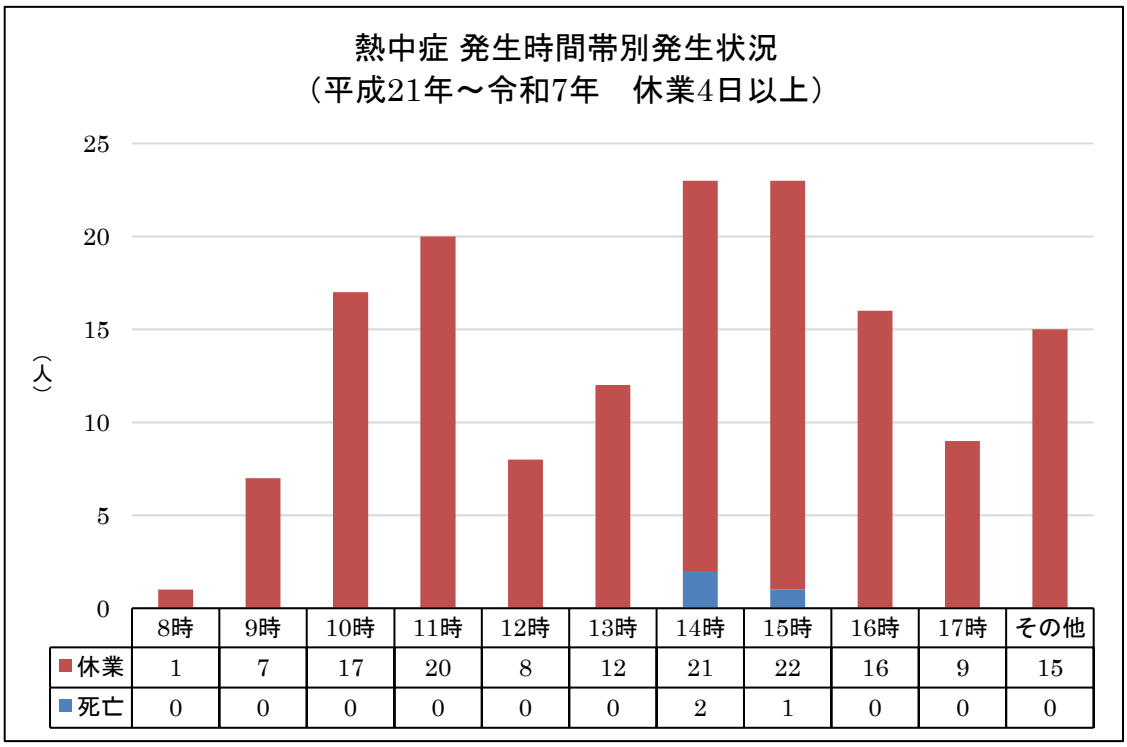


	5月	6月	7月	8月	9月	10月
休業	3	13	63	55	13	1
死亡	0	2	1	0	0	0

４　時間帯別発生状況（平成 21 年～令和 7 年速報値）

平成 21 年以降（平成 21 年～令和 7 年速報値）の時間帯別発生状況をみると、気温が上昇する 10・11 時台、気温が最も高くなる 14 時から 15 時台が多くなっている。

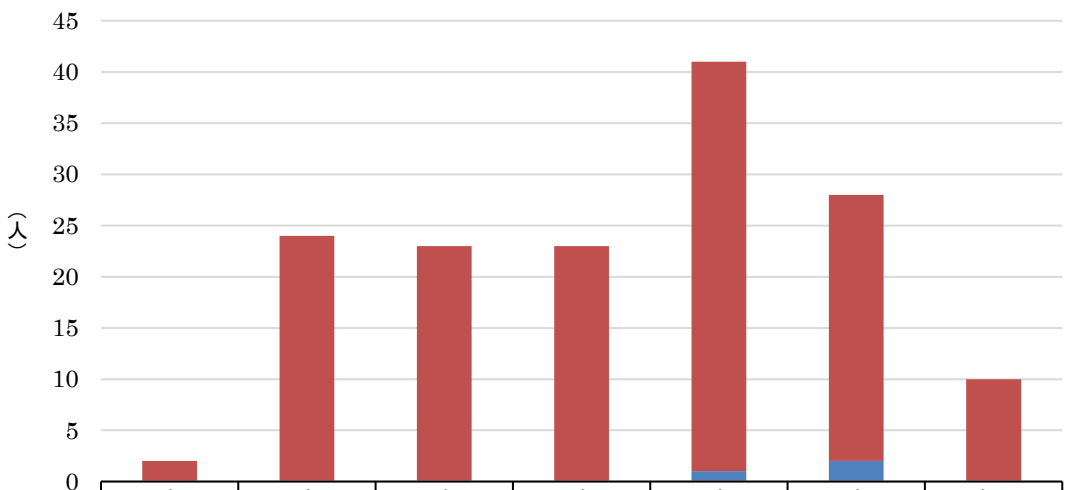
死亡は、14・15 時台に発生している。



	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	その他
休業	1	7	17	20	8	12	21	22	16	9	15
死亡	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0

５　年齢別発生状況（平成 21 年～令和 7 年速報値）

平成 21 年以降（平成 21 年～令和 7 年速報値）の年齢別発生状況をみると、50 歳代が 41 人で全体の 27%を占めており、次いで 60 歳代が 28 人（18%）となっている。
死亡は、50 歳代が 1 人、60 歳代が 2 人となっている。



	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
休業	2	24	23	23	40	26	10
死亡	0	0	0	0	1	2	0

※　統計は労働者死傷病報告（休業 4 日以上）の数値である。

宮崎県内における職場での熱中症による死傷災害事案の概要
（令和７年、休業４日以上の労働災害）

番号	年	月	業種	年代	事案の概要
1	R7	6月	農林業 （農業）	20歳代	らっきょうの収穫作業を行っていたが体調不良のため作業を中止させ、会社の車で事務所まで送迎したところ、車から降りた際に意識を失い、緊急搬送した。【休業１週】
2	R7	6月	その他の事業 （警備業）	70歳代	時々休憩や水分補給を行いながらケーブル張り作業の警備を行っていたところ、高所作業車に手を掛けながら倒れこんだ。【休業４日】
3	R7	7月	商業 （小売業）	60歳代	食堂厨房内において、フライヤーで揚げ物の調理業務を行っていたところ、体調不良（めまい、吐き気）を感じたため、病院を受診した。【休業９日】
4	R7	7月	その他の事業 （警備業）	60歳代	病院駐車場の交通誘導を行っていたところ、目の前が一瞬暗くなりふらついたため水分補給を行い、作業を続けたものの、ふらつきとめまいがあったため座った途端意識を失い倒れた。【休業10日】
5	R7	7月	その他の事業 （警備業）	50歳代	交通誘導警備を行っていたところ、気分が悪くなり、手の痺れの症状があったため、1時間休憩をして警備に復帰し、その日は病院を受診せず帰宅した。翌日、警備を行ったがまだ体調が悪かったため、終業後に病院を受診した。【休業４日】
6	R7	7月	運輸交通業 （道路貨物運送業）	50歳代	飲料水をトラック荷台から現地へ納品作業中、意識を失い後方に転倒した。【休業１月】
7	R7	7月	通信業	30歳代	二輪車で配達作業中、暑さにより頭痛、ふらつき、吐き気を感じたため、木陰で休憩をとったところ、症状が改善された。帰宅後、頭痛の症状が治まらず病院を受診した。【休業７週】
8	R7	8月	建設業 （その他の建設業）	30歳代	保温解体復旧工事において板金取付作業中、めまいがあり、気分が悪くなった。【休業７日】
9	R7	8月	教育・研究業	60歳代	職場敷地内の草刈り作業を行っていたところ、痙攣の症状があったため病院を受診した。【休業12日】
10	R7	8月	清掃・と畜業 （廃棄物処理業）	40歳代	社外で路上の家庭ごみを収集していたところ、急に気分が悪くなり、手と下肢に痺れがあったため、救急搬送した。【休業１週】
11	R7	8月	農林業 （林業）	20歳代	山林現場で伐採作業を行っていたところ、足が攣る等の症状があったため、水分と塩分を補給して休憩をとった。午後も作業を続けたが、帰宅後、体調不良により病院を受診した。【休業７日】
12	R7	8月	教育・研究業	40歳代	駐車場の草刈り作業中、若干の気分不良があったが作業を続けていたところ、頭痛と吐き気があったため病院を受診した。【休業４日】
13	R7	9月	建設業 （土木工事業）	70歳代	道路舗装工事現場で区画線設置（ライン引き）下書き作業を行っていた。水分補給は行っていたが、10時30分頃から気分が悪くなり車内で休憩した。体調が戻ったため午後から仕事に従事したが帰宅する頃から熱中症の症状が現れた。【休業４日】

資料3

宮崎労発基0414第4号
令 和 8 年 4 月 14 日

関係団体の長　殿

宮 崎 労 働 局 長
（ 公 印 省 略 ）

「職場における熱中症防止のためのガイドライン」の策定及び
令和８年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について

労働安全衛生行政の推進につきましては、日頃から格別の御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、職場における熱中症予防対策については、平成 29 年から「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を実施し、各災防団体等と連携して熱中症予防対策に取り組むとともに、令和７年６月に施行された労働安全衛生規則の遵守を図ってきたところです。

県内の昨年の熱中症による休業４日以上の死傷者数は、前年の 22 人を下回り 13 人（速報値）となっており、死亡事案は発生していません。

一方、全国における熱中症の発生状況を（令和７年 12 月末速報値）を見ると、死亡を含む休業４日以上の死傷者数は 1,681 人、うち死亡者数は 15 人となっております。死亡者数は減少したものの、死傷者数は前年比約４割の大幅な増加となっており、業種別にみると、製造業 337 人、建設業 278 人、商業 221 人、運送業 201 人、警備業 186 人となっており、死傷者数については、全体の約４割が建設業と製造業で発生しています。

また、死亡者数は、建設業が最も多く、警備業が続いています。熱中症予防のための労働衛生教育の実施を確認できなかった事例や、糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病や所見を有している者への配慮を行っていなかった事例も見られたところです。これを踏まえ、厚生労働省では、熱中症予防対策のさらなる推進のため、本年３月に「職場における熱中症防止のためのガイドライン」を策定しました。

つきましては、職場における熱中症予防対策の徹底を図ることを目的として、今年度も別添１の実施要綱に基づき標記キャンペーンが展開されますので、傘下会員事業場等に対し、その周知を図っていただきますとともに、各事業場において確実な取組が行われますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、別添２から４のとおり、全国及び県内における熱中症による死傷災害の発生状況を取りまとめていますので御活用ください。

【厚生労働省ホームページ】

●「職場における熱中症防止のためのガイドライン」の策定について
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_71721.html

●令和８年「STOP!熱中症　クールワークキャンペーン」
https://www.mhlw.go.jp/stf/coolwork_2026.html

問い合わせ先	宮崎労働局 労働基準部 健康安全課 電話　0985－38－8835

資料４

令和８年「STOP！熱中症　クールワークキャンペーン」実施要綱

令和８年３月 19 日制定

１　趣旨

夏季を中心に熱中症の発生が相次ぐ中、職場においても例年、熱中症が多数発生しており、令和４年から令和６年の３年連続で、重篤化して死亡に至る事例が年間 30 人程度発生する状態が続いたことから、業界、事業場ごとに、熱中症予防対策に取り組んでいるところである。昨年までの「STOP！熱中症　クールワークキャンペーン」においても、労働災害防止団体や関係省庁とも連携し、職場における熱中症の予防に取り組んできた。

昨年１年間の職場における熱中症の発生状況（速報値）を見ると、死亡を含む休業４日以上の死傷者数は 1,681 人、うち死亡者数は 15 人となっている。死亡者数は減少したものの、死傷者数は前年比約４割の大幅な増加となっており、業種別にみると、死傷者数については、建設業 278 人、製造業 337 人となっており、全体の約４割がこれら２つの業種で発生している。また、死亡者数は、建設業が最も多く、警備業が続いている。熱中症予防のための労働衛生教育の実施を確認できなかった事例や、糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病や所見を有している者への配慮を行っていなかった事例も見られた。

このため、本キャンペーンを通じ、すべての職場において、本年３月に定められた「職場における熱中症防止のためのガイドライン」に基づく熱中症防止対策を講ずるよう広く呼びかけるとともに、期間中、事業者は①湿球黒球温度の値(WBGT 値)の把握とその値に応じた熱中症予防対策を実施すること、②熱中症の重篤化による死亡災害を防止するため、「早期発見のための体制整備」、「重篤化を防止するための措置の実施手順の作成」、「関係作業者への周知」を行うこと、③糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病を有する者に対して医師等の意見を踏まえた配慮を行うことなど、重点的な対策の徹底を図る。

なお、労働者と同じ場所で作業に従事する労働者以外の者についても、上記措置の対象に含める。

２　期間

令和８年５月１日から９月 30 日までとする。

なお、令和８年４月を準備期間とし、令和８年７月を重点取組期間とする。

３　主唱

厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団

法人全国警備業協会

4　協賛
公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会

5　後援（予定）
関係省庁

6　主唱者及び協賛者等による連携
各関係団体における実施事項についての情報交換及び相互支援の実施

7　主唱者の実施事項
（1）厚生労働省の実施事項
ア　熱中症予防に係る周知啓発資料等の作成、配布
イ　熱中症予防に係る有益な情報等を集めた特設サイトの運営
（ア）災害事例、効果的な対策、好事例、先進事例の紹介
（イ）熱中症予防に資するセミナー、教育用ツール等の案内
ウ　各種団体等への協力要請及び連携の促進
エ　都道府県労働局、労働基準監督署による事業場への啓発・指導
オ　その他本キャンペーンを効果的に推進するための事項
（2）各労働災害防止協会等の実施事項
ア　会員事業場等への周知啓発
イ　事業場の熱中症予防対策への指導援助
ウ　熱中症予防に資するセミナー等の開催、教育支援
エ　熱中症予防に資するテキスト、周知啓発資料等の提供
オ　その他本キャンペーンを効果的に推進するための事項

8　協賛者の実施事項
（1）有効な熱中症予防関連製品及び日本産業規格を満たしたWBGT指数計の普及促進
（2）その他本キャンペーンを効果的に推進するための事項

9　各事業場における重点実施事項
「職場における熱中症防止のためのガイドライン」（別添）に基づく措置を実施することが望まれる。
このため、準備期間中は、同ガイドラインを踏まえた準備、事前確認、検討等を重点的に行うとともに、重点取組期間中は、当該措置の確実な実施、取組状況の総点検、必要に応じた追加対策の検討等を行う。

職場における熱中症防止のためのガイドライン

第１　目的等

１　目的

本ガイドラインは、労働安全衛生関係法令と相まって、職場における熱中症防止のための労働衛生管理体制の確立・作業環境管理・作業管理・健康管理・労働衛生教育等の熱中症リスクに応じて行うことが望ましい具体的方法を一体的に示し、事業者がその業種・業態に応じて適切に選択して取り組むよう促すことにより、職場における熱中症による労働災害等の防止を図ることを目的とする。事業者、作業従事者（労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律（令和７年法律第 33 号）による改正後の労働安全衛生法（昭和 47 年法律第 57 号。以下「安衛法」という。）第 15 条第１項に規定する者。以下同じ。）だけでなく、注文者、作業場所管理事業者、労働者と異なる場所で就業する労働者以外の作業従事者（以下「労働者と異なる場所で就業する個人事業者等」という。）においても、本ガイドラインを参考に熱中症防止対策を検討・実施することが望ましい。

２　適用

本ガイドラインは、熱中症のおそれのある全ての作業を対象とする。

３　実施事項

事業者は、第２に基づき、熱中症によるリスクを把握・評価した上で、その結果に基づき実施することが適切な対策を第３に掲げる措置から選択して実施することが考えられる。なお、労働安全衛生規則（昭和 47 年労働省令第 32 号。以下「安衛則」という。）に定められた措置は、実施しなければならないこと。

作業従事者についても、自らの作業環境等における熱中症によるリスクの有無などについて、自らで危険予知を行い、可能な範囲でリスクの低減に努めることが求められる。

なお、労働者と異なる場所で就業する個人事業者等については、自らの熱中症の発症を予防するために、各種支援を活用しつつ、事業者と同様の対応を行うことが望ましいこと。

第２　熱中症リスクの評価

１　有害性の要因の特定

熱中症リスクを評価するためには、まず、事業場において、熱中症リスクとなり得る暑熱に関する要因があるかを特定すること。暑熱に関する要因としては、

- 身体からの熱放散の阻害要因として、①高温・多湿な作業環境、②連続作業、③通気性や透湿性の低い衣服や保護具
- 身体からの熱産生の上昇要因として、④身体作業負荷の大きい作業

が挙げられる。

具体的には、事業場において、温度や湿度が高くないか、連続した作業をしていないか、通気性や透湿性が低い衣服や呼吸用保護具を着用していないか、身体作業負荷が大きい作業をしていないかなどについて検討すること。

２　湿球黒球温度の値（WBGT 値）の把握

熱中症リスクを評価するために最も基本となる手法は、WBGTの把握である。

WBGT は、暑熱環境による熱ストレスの評価を行う暑さ指数であり、作業場所に WBGT 指数計を設置する等により、湿球黒球温度の値（以下「WBGT 値」という。）を求めることが望ましいこと。

WBGT 値の把握に当たり、日本産業規格 JIS Z 8504 又は JIS B 7922 に適合した WBGT 指数計を準備し、点検すること。黒球がないなど日本産業規格に適合しない測定器では、屋外や輻射熱がある屋内の作業場所で、WBGT 値が正常に測定されない場合があること。

WBGT 値の把握は、上記日本産業規格に適合した WBGT 指数計による随時把握（時刻や場所によって気温が変化することを考慮することが望ましい。）を基本とすること。その地域を代表する一般的な WBGT を参考とすることは有効であるが、個々の作業場所や作業ごとの状況は反映されていないことに留意すること。特に、測定方法や測定場所の差異により、参考値は、実測した WBGT 値よりも低めの数値となることがあるため、直射日光下における作業、炉等の熱源の近くでの作業、冷房設備がなく風通しの悪い屋内における作業については、実測することが必要であること。

なお、地域を代表する一般的な WBGT は環境省熱中症予防情報サイト等に掲載されている。

３　熱中症リスクの評価・検討

把握した WBGT 値を元に、作業や作業場所の状況に応じ、連続作業時間、服装、作業の身体負荷を勘案し、熱中症リスクが大きいかどうかを見積もること。熱中症に関するリスクの見積り、措置の検討は以下のように行うことが考えられる。

（１）熱中症リスクの評価

２で示した方法により WBGT 値を把握した上で、実測した WBGT 値に対し、表１－２に基づき着衣補正を行うこと。着衣補正値を加えた WBGT 値を、表１－１に掲げる身体作業強度及び暑熱順化の状況に応じた WBGT 基準値に照らして、熱中症リスクを正しく見積もること。着衣補正値を加えた WBGT 値が、表１－１に掲げる WBGT 基準値を超えている又は超えるおそれのある場合には、冷房等により当該作業場所の WBGT 値の低減を図ること、身体作業強度（代謝率レベル）の低い作業に変更すること、WBGT 基準値より低い WBGT 値である作業場所での作業に変更すること等の熱中症予防対策を、作業の状況等に応じて実施するよう努めること。

なお、着衣補正値を加えた WBGT 値が WBGT 基準値を超えない場合であっても、WBGT 基準値が前提としている条件に当てはまらないとき又はそもそも WBGT 基準値を算出することができないときなど、熱中症リスクがあるときは、当該 WBGT 値が WBGT 基準値を超えている又は超えるおそれのある場合と同様に、対策を行うことが望ましいこと。

（２）熱中症リスクの低減のための措置の検討

ア　まずは、着衣補正値を加えた WBGT 値に係る作業場所の WBGT 値の低減を検討すること（作業環境管理）。低減の方法については第３の２を参考に、事業場の実情を踏まえて検討すること。

イ　WBGT 値の低減のための措置を行うことができない又は行っても WBGT 値が WBGT 基準値を超えている又は超えるおそれのある場合には、第３の３を参考に、事業場の実情を踏まえて作業管理を検討すること。

ウ　一般に暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており暑さに対する身体の調節機能も低下している高年齢作業従事者や、熱中症の発症リスクに影響を与える可能性のある疾病や障がいを持つ作業従事者については、作業管理の検討の際、作業時間の短縮、身体作業強度の低減等を検討するなど、特に留意すること。

第３　熱中症リスクに応じた措置

１　労働衛生管理体制の確立等

事業場における熱中症防止対策については、衛生委員会、安全衛生委員会又はこれらを設けていない事業場における労働者の意見を聴く機会等を活用し、労働者の理解と協力を得つつ労使で話し合い、その内容を労働者に対して周知することが重要である。また、夏季の対策の効果を、秋季や冬季などに同様の会議体で確認し、次の年の夏季に向けた対策に活用することが望ましいこと。

（１）各種管理者等の選任と役割

事業者は、産業医の意見も参考にしながら、衛生管理者（50人未満の事業場では安全衛生推進者又は衛生推進者）を中心に、本ガイドラインに掲げる熱中症防止対策について検討させ、以下の（ア）～（ク）に掲げる業務を行わせるとともに、事業場における熱中症防止に係る責任体制の確立を図ること。

なお、職長等の現場で作業を管理する者等、衛生管理者、安全衛生推進者等以外の者に熱中症予防対策を行わせる場合は、５の（１）の教育研修を受けた者等熱中症について必要な知識を有する者のうちから、熱中症予防管理者を選任すること。

（ア）作業に応じて、適用すべきWBGT基準値を決定し、併せて衣類に関しWBGT値に加えるべき着衣補正値の有無を確認すること。

（イ）WBGT値の低減対策を検討し、その実施状況を確認すること。

（ウ）入職日、作業や休暇の状況等に基づき、あらかじめ各作業従事者の暑熱順化の状況を確認すること。なお、あらかじめ暑熱順化不足の疑われる作業従事者は第３の３の（２）に示す暑熱順化プログラムに沿って暑熱順化を行う必要があること。

（エ）朝礼時等作業開始前において作業従事者の体調及び暑熱順化の状況を確認すること。

（オ）作業場所のWBGT値の把握と結果の評価を行う。事業者は、評価結果に基づき、必要に応じて作業時間の短縮等の措置を検討すること。

（カ）職場巡視を行い、作業従事者の水分及び塩分の摂取状況を確認すること。

（キ）退勤後に体調が悪化しうることについて注意喚起すること。

（ク）熱中症に関する労働衛生教育の実施状況を確認すること。

（２）作業手順・作業計画の策定

夏季の暑熱環境下における作業に対する作業手順・作業計画を策定すること。作業手順・作業計画には、特に新規入職者や休み明けの作業従事者については、熱中症を発症するリスクが高いため、作業内容等を十分に考慮した暑熱順化プログラム、WBGT 値に応じた十分な休憩時間の確保、WBGT 基準値を踏まえた作業中止に関する事項を含める必要があること。なお、休憩時間の確保や作業中止に関する事項の検討に当たっては、作業場の設備、休憩場所、作業従事者の服装等の状況に基づいて実施する対策、労働衛生教育、労働衛生管理体制、あらかじめ定めた緊急時の体制等の状況を十分に踏まえたものとすること。

（３）報告体制の整備及び手順等の作成並びに周知

事業者は、安衛則第 612 条の２に基づき、WBGT 値が 28 度以上又は気温が 31 度以上の場所において継続して１時間以上又は１日４時間を超えて行われることが見込まれる作業（以下「熱中症を生ずるおそれのある作業」という。）を行わせるときは、当該作業に従事する者が熱中症の自覚症状がある場合や、当該作業に従事する者に熱中症が生じた疑いがあることを当該作業に従事する他の者が発見した場合にその旨を報告させるための体制を整備し、関係者に周知すること。また、当該作業以外の作業に従事する者にも周知することが望ましいこと。報告体制の整備については、作業従事者から電話等による報告を受けることや第３の３の（６）の巡視のほか、２人以上の作業者が同時に作業を行うことにより互いの健康状態を確認させるバディ制の採用、ウェアラブルデバイスを用いた作業者の熱中症のリスク管理等が挙げられること。ただし、ウェアラブルデバイスによる管理については、必ずしも当該機器を着用した者の状態を正確に把握することができるわけではないため、他の方法と組み合わせること等により、リスク管理の精度を高めることが望ましいこと。

また、事業者は、熱中症を生ずるおそれのある作業を行うときは、あらかじめ、作業場ごとに、当該作業からの離脱、身体冷却、必要に応じての医師の診察又は処置を受けさせることその他熱中症の症状の悪化を防止するために必要な措置の内容及びその実施に関する手順や緊急連絡先を定め、

当該作業に従事する者に対し、当該措置の内容及びその手順等を周知させなければならないこと。

手順等の作成に当たっては、必要に応じて手順例①及び②を参考にされたいが、必ずしもこれらによらず、作業場所及び作業内容の実態を踏まえて、事業場独自の手順等を定めて差し支えないこと。

２　作業環境管理

（１）WBGT 値の低減

事業者は、過去に熱中症による労働災害が発生した場所など、WBGT 基準値を超えている又は超えるおそれのある場所において作業を行うことが予定されている場合には、以下に掲げる措置を例として WBGT 値低減対策を講ずること等により、WBGT 値の低減に努めること。

ア　WBGT 基準値を超えている又は超えるおそれのある作業場所（以下単に「高温多湿作業場所」という。）においては、発熱体と作業従事者の間に熱を遮ることのできる遮へい物等を設けること。

イ　屋外の高温多湿作業場所においては、直射日光並びに周囲の壁面及び地面からの照り返しを遮ることができる簡易な屋根等を設けること。

ウ　高温多湿作業場所に適度な通風又は冷房を行うための設備やミストシャワー等による散水設備などを設け、既に設置している冷房設備等については、その機能を点検すること。

なお、屋内の高温多湿作業場所における当該設備は、除湿機能があることが望ましいこと。

また、通風が悪い高温多湿作業場所での散水については、散水後に湿度が上昇することや滑りやすくなることに注意すること。

（２）休憩場所の整備等

熱中症の重篤化を防ぐためには、適切な身体冷却が有効であるため、事業者は、作業場所の近くに冷房を備えた休憩場所又は日陰等の涼しい休憩場所を確保すること。休憩場所は、空調設備等を備えていることが望ましいが、場所によっては制約要件があることに留意すること。休憩場所は、以下の点に留意して確保すること。

ア　休憩の設備の設置については、作業場の性質により個別に可否を判断されるものであるが、港湾などの広い場所の場合は、熱中症の予防の観

点から、休憩の設備はできる限り作業従事者が速やかに利用できる場所に設置することが望ましいこと。

イ　休憩場所は、足を伸ばして横になれる広さを確保すること。

ウ　休憩場所又はその近隣に空調設備、氷、アイススラリー（流動性の氷状飲料）、冷たいおしぼり、水風呂、シャワー等の身体を適度に冷やすことのできる設備又は物品を設けること。

エ　電気、水道等のインフラが使用できない場所であっても、日傘や日よけテント等により日陰を作ることなどが有効であること。

オ　水分及び塩分の補給を行えるよう高温多湿作業場所の近傍に飲料水、スポーツドリンク、経口補水液、塩飴等の備付け等を行うこと。配備にあたっては、糖分、塩分の含有量が摂取者に分かるものが望ましいこと。

カ　熱中症のおそれのある作業従事者を発見し、作業離脱、身体冷却を行う際、当該作業従事者を、救急搬送前などに一時的に休憩させる場合は、休憩する者を一人きりにしないこと。熱中症のおそれのある又は発症した作業従事者を、救急搬送前などに一時的に休憩させる場合に備え、例えば、１の（３）で定めた熱中症が生じた疑いがあることを当該作業に従事する他の者が発見した場合にその旨を報告させるために整備した緊急連絡先などの体制や、熱中症の症状の悪化を防止するために必要な措置の内容及びその実施に関する手順を休憩室内に掲示することなどが考えられること。

３　作業管理

（１）作業時間の短縮等

１の（２）で検討した作業手順・作業計画に基づき、熱中症予防対策を作業の状況等に応じて実施するよう努めること。熱中症予防対策は、以下のものが考えられること。

ア　作業の休止時間及び休憩時間を確保し、高温多湿作業場所での作業を連続して行う時間を短縮するよう努めること。休憩時間については、表１－１の注３を参考に、WBGT 基準値に応じたものとすること。WBGT 値を測定し、着衣補正値を加えた WBGT 値が WBGT 基準値を大幅に超える場合は、原則として作業を行わないこととすること。WBGT 基準値を大幅に超える場合に、やむを得ず作業を行うときは、単独作業を控え、休憩時間を長めに設定することに留意すること。

イ　身体作業強度（代謝率レベル）が高い作業を避けること。
ウ　可能であれば、日陰の場所に作業場所を変更すること。

（２）暑熱順化

高温多湿作業場所において作業従事者を作業に従事させる場合には、暑熱順化（熱に慣れ当該環境に適応すること）の有無が、熱中症の発症リスクに大きく影響することを踏まえ、計画的に、暑熱順化期間を設けること。特に、梅雨から夏季になる時期において、気温等が急に上昇した高温多湿作業場所で作業を行う場合、新規入職者などが新たに当該作業を行う場合、又は、作業従事者が長期間、当該作業場所での作業から離れ、その後再び当該作業を行う場合等においては、通常、当該作業従事者は暑熱順化していないことに留意が必要であること。その場合は、暑熱順化プログラムに沿って暑熱順化を行うとともに、WBGT 値に応じた作業の中断等を徹底すること。

暑熱順化の方法としては、７日以上かけて暑熱環境での身体的負荷を増やし、作業時間を調整し、次第に長くすることが挙げられる。特に、新規入職者等に対して他の作業従事者と同様の暑熱作業を行わせないよう、計画的な暑熱順化プログラムを組むこと。

暑熱順化の方法の例としては、職場での暑熱順化は暑さが本格化する前に作業時間を徐々に伸ばすなど調整し、発汗しやすい服装等で作業負荷をかけ、個人の健康状態を確認しながら７日以上かけて実施することが考えられる。職場以外でも、個人の運動、入浴等日常生活で無理のない範囲で汗をかくようにすることでも可能である。

なお、夏季休暇等のため熱へのばく露が中断すると４日後には暑熱順化の顕著な喪失が始まり、３～４週間後には完全に失われることに留意すること。

このため、連休前に７日以上かけて身体的負荷を増やすなど暑熱順化した作業従事者についても、連休後には、休暇中の活動状況をヒアリングするなどして、必要に応じ、暑熱順化期間の延長や、追加の暑熱順化を行うことも考えられる。

暑熱順化ができていない場合には、特に作業時間の短縮を検討すること。なお、いわゆる「スポットワーク」を利用する労働者を含め、夏季に短期間就労する者については、短期での暑熱下での作業を連続して繰り返して

いる場合など、暑熱順化ができていると確実に把握できた場合を除き、原則として、暑熱順化されていない者として取り扱うことが望ましいこと。

（３）プレクーリング

WBGT 値が高い暑熱環境下で、作業強度を下げたり通気性の良い衣服を採用したりすることが困難な作業においては、作業開始前にあらかじめ深部体温を下げ、作業中の体温上昇を抑えるプレクーリングについては、体表面から冷却する方法と、冷水やアイススラリー（流動性の氷状飲料）などを摂取して体内から冷却する方法を検討すること。また、必要に応じて休憩時間中のプレクーリングも検討すること。

（４）水分及び塩分の摂取

安衛則第 617 条により、多量の発汗を伴う作業場では、塩及び飲料水を備え付けることが義務付けられており、当該作業場では、飲料水、スポーツドリンク、経口補水液、塩飴等を備え付けなければならないこと。

高温多湿作業場所においては、作業従事者について自覚症状以上に脱水状態が進行していることがあること等に留意の上、作業従事者の自覚症状の有無にかかわらず、水分及び塩分の作業前後の摂取及び作業中の定期的な摂取を指導するとともに、作業従事者の水分及び塩分の摂取を確認するための表の作成、作業中の巡視における確認等により、定期的な水分及び塩分の摂取の徹底を図ること。

塩分を摂取するときには、0.1～0.2%の食塩水、ナトリウム 40～80mg/100ml のスポーツドリンク等を 20～30 分ごとにカップ１～２杯程度を摂取することが望ましいが、摂り過ぎに注意すること。なお、尿の回数が少ない又は尿の色が普段より濃い状態は、体内の水分が不足している状態である可能性があることを作業従事者に周知すること。

特に、加齢や疾病によって脱水状態であっても自覚症状に乏しい場合があることに留意すること。また、高血圧であって塩分等の摂取が制限される、糖尿病であって糖分等の摂取が制限されるなど基礎疾患を有する作業従事者については、主治医、産業医等に相談させること。

（５）服装による身体冷却

作業の性質上通気性の確保等が困難ではない場合は、熱を吸収し、又は

保熱しやすい服装は避け、透湿性及び通気性の良い服装を着用させること。また、直射日光下における作業が予定されている場合には、通気性の良い帽子、ヘルメット等を準備すること。服装等の選定に当たっては、作業の実態に合わせ、送風や送水により身体を冷却する機能を持つ服やヘルメットの中から適切なものを採用するなど、作業中の深部体温上昇の抑制に資するものを積極的に採用すること。

なお、身体を冷却する機能を持つ服を着用することは一定程度有効ではあるが、それのみでは熱中症を防止することは困難であるため、他の対策と組み合わせて実施することが望ましいこと。

また、作業従事者の安全衛生確保のために、事業者が業務に関連し衣類や保護衣を指定することが必要な場合には、あらかじめ衣類の種類を確認し、WBGT 値の補正（表１－２）の必要性を考慮すること。

（６）作業中の巡視

定期的な水分及び塩分の摂取に係る確認を行うとともに、作業従事者の健康状態等（心拍数、体温及び尿の回数・色等の身体状況）を確認し、熱中症を疑わせる兆候が現れた場合において速やかに作業の中断その他必要な措置を講ずること等を目的に、高温多湿作業場所での作業中は巡視を頻繁に行い、声をかける等して作業従事者の健康状態を確認すること。また、長時間の単独作業を避け、なるべく短時間にさせること。複数の作業従事者による作業においては、作業従事者にお互いの健康状態について留意するよう指導するとともに、異変を感じた際には躊躇することなく周囲の作業従事者やあらかじめ定められた担当者に申し出るよう指導すること。また、熱中症の発症しやすさには個人差があるため、単独作業が避けられない場合などは、ウェアラブルデバイス等の導入による作業従事者の状態のリアルタイムでの把握と組み合わせることを検討することや体調の定期連絡など常に状況を確認できる態勢を確保することが望ましいこと。

（７）業種・作業別の対応例

作業管理に当たり、業種・作業別の対応例は、以下のものが挙げられる。

ア　建設現場をはじめとする屋外作業の場合

・　太陽の位置を考慮して日陰となる場所で作業を行う、早朝から作業を行い、早帰りとするなどにより直射日光下での作業時間を短縮する。

・　休憩場所まで遠い場合は、移動時間を考慮した休憩時間を設定する。

イ　運送業等の場合

・　日陰でこまめに休憩する。

・　温度差の大きい車内外を行き来することで身体に負担がかからないよう、自動車運転時に窓を開けて走るなどして車内外の温度差を作らないようにする。

・　自転車に給水ボトルを付け、水分摂取を容易にする。

ウ　重量物の運搬作業など身体作業強度が高い作業を行う場合は、台車、リフターを使用する、複数人で作業するなど１人当たりの身体作業への負荷を下げる。

エ　夜間のビルメンテナンス業等、屋内作業であっても冷房設備が停止している場合は、通気性の良い服装を着用させ、単独作業を避ける。

オ　調理場では、グリスフィルターの清掃により排気機能を確保し、温度上昇を抑制する。

カ　WBGT値が極めて高い傾向にあるビニールハウス、畜舎等での作業は、早朝作業を行い、こまめに日陰で休憩する。

４　健康管理

熱中症の発症者については、当日又は前日に、睡眠不足、食欲低下、下痢や感冒様症状、全身倦怠感などの比較的軽微な体調変化が先行し、それが暑熱ばく露と重なることで急激に重症化する例が多いため、事業者による健康診断結果に基づく対応のみならず、作業開始前に、当日の体調に普段と異なる点がないか等を確認することや、作業従事者自身の日常の健康管理が重要である。

（１）健康診断結果に基づく対応

安衛則第 43 条、第 44 条及び第 45 条の規定に基づく健康診断の項目には、熱中症の発症に影響を与えるおそれのある疾病と密接に関係した血糖検査、尿検査、血圧の測定、既往歴の調査等が含まれていること及び安衛法第 66 条の４及び第 66 条の５の規定に基づき、異常所見があると診断された場合には医師等の意見を聴き、当該意見を勘案して、必要があると認めるときは、事業者は、就業場所の変更、作業の転換等の適切な措置を講ずることが義務付けられていることに留意の上、これらの徹底を図ること。

また、熱中症の発症に影響を与えるおそれのある疾病の治療中等の作業従事者については、事業者は、高温多湿作業場所における作業の可否、当該作業を行う場合の留意事項等について産業医、主治医等の意見を勘案して、必要に応じて、就業場所の変更、作業の転換等の適切な措置を講ずること。

なお、熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病は以下のものが挙げられる。その詳細については、「（参考）熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病の特徴等」を参照すること。

①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒等、⑧下痢等

（２）日常の健康管理等

高温多湿作業場所で作業を行う作業従事者については、睡眠不足、体調不良、前日等の飲酒、朝食の未摂取等が熱中症の発症に影響を与えるおそれがあることに留意の上、日常の健康管理について指導を行うとともに、必要に応じ健康相談を行うこと。これを含め、安衛法第69条の規定に基づき健康の保持増進のための措置を講ずるよう努めること。

さらに、熱中症の発症に影響を与えるおそれのある疾病の治療中等である場合は、熱中症を予防するための対応が必要であることを作業従事者に対して教示するとともに、作業従事者が主治医等から熱中症を予防するための対応が必要とされた場合又は作業従事者が熱中症を予防するための対応が必要となる可能性があると判断した場合は、事業者に申し出るよう指導すること。

また、熱中症の具体的症状について作業従事者に教育し、作業従事者自身が早期に気づくことができるようにすること。

（３）作業従事者の健康状態及び暑熱順化の状況等の確認

当日の作業開始前に、当日の朝食の未摂取、睡眠不足、前日の多量の飲酒、体調不良等の健康状態の確認を行うこと。また、職長等の管理者は、入職後１週間未満の作業従事者及び夏季休暇等のために熱へのばく露から４日以上離れていた作業従事者をあらかじめ把握し、巡視の頻度を増やすなどして当該作業従事者の作業時間中や作業終了時における健康状態に特に配慮すること。作業開始前に、作業従事者に対し、当日の体調に普段と

異なる変化がないか、睡眠不足等がないかなど、声かけなどをすることが望ましいこと。

健康状態又は暑熱順化の状況から熱中症の発症リスクが高いと疑われる者に対しては、必要に応じ作業の配置換え等を行うこと。

また、休憩場所等に体温計、体重計等を備え、必要に応じて、体温、体重その他の身体の状況を確認できるようにすること。

作業従事者は、作業当日に体調に普段と異なる変化や、睡眠不足等がある場合は、職長等の管理者に申し出ることが望ましいこと。これらの情報を申し出られた事業者は、その情報について、プライバシーに配慮して取り扱うこと。

５　労働衛生教育

事業場で熱中症防止対策を的確に行うためには、対策に関わる熱中症予防管理者、職長等現場で作業従事者を指揮する者及び作業従事者に対し、それぞれ（１）～（３）に掲げる事項、範囲及び時間により、熱中症に係る労働衛生教育を行うことが望ましい。なお、教育の実施時期については、雇入れ時教育の機会に行うなど、事業場の実情を踏まえたものとすること。また、簡単な教材でも繰り返し参照することが望ましいこと。

教材は、厚生労働省が運営しているポータルサイトに掲載しているものも活用できること。なお、事業者が自ら当該教育を行うことが困難な場合には、関係団体が行う教育を活用すること。

（１）熱中症予防管理者労働衛生教育（必要に応じて衛生管理者や安全衛生推進者も受講することが望ましい。）

事項		範囲	時間
(1)	熱中症の症状*	・熱中症の概要 ・職場における熱中症の特徴 ・体温の調節 ・体液の調節 ・熱中症が発生する仕組みと症状	３０分
(2)	熱中症の予防方法*	・熱中症リスク要因と WBGT（意味、WBGT 基準値に基づく評価） ・作業環境管理（WBGT 値の低減、休憩場所の整備等） ・作業管理（作業時間の短縮、暑熱順化、水分及び塩分の摂取、服装、作業中の巡視等）	１５０分

		・健康管理（健康診断結果に基づく対応、日常の健康管理、作業従事者の健康状態の確認、身体の状況の確認等） ・労働衛生教育（作業従事者に対する教育の重要性、教育内容及び教育方法） ・熱中症予防対策事例	
(3)	緊急時の救急処置	・報告体制の整備及び周知・手順等の作成及び周知 ・緊急時の救急措置	１５分
(4)	熱中症の事例	・熱中症の災害事例	１５分
(5)	関係法令等	・熱中症の関係法令等	１５分

注　対象者の熱中症に対する基礎知識の状況に応じ、(1)及び(2)をそれぞれ15分、75分に短縮して行うこととして差し支えない。

（２）職長等現場で作業従事者を指揮する者向け教育

事項		範囲	時間
(1)	熱中症の症状	・熱中症の概要 ・職場における熱中症の特徴 ・熱中症が発生する仕組みと症状	１０分
(2)	熱中症の予防方法	・作業環境管理（WBGT 値の低減、休憩場所の整備等） ・作業管理（作業時間の短縮、水分及び塩分の摂取、服装、作業中の巡視等） ・健康管理（日常の健康管理、作業従事者の健康状態の確認、身体の状況の確認等） ・熱中症予防対策事例	２５分
(3)	緊急時の救急処置	・報告体制の整備及び周知・手順等の作成及び周知 ・緊急時の救急措置	１０分
(4)	熱中症の事例	・熱中症の災害事例	１０分
(5)	関係法令等	・熱中症の関係法令等	５分

注　（１）の熱中症予防管理者労働衛生教育の受講で代替可能。

（３）作業従事者向け教育（短時間で、繰り返すことが望ましいこと。）

事項		範囲
(1)	熱中症の症状	・熱中症の概要 ・職場における熱中症の特徴 ・体温の調節 ・体液の調節

		・熱中症が発生する仕組みと症状
(2)	熱中症の予防方法	・WBGT の意味 ・現場での熱中症予防活動（暑熱順化、水分及び塩分の摂取、服装、日常の健康管理等）
(3)	緊急時の救急処置	・緊急時の救急措置
(4)	熱中症の事例	・熱中症の災害事例

６　異常時の措置

熱中症を疑わせる具体的な症状については表２に掲げる「熱中症の症状と分類」を参考にすること。

熱中症を疑わせる症状が現れた場合、周囲の作業従事者等は、熱中症が疑われる作業従事者を、必ず、一旦、作業から離し、救急処置として涼しい場所で当該者の身体を冷やし、水分及び塩分の摂取等を行わせること。また、症状に応じ、救急隊を要請し、又は医師の診察を受けさせること。

なお、周囲の作業従事者等は、本人に自覚症状がない、又は大丈夫との本人からの申出があったとしてもためらわずに、あらかじめ定められた担当者に連絡し、措置の実施手順に従って、医療機関への搬送や救急隊の要請を行うこと。判断に迷う場合には、放置したり、措置を躊躇して先送りにしたりせず、＃7119 等を活用するなど専門機関や医療機関に相談し、速やかに専門家の指示を仰ぐことが望ましいこと。医療機関に搬送するまでの間や救急隊が到着するまでの間には、十分に涼しい休憩場所に避難させた上で、必要に応じてアイススラリー（流動性の氷状飲料）や経口補水液などの水分・塩分を摂取させる、作業着を脱がせて水をかけて全身を急速冷却する、アイスバスに入れる、ミストファンを当てる、濡れタオルなどを身体に当て、扇風機で風を当てるなどにより効果的な身体冷却に努めること。この間、容態が急変する場合があることから、熱中症を生じたおそれがある作業従事者を一人きりにすることなく、他の作業従事者等が見守ることが重要である。

熱中症を疑わせる症状としては、ふらつき、発汗、けいれん、めまい、頭痛等が挙げられるので、５の（３）の労働衛生教育で作業従事者に周知すること。

７　その他

（１）実施時期

当年の気温上昇の状況や地域差にもよるが、おおむね４月中までに、夏季に「第２　熱中症のリスクの評価」、第３の「１　労働衛生管理体制の確立等」、「２　作業環境管理」、「３　作業管理」、「４　健康管理」、「５　労働衛生教育」が円滑かつ継続的に実施できるよう準備することが望ましいこと。

特に、気温が急激に上昇する時期や、猛暑日等は、熱中症の発生リスクが高くなる傾向があることから、作業従事者に対して、いつも以上に注意喚起することが重要である。

（２）いわゆる「スポットワーク」を利用する労働者について

いわゆる「スポットワーク」を利用する労働者については、当然に安衛則第 612 条の２で定めた体制や手順の周知対象である上、雇入れ時教育の対象ともなる。そのため、当該労働者を使用する事業者は、特に夏季においては、これらの労働者に対しても、法令や本ガイドラインに基づく措置を講じること。

（３）注文者や作業場所管理事業者による配慮

仕事を他人に注文する者については、特に当該仕事に係る夏季の屋外作業が、熱中症のおそれのある作業となる可能性が高いことから、経費や工期・納期について配慮することが望ましいこと。

また、注文者は、熱中症の発症や重篤化を防ぐために作業中に作業従事者が休憩や水分補給をする可能性があることについて理解することが重要である。

作業場所管理事業者については、当該場所で作業する作業従事者が熱中症を発症した際は、当該作業従事者の緊急連絡先や医療機関に連絡することが望ましいこと。そのためには、作業従事者は、緊急連絡先や、可能であれば既往歴を記載したカードを携行する、着用している服の分かりやすいところに貼るなど、工夫することが重要である。

また、作業場所管理事業者は、当該場所での作業を請け負った事業者から休憩場所について要望等を受けた場合は、誠実に協議して適切に対応することが望ましいこと。

併せて、注文を受けた者は、熱中症の発症や重篤化を防ぐために作業中に作業従事者が休憩等する可能性があることについては、あらかじめ注文

者や作業場所管理事業者に対して伝達することが望ましいこと。

（４）労働者と異なる場所で就業する個人事業者等について

労働者と異なる場所で就業する個人事業者等については、熱中症による重篤化の防止のためには、熱中症の症状を自覚したときの連絡先や手順を自ら決定して対応するなど、本ガイドラインを参考に自ら熱中症防止に取り組むことが必要であることに留意すること。なお、熱中症の症状を自覚したときの連絡先としては、#7119 などが考えられること。

また、作業従事者向けの教材や、元方事業者などから配布される資料などを用いて、繰り返し自ら熱中症の症状や防止対策などの知識を習得することが重要である。

表１－１　身体作業強度及び暑熱順化の状況に応じたWBGT基準値

区分	身体作業強度（代謝率レベル）の例	WBGT基準値	
		暑熱順化者のWBGT基準値　℃	暑熱非順化者のWBGT基準値　℃
０安静	安静、楽な座位	33	32
１低代謝率	軽い手作業（書く、タイピング、描く、縫う、簿記）；手及び腕の作業（小さいペンチツール、点検、組立て又は軽い材料の区分け）；腕及び脚の作業（通常の状態での乗り物の運転、フットスイッチ及びペダルの操作）。 立位でドリル作業（小さい部品）；フライス盤（小さい部品）；コイル巻き；小さい電機子巻き；小さい力で駆動する機械；2.5 km/h 以下での平たん（坦）な場所での歩き。	30	29
２中程度代謝率	継続的な手及び腕の作業［くぎ（釘）打ち、盛土］；腕及び脚の作業（トラックのオフロード運転、トラクター及び建設車両）；腕と胴体の作業（空気圧ハンマーでの作業、トラクター組立て、しっくい塗り、中くらいの重さの材料を断続的に持つ作業、草むしり、除草、果物及び野菜の収穫）；軽量な荷車及び手押し車を押したり引いたりする；2.5 km/h～5.5 km/h での平たんな場所での歩き；鍛造	28	26
３高代謝率	強度の腕及び胴体の作業；重量物の運搬；ショベル作業；ハンマー作業；のこぎり作業；硬い木へのかんな掛け又はのみ作業；草刈り；掘る；5.5 km/h～7 km/h での平たんな場所での歩き。 重量物の荷車及び手押し車を押したり引いたりする；鋳物を削る；コンクリートブロックを積む。	26	23
４極高代謝率	最大速度の速さでのとても激しい活動；おの（斧）を振るう；激しくシャベルを使ったり掘ったりする；階段を昇る；平たんな場所で走る；7km/h 以上で平たんな場所を歩く。	25	20

注１　日本産業規格 JIS Z 8504（熱環境の人間工学ーWBGT（湿球黒球温度）指数に基づく作業者の熱ストレスの評価ー暑熱環境）附属書 A「WBGT 熱ストレス指数の基準値」を基に、同表に示す代謝率レベルを具体的な例に置き換えて作成したもの。

注２　暑熱順化者とは、「評価期間の少なくとも１週間以前から同様の全労働期間、高温作業条件（又は類似若しくはそれ以上の極端な条件）にばく露された人」をいう。

注３　身体を冷却する服を着用していないなど、特段の熱中症予防対策を講じていない場合における「休憩時間の目安」: 暑熱順化した作業者において、WBGT 値が基準値～１℃程度超過しているときには１時間当たり 15 分以上の休憩、２℃程度超過しているときには 30 分以上の休憩、３℃程度超過しているときには 45 分以上の休憩、それ以上超過しているときには作業中止が望ましいこと。暑熱順化していない作業者においては、上記よりもより長い時間の休憩等が望ましいこと（以下の表を参照）。

WBGT 基準値からの超過	休憩時間の目安（１時間当たり）
１℃程度超過	15 分以上
２℃程度超過	30 分以上
３℃程度超過	45 分以上
それ以上超過	作業中止が望ましい

（出典）米国産業衛生専門家会議（ACGIH）の許容限界値（TLV）を元に算出。

注４　身体を冷却する服の着用等により、作業中の深部体温の上昇や休憩中の身体冷却の促進が図られるような場合については、休憩時間を、注３に示した休憩時間の目安より短縮し、又は作業中止とする WBGT 基準値からの超過の水準を高く設定することも可能であるが、その検討に当たっては、以下、参考に掲げる知見を踏まえたものとすること。また、熱中症の発症や発症後の重症化の有無及び早さは個々の作業従事者の健康状態や作業態様によって大きく異なるため、第３の４（２）に掲げる「作業中の作業者の健康状態の確認」に当たっては、周辺の作業従事者との間で２人１組で「バディ」を組ませて声かけ等により定期的に相互の健康状態や異常の有無を確認するなどにより、熱中症の未然防止や発症時の迅速な応急措置の実施に努めることが必要である。

（参考）

・　ファン付き作業服の着用で、休憩時間を短くすることも可能である。温度 30℃、湿度 85%における運動実験の結果、ファン付き作業服の着用は非着用時と比較して同様の体温に到達するまで 15 分遅らせる効果があることがわかっている。

・　同実験の結果、ファン付き作業服の着用は非着用時と比較して推定発汗量を約 20%減少させる効果があることもわかっている。

表１－２　衣類の組合せによりWBGT値に加えるべき着衣補正値（℃-WBGT）

組合せ	コメント	WBGT値に加えるべき着衣補正値（℃-WBGT）
作業服	織物製作業服で、基準となる組合せ着衣である。	0
つなぎ服	表面加工された綿を含む織物製	0
単層のポリオレフィン不織布製つなぎ服	ポリエチレンから特殊な方法で製造される布地	2
単層のSMS不織布製のつなぎ服	SMSはポリプロピレンから不織布を製造する汎用的な手法である。	0
織物の衣服を二重に着用した場合	通常、作業服の上につなぎ服を着た状態。	3
つなぎ服の上に長袖ロング丈の不透湿性エプロンを着用した場合	巻付型エプロンの形状は化学薬剤の漏れから身体の前面及び側面を保護するように設計されている。	4
フードなしの単層の不透湿つなぎ服	実際の効果は環境湿度に影響され、多くの場合、影響は小さくなる。	10
フードつき単層の不透湿つなぎ服	実際の効果は環境湿度に影響され、多くの場合、影響は小さくなる。	11
服の上に着たフードなし不透湿性のつなぎ服	ー	12
フード	着衣組合せの種類やフードの素材を問わず、フード付きの着衣を着用する場合。フードなしの組合せ着衣の着衣補正値に加算される。	+1

注記１　透湿抵抗が高い衣服では、相対湿度に依存する。着衣補正値は起こりうる最も高い値を示す。

注記２　SMSはスパンボンド-メルトブローン-スパンボンドの３層構造からなる不織布である。

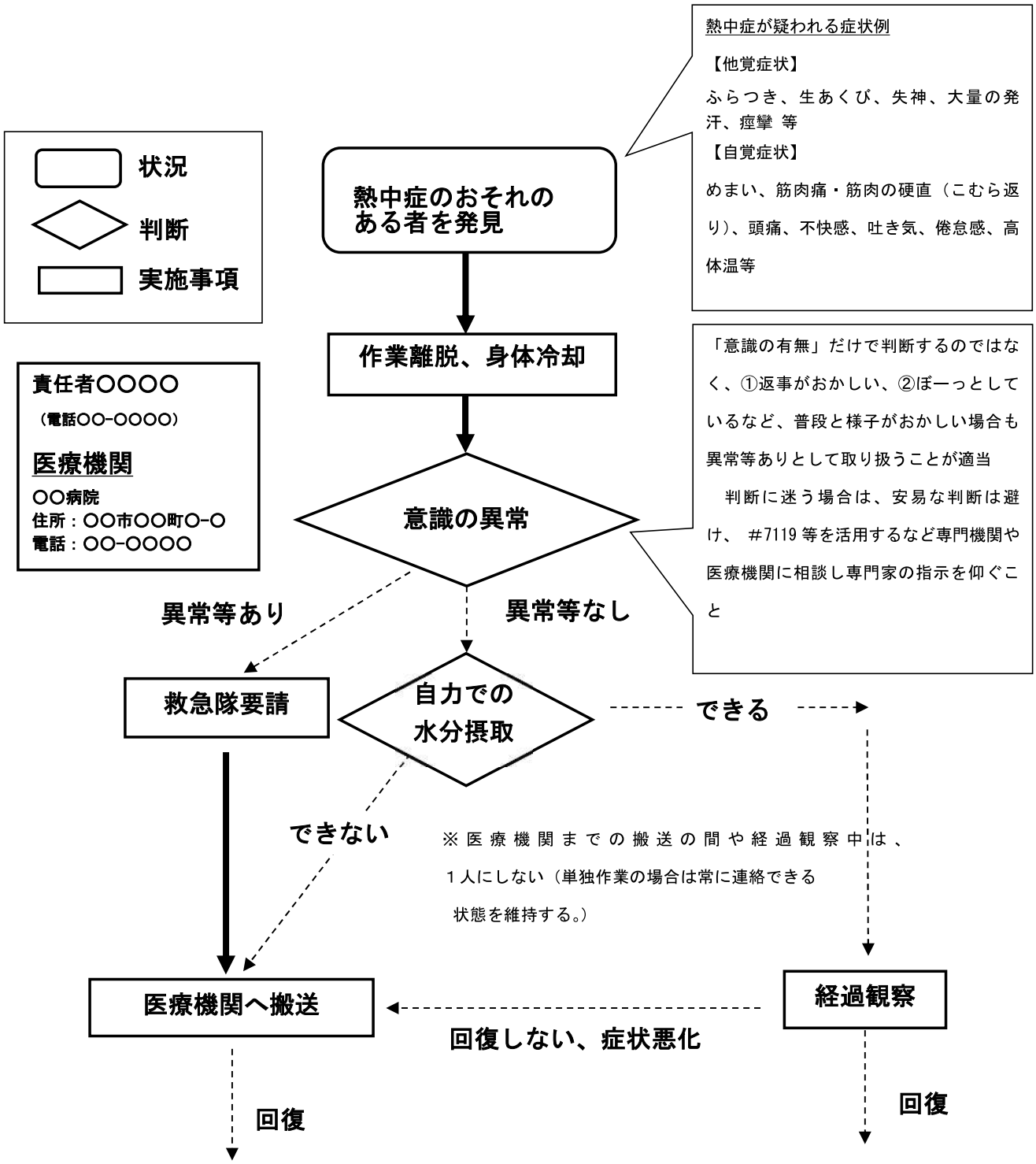
注記３　ポリオレフィンは、ポリエチレン、ポリプロピレン、その共重合体等の総称である。

表２　熱中症の症状と分類

分類	症状	重症度
Ⅰ度	めまい・生あくび・失神 （「立ちくらみ」という状態で、脳への血流が瞬間的に不十分になったことを示し、「熱失神」と呼ぶこともある。） 筋肉痛・筋肉の硬直 （筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴う。発汗に伴う塩分（ナトリウム等）の欠乏により生じる。これを「熱痙攣」と呼ぶこともある。） 大量の発汗	小 ↓
Ⅱ度	頭痛・気分の不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感 （体がぐったりする、力が入らないなどがあり、従来から「熱疲労」と言われていた状態である。） 集中力や判断力の低下	
Ⅲ度・Ⅳ度	意識障害・痙攣・手足の運動障害 （呼びかけや刺激への反応がおかしい、体がガクガクと引きつけがある、真直ぐに走れない又は歩けないなど。） 高体温 （体に触ると熱いという感触がある。従来から「熱射病」や「重度の日射病」と言われていたものがこれに相当する。）	大

手順例①

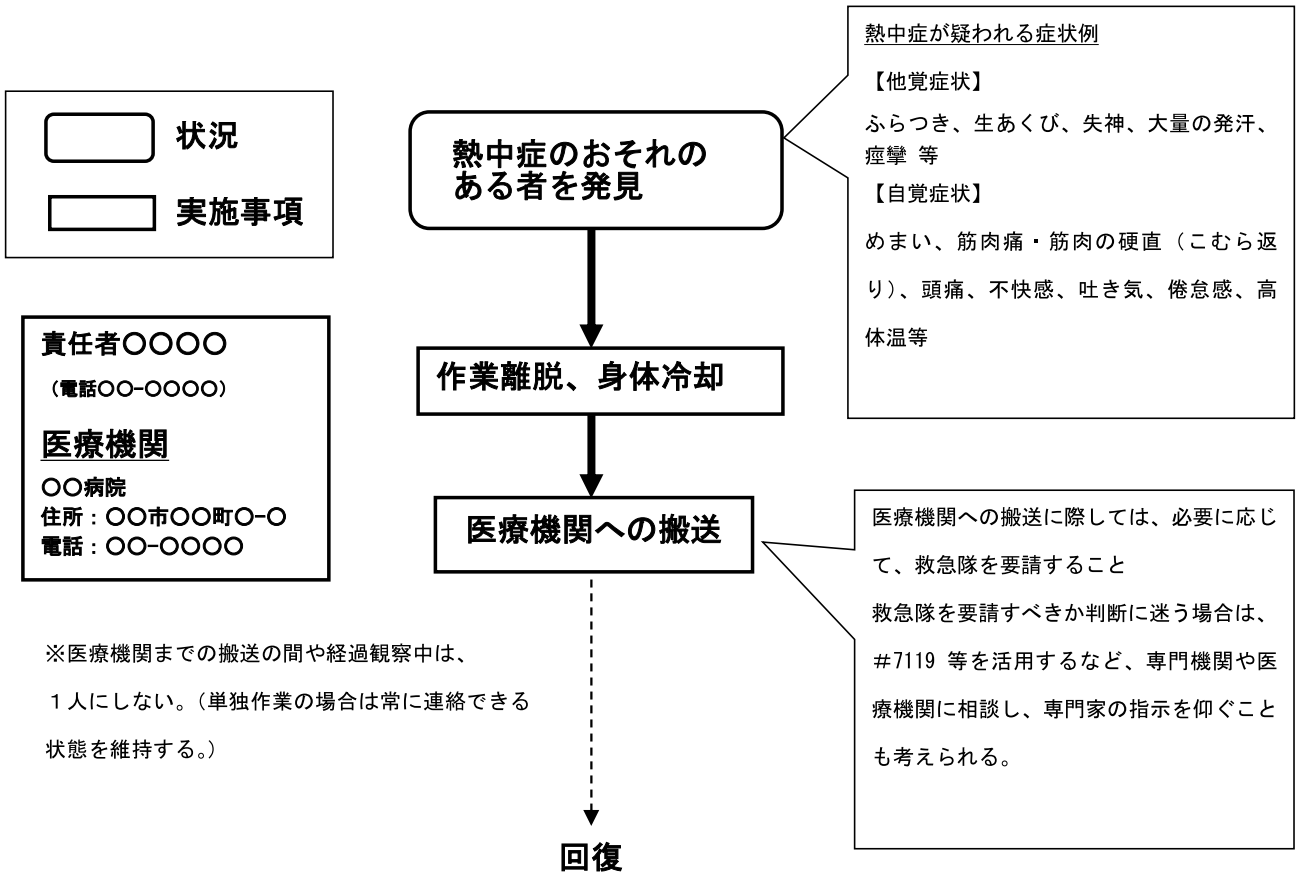
熱中症による健康障害発生時の対応計画



回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、連絡体制や体調急変時等の対応をあらかじめ定めておくこと

手順例②

熱中症による健康障害発生時の対応計画



回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、連絡体制や体調急変時等の対応をあらかじめ定めておくこと

（参考）熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病の特徴等

糖尿病については、血糖値が高い場合に尿に糖が漏れ出すことにより尿で失う水分が増加し、脱水状態を生じやすくなること、高血圧症及び心疾患については、水分及び塩分を尿中に出す作用のある薬を内服する場合に脱水状態を生じやすくなること、腎不全については、塩分摂取を制限される場合に塩分不足になりやすいこと、精神・神経関係の疾患については、自律神経に影響のある薬（パーキンソン病治療薬、抗てんかん薬、抗うつ薬、抗不安薬、睡眠薬等）を内服する場合に発汗及び体温調整が阻害されやすくなること、広範囲の皮膚疾患については、発汗が不十分となる場合があること等から、これらの疾病等については熱中症の発症に影響を与えるおそれがあること。

感冒等による発熱、下痢等による脱水等は、熱中症の発症に影響を与えるおそれがあること。なお、皮下脂肪の厚い者も熱中症の発症に影響を与えるおそれがあることから、留意が必要であること。

心機能が正常な作業従事者については１分間の心拍数が数分間継続して 180 から年齢を引いた値を超える場合、作業強度のピークの１分後の心拍数が 120 を超える場合、休憩中等の体温が作業開始前の体温に戻らない場合、作業開始前より 1.5%を超えて体重が減少している場合、急激で激しい疲労感、悪心、めまい、意識喪失等の症状が発現した場合等は、熱へのばく露を止めることが必要とされている兆候であること。

STOP!

熱中症クールワークキャンペーン

職場での熱中症により近年は、
一年間で約30人が亡くなり、
約1,000人以上が4日以上
仕事を休んでいます。

◀熱中症対策情報はこちら

キャンペーン期間

4月	5月	6月	7月	8月	9月
準備			重点取組		

準備期間 4月 にすべきこと

きちんと実施されているかを確認し、
☑チェックしましょう。

□ 労働衛生管理体制の確立

事業場ごとに熱中症予防管理者を選任し
熱中症予防の責任体制を確立

□ 暑さ指数（WBGT）の把握の準備

JIS規格に適合した暑さ指数計を準備し、点検

□ 作業手順・作業計画の策定

暑さ指数に応じた休憩時間の確保、作業中止に関する事項を含めた作業手順・作業計画を策定

□ 設備対策の検討

暑さ指数低減のため簡易な屋根、通風または冷房設備、散水設備の設置を検討

□ 休憩場所の確保の検討

冷房を備えた休憩場所や
涼しい休憩場所の確保を検討

□ 服装の検討

透湿性と通気性の良い服装を準備、送風や送水により身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討

□ 教育研修の実施

管理者、作業者に対する教育を実施

ガイド・教育動画　e-learning

□ 緊急時の対応の事前確認

緊急時の対応（異常時における連絡体制や対応手順等）を確認し、関係者に周知

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare ・都道府県労働局・労働基準監督署

キャンペーン期間 5月～9月 にすべきこと

環境省
熱中症予防情報
サイト

STEP 1 暑さ指数の把握と評価

JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握

地域を代表する一般的な暑さ指数（環境省）を参考とすることも有効

STEP 2 測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底

□ 暑さ指数の低減
準備期間に検討した設備対策を実施

□ 休憩場所の整備
準備期間に検討した休憩場所を設置

□ 服装
準備期間に検討した服装を着用

□ 作業時間の短縮
作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、作業中止

□ プレクーリング
作業開始前や休憩時間中に深部体温を下げる

□ 水分・塩分の摂取
水分と塩分を定期的に摂取（水分等を携行させる等を考慮）

□ 暑熱順化への対応
熱に慣らすため、7日以上かけて作業時間の調整
※新規入職者や休み明け作業者は別途注意すること

□ 健康診断結果に基づく対応
次の疾病を持った方には医師等の意見を踏まえ配慮　①糖尿病 ②高血圧症 ③心疾患 ④腎不全 ⑤精神・神経関係の疾患 ⑥広範囲の皮膚疾患 ⑦感冒 ⑧下痢

□ 日常の健康管理
当日の朝食の未摂取、睡眠不足、前日の多量の飲酒が熱中症の発症に影響を与えることを指導し、作業開始前に確認

□ 作業中の作業者の健康状態の確認
巡視を頻繁に行い声をかける、「バディ」を組ませる等作業者にお互いの健康状態を留意するよう指導

□ 異常時の対応
あらかじめ作成した連絡体制や対応手順等の周知徹底
少しでも本人や周りが異変を感じたら、あらかじめ作成した連絡体制や対応手順等に基づき適切に対応
※必ず一旦作業を離れ、**全身を濡らして送風する**ことなどにより身体を冷却
※症状が回復しない場合は躊躇なく病院に搬送する（症状に応じて救急隊を要請）

重点取組期間 7月 にすべきこと

- □ 暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加
- □ 暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底
- □ 水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底
- □ 作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加
- □ 熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施
- □ 熱中症のおそれがある者を発見したときは、躊躇することなく救急隊を要請

（R8.2）

「令和７年６月１日に
改正労働安全衛生規則が
施行されます」

職場における熱中症対策の強化について

厚生労働省
ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

熱中症による 死亡災害の多発を踏まえた対策の強化について

職場における熱中症による死亡災害の傾向

- 死亡災害が**２年連続で30人レベル。**
- 熱中症は死亡災害に至る割合が、**他の災害の約５～６倍。**
- **死亡者の約７割は屋外作業**であるため、気候変動の影響により更なる増加の懸念。

ほとんどが
「初期症状の放置・対応の遅れ」

早急に求められる対策

「職場における熱中症予防基本対策要綱」や「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン実施要綱」で実施を求めている事項、現場で効果を上げている対策を参考に、

現場において
死亡に至らせない
（重篤化させない）ための
適切な対策の実施が必要。

基本的な考え方

見つける ▶ 判断する ▶ 対処する

現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の**「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」**が事業者に義務付けられます。

1

「熱中症の自覚症状がある作業者」や「熱中症のおそれがある作業者を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備及び関係作業者への周知。

※報告を受けるだけでなく、職場巡視やバディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業者を積極的に把握するように努めましょう。

2

熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ的確な判断が可能となるよう、
① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順（フロー図①②を参考例として）の作成及び関係作業者への周知

対象となるのは

「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で
連続１時間以上又は１日４時間を超えて実施」が見込まれる作業

※作業強度や着衣の状況等によっては、上記の作業に該当しない場合であっても熱中症のリスクが高まるため、上記に準じた対応を推奨する。
※なお、同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれのある作業に従事する者についても、上記対応を講じることとする。

職場における熱中症対策の強化について

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

熱中症のおそれのある者に対する処置の例　フロー図 1

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。

熱中症のおそれのある者を発見

↓

作業離脱、身体冷却

↓

意識の異常等

異常等あり → 救急隊要請

異常等なし ↓

自力での水分摂取

できない → 医療機関への搬送

できる → 経過観察

医療機関までの搬送の間や経過観察中は、一人にしない。
（単独作業の場合は常に連絡できる状態を維持する）

医療機関への搬送 → 回復

経過観察 → 回復しない、症状悪化 → 医療機関への搬送

回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、
連絡体制や体調急変時等の対応をあらかじめ定めておく。

熱中症が疑われる症状例

【他覚症状】
ふらつき、生あくび、失神、大量の発汗、痙攣 等

【自覚症状】
めまい、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温 等

「意識の有無」だけで判断するのではなく、
①返事がおかしい
②ぼーっとしている
など、普段と様子がおかしい場合も異常等ありとして取り扱うことが適当。
判断に迷う場合は、安易な判断は避け、#7119等を活用するなど専門機関や医療機関に相談し専門家の指示を仰ぐこと。

熱中症のおそれのある者に対する処置の例　フロー図 2

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。

熱中症のおそれのある者を発見

↓

作業離脱、身体冷却

↓

医療機関への搬送

↓

回復

医療機関までの搬送の間や経過観察中は、一人にしない。
（単独作業の場合は常に連絡できる状態を維持する）

回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、
連絡体制や体調急変時等の対応をあらかじめ定めておく。

熱中症が疑われる症状例

【他覚症状】
ふらつき、生あくび、失神、大量の発汗、痙攣 等

【自覚症状】
めまい、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温 等
①返事がおかしい
②ぼーっとしている　など、
普段と様子がおかしい場合も、熱中症のおそれありとして取り扱うことが適当。

医療機関への搬送に際しては、必要に応じて、救急隊を要請すること。

救急隊を要請すべきか判断に迷う場合は、#7119等を活用するなど、専門機関や医療機関に相談し、専門家の指示を仰ぐことも考えられる。

GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局
宮崎市橘通東3-1-22
宮崎合同庁舎
TEL0985(38)8821

宮崎労働局HP

令和８年３月統計

【　労働災害発生状況　】 死亡災害０件、死傷災害２１５件
（年計・コロナ感染症を除く休業4日以上の死傷災害）

【　有効求人倍率　】 １．１４倍

ユースエール 認定通知書交付式

吉越局長（下段左から３番目）、向田職業安定部長（上段左端）と受賞された皆様

２月１０日、新たにユースエール認定を受けられた企業の皆様にご出席いただき、認定通知書交付式を行いました。今回は５社と、認定企業は続々と増えています。引き続き行った懇談会では、各社から人材確保の大変さについて伺いました。

各社の取組が持続するよう、しっかりと支援していきます。

（認定企業のご紹介は裏面）

宮崎版エールベア　ひむか

2026年4月1日 女性活躍推進法が改正されました！

主な改正内容

◍ 情報公表の必須項目の拡大
（従業員数101人以上企業は義務）

企業等規模	改正前	改正後
301人以上	男女間賃金差異に加えて、２項目以上を公表	男女間賃金差異及び女性管理職比率に加えて、２項目以上を公表
101人～300人	１項目以上を公表	男女間賃金差異及び女性管理職比率に加えて、１項目以上を公表

厚生労働省労働基準局長表彰

宮崎労働局長は、3月12日、宮崎地方最低賃金審議会の橋口委員に対して、厚生労働省労働基準局長表彰状を伝達授与しました。

橋口委員は、平成29年5月1日に宮崎地方最低賃金審議会委員として任命以来、宮崎県最低賃金専門部会長などの要職を歴任され、令和５年度からは宮崎地方最低賃金審議会会長を務められ、実に９年近く宮崎地方最低賃金審議会委員としてご尽力頂いております。

その功績は顕著なものであることから、その功績をたたえ、厚生労働省労働基準局長から表彰されることになりました。

橋口委員（左）、吉越局長（右）

認定企業のご紹介

企業の皆様からコメントをいただきました！

Q&A

Q1　ユースエールを目指した理由を教えて下さい。
Q2　ユースエールの認定基準の中で特にアピールしたいものは何ですか。
Q3　認定取得後の感想、今後の取組や意気込みをお聞かせください。

段建設工業株式会社

A1　地域のインフラを支える建設業者として、若い世代が安心して働き続けられる会社でありたいという思いから、ユースエール認定を目指しました。建設業界では人材確保が大きな課題ですが、当社の働きやすさや人材育成の取り組みを“見える化”することで、社員にも地域にも信頼を届けたいと考えました。

A2　有給休暇の取得促進と時間外労働の削減です。ICT技術を積極的に活用し業務の効率化を図るなど、ワークライフバランスの実現に力を入れています。また、資格取得への全面支援や現場毎に先輩が伴走するOJT体制など、若手が成長できる仕組みも整えており、働きやすさと定着率の向上につながっていると考えています。

A3　今回の認定は、これまでの取り組みが評価された証として大変うれしく思っています。同時に、これからの責任も感じています。ユースエール認定をゴールではなくスタートと捉え、若手が希望を持って働ける会社づくりをさらに進めていきます。働きやすさの向上、教育体制の強化、DXによる業務改善など、引き続き取り組みを加速させていきます。

上田工業株式会社

A1　会社の成長とともに、社内の平均年齢も上がり始め、企業の存続を考え始めました。若手社員が長く定着し、それぞれの力を十分に発揮できる環境を整えることが、企業の持続的な成長に繋がると思い、日頃から進めてきた働き方改革や人材育成の取り組みを第三者の視点で評価していただきたいと考え、ユースエール認定を目指しました。

A2　時間外労働の削減や適切な労働時間管理に取り組み、若者が無理なく働ける職場環境を整えています。年次有給休暇の取得を積極的に推進し、仕事とプライベートの両立を支援しています。

A3　このたびユースエール認定を受け、これまで取り組んできた職場環境づくりが評価されたことを大変嬉しく思っております。これからも現状に満足することなく、引き続き的確な雇用を図り、労働時間管理や有給休暇の取得促進、人材育成の充実に取り組み、若者が安心して長く活躍できる職場づくりを進めていきたいと思います。

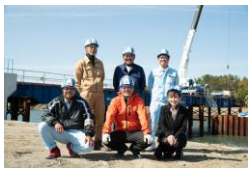
株式会社志多組

A1　当社は建設業という特性上、若手人材の確保と育成が将来の事業継続に直結するという強い危機感を抱いていました。近年、働き方改革の推進や労働環境の改善が求められる中で「若者が安心して働ける企業であること」を客観的に示す必要性を感じ、ユースエール認定の取得を目指しました。

A2　働き方改革の推進により、時間外労働の削減を実現しました。業界のイメージを変えるべく、働きやすさの向上に継続的に取り組んでいます。また、男性の育児休業についても、ライフイベントと仕事を両立できる環境づくりを進めており、複数名の男性社員が実際に育児休業を取得しています。

A3　ユースエール認定企業としての責任を胸に、若者が誇りを持って働ける建設業の実現に向け、引き続き全社一丸となって取り組んでまいります。

旭建設株式会社



A1　建設産業は、工学系・土木系を学んだ方でなければ活躍が難しい業界に思われがちですが、当社では男女を問わず、また、土木・建設分野以外の学部・学科出身者であっても、段階的に知識や技能を習得し、活躍できる環境があることを対外的に示すためです。

A2　若手のみならず、全社員を対象としたさまざまな勉強会（人間力、土木工学、AI、DX）を継続的に実施しています。また、未経験で入社した若手社員については、宮崎産業開発青年隊への派遣制度を活用し、基礎的な技術や現場経験を習得できる仕組みを整えています。

A3　ユースエール認定取得後も、時代の流れに合わせて若手を含む全社員を対象とした働きやすい職場環境の整備を継続しています。また、仕事と家庭の両立支援に関する取組の一環として、くるみん認定の取得に向けた対応を進めています。

日新興業株式会社

A1　若手の雇用を継続的に行うためにはユースエール認定が会社に必要だと考えました。また、社内での意識改革に繋がればと思い認定を目指しました。

A2　法定休日に加え有給休暇の取得のしやすさ、時間外労働の少なさ、資格取得費用を会社負担にするなど人材育成に積極的に取り組む会社であることです。

A3　ユースエール認定の為の努力でなく、会社の根本的な意識改革を行い、若手社員の人材育成をしっかり行い、長期的継続雇用につながる企業を目指したいです。